

平成 29 年度
学生生活実態調査
報 告 書

平成 30 年 3 月
大 阪 体 育 大 学

はじめに

この調査は、授業・学習の状況、食事状況、アルバイトの状況など学生生活の現状及び大学への意見・要望などを幅広く把握する目的で全学部学生を対象に実施しました。

今回の調査も、全学生の8割を超える学生からの調査回答を得ることができました。これは、必修科目の担当教員、演習科目の担当教員の方々の協力によるものです。この調査結果では、前回調査結果との比較を行いながらまとめています。この報告書を参考に、関係の方々には学生の現状を確認頂き、今後の学生への指導、対応に役立てて頂ければ幸いです。

大学においても、学生がより有意義な学生生活を過ごせるよう、大学として取り組むべき課題解決方策実現に向けての基礎的資料として活用して頂きたいと思います。

最後に、調査実施に協力に頂いた学生諸君及び教員諸氏並びに報告書作成にご尽力頂いた学生委員会の先生方、その他調査にご協力頂いた関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

平成30年3月

大阪体育大学 学生委員会

委員長 岡崎 均

副委員長 池島 明子

－ 目 次 －

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	2
4. 回収状況	2
5. 報告書の見方	2

II 調査結果

1. 基本項目	3
2. 住居と暮らしについて	5
3. 授業・学習について	15
4. 課外活動等について	29
5. 健康等について	33
6. 不安や悩みについて	42
7. マナー等について	46
8. 進路と就職について	51
9. ボランティア活動について	65
10. 大学施設等について	72
11. 大学への意見・要望	84

III 資料

調査票	86
-----	----

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、大阪体育大学に在籍する学生を対象として、生活状況や学業などについて意見を聞き、学生生活を送る上でよりよいキャンパスづくりに役立てるとともに、今後の学生を対象とした施設や制度のあり方を検討する際の参考とすることを目的としている。

2. 調査項目

調査項目	質問項目
1. 基本項目	◆ F 1. ①所属学部・学科 ②年次 ③性別 ④入学方法 ⑤課外活動 ⑥居住形態
2. 住居と暮らしについて	◆問 1. 家賃等 ◆問 2. 大学への通学方法 ◆問 3. 通学時間 ◆問 4. 通学中の事故の経験 ◆問 4-1. 事故の内容 ◆問 5. 1ヶ月平均の生活費 ◆問 6. 家族からもらう1ヶ月平均の金額 ◆問 7. アルバイトの週平均労働時間数 ◆問 7-1. アルバイトの時間帯 ◆問 8. アルバイトの月平均収入 ◆問 9. アルバイトをする理由 ◆問 10. アルバイトが理由での授業の欠席経験
3. 授業・学習について	◆問 11. カリキュラム・時間割について ◆問 12. 授業の出席状況 ◆問 13. 授業内容の理解度 ◆問 13-1. 理解困難な理由 ◆問 14. 自習時間について ◆問 15. 学習支援室の利用状況 ◆問 16. 通信機器の所有状況 ◆問 17. 大学でのパソコンの利用目的 ◆問 18. 大学でのパソコンの主な利用場所 ◆問 19. 大阪体育大学の Google ポータルサイトの認知度 ◆問 20. Gmail の利用状況 ◆問 21. Campusmate ポータルサイトの認知度 ◆問 22. 大学の情報を見るための利用媒体
4. 課外活動等について	◆問 23. 学内の課外活動の参加状況 ◆問 23-1. 課外活動の活動時間 ◆問 23-2. 課外活動の不参加理由 ◆問 24. 大学祭(雨山祭)の参加状況 ◆問 24-1. 大学祭(雨山祭)の不参加理由
5. 健康等について	◆問 25. 朝食の摂食状況 ◆問 25-1. 朝食の摂食場所 ◆問 26. 三食の栄養摂取状況 ◆問 27. 食生活について ◆問 27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由 ◆問 28. 100円朝食の利用状況 ◆問 28-1. 100円朝食について感じたこと ◆問 29. タバコ喫煙状況 ◆問 29-1. 喫煙開始時期 ◆問 29-2. 喫煙のきっかけ ◆問 29-3. 禁煙経験の有無 ◆問 29-4. 学内が全面禁煙になった場合の対応 ◆問 30. 喫煙・禁煙について
6. 不安や悩みについて	◆問 31. 悩みや課題の有無 ◆問 32. 悩みや課題の具体的内容 ◆問 33. 悩みの相談相手 ◆問 34. 学生相談室について
7. マナー等について	◆問 35. マナーアップキャンペーンの参加状況 ◆問 35-1. マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえることについての認知度 ◆問 36. 学生のマナーが悪いと思うもの ◆問 37. 学内での被害の経験
8. 進路と就職について	◆問 38. 進路について ◆問 39. 進路を考える上での情報入手手段 ◆問 40. 将来の希望職種 ◆問 41. キャリア支援センターの利用状況 ◆問 41-1. キャリア支援センター利用の方法 ◆問 41-2. キャリア支援センターを利用していない理由 ◆問 42. 教職支援センターの利用状況 ◆問 42-1. 教職支援センター利用の方法 ◆問 42-2. 教職支援センターを利用していない理由

◆◇I 調査の概要◇◆

調査項目	質問項目
9. ボランティア活動について	◆問 43. ボランティア活動の経験 ◆問 43-1. ボランティア活動の経験がない理由 ◆問 44. ボランティア活動への興味・関心 ◆問 44-1. 参加を希望するボランティア活動内容 ◆問 45. ボランティア活動に関する大学での取り扱い
10. 大学施設等について	◆問 46. 大学内で昼食時に利用する施設 ◆問 47. 大学内で空き時間に利用する施設 ◆問 48. 図書館利用について ◆問 48-1. 新聞の閲読について ◆問 48-2. 読書について ◆問 49. トレーニングルームの利用状況 ◆問 49-1. 1 週間のトレーニングルームの利用時間 ◆問 50. 大学の施設で気になること ◆問 51. 大学事務局の窓口の対応 ◆問 52. 大阪体育大学の学生生活の満足度
11. 大学への意見・要望	

3. 調査設計

調査対象	学部学生全員
調査方法	授業時に指導教員による直接配布・回収（一部、窓口提出による回収）
調査期間	平成29年10月30日～平成29年11月30日

4. 回収状況

学部・研究科	対象学生数	有効回収数	有効回収率
体育学部 / スポーツ教育学科	1,293	991	76.6%
体育学部 / 健康・スポーツマネジメント学科	814	582	71.4%
健康福祉学部 / 健康福祉学科	135	100	74.0%
教育学部 / 教育学科小学校教育コース	256	200	78.1%
教育学部 / 教育学科保健体育教育コース	170	126	74.1%
所属学部・学科不明 *1)		188	
合計	2,668	2,187	81.9%

*1) 所属学部・学科不明：所属学部・学科の設問が無回答の件数

5. 報告書の見方

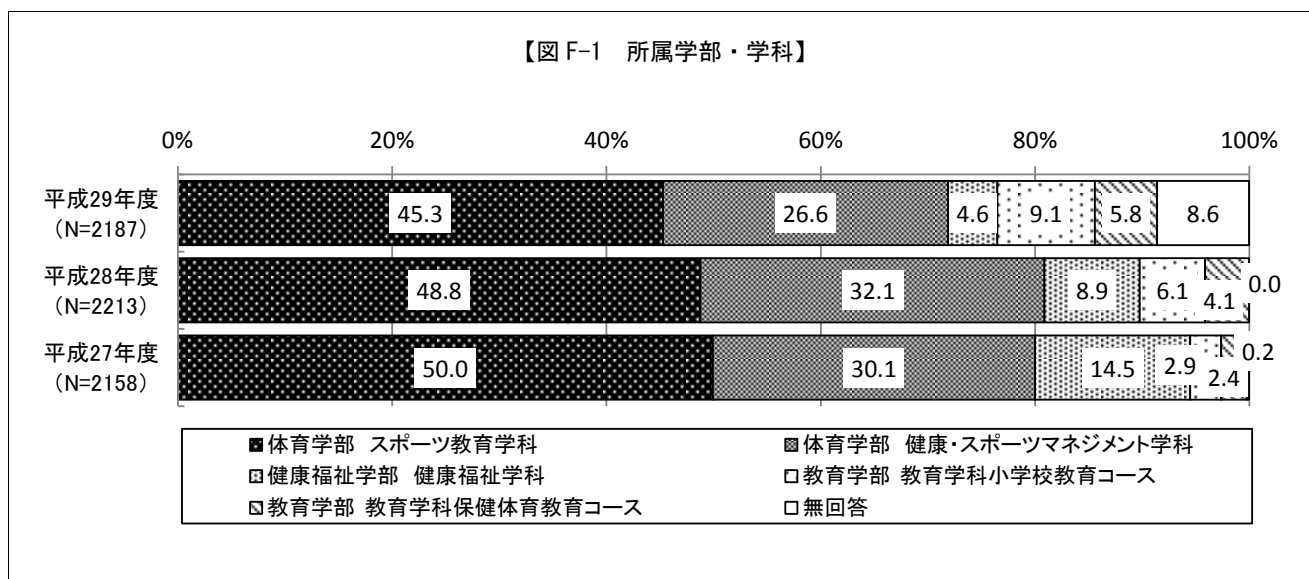
(1) 図中のN (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。

(2) 回答比率 (%) は回答者数 (N) を 100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の回答者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0%を超える。

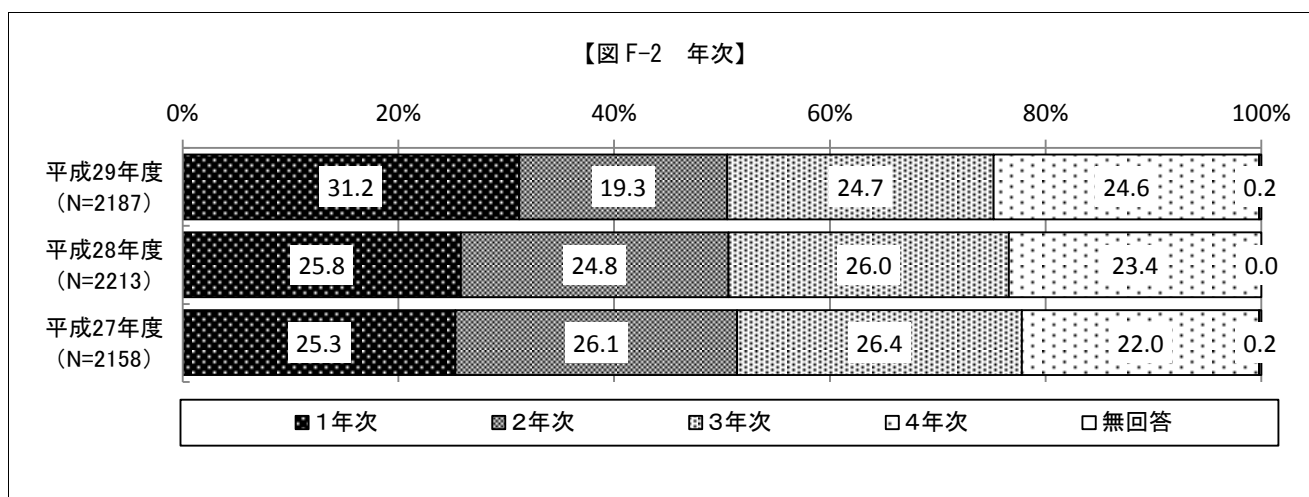
Ⅱ 調査結果

1. 基本項目

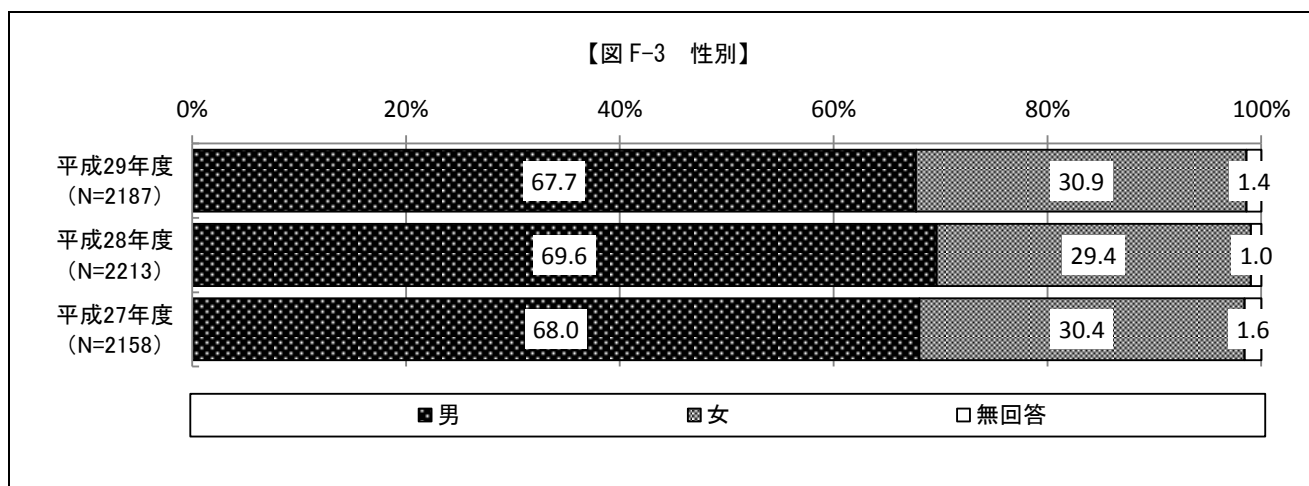
■①所属学部・学科



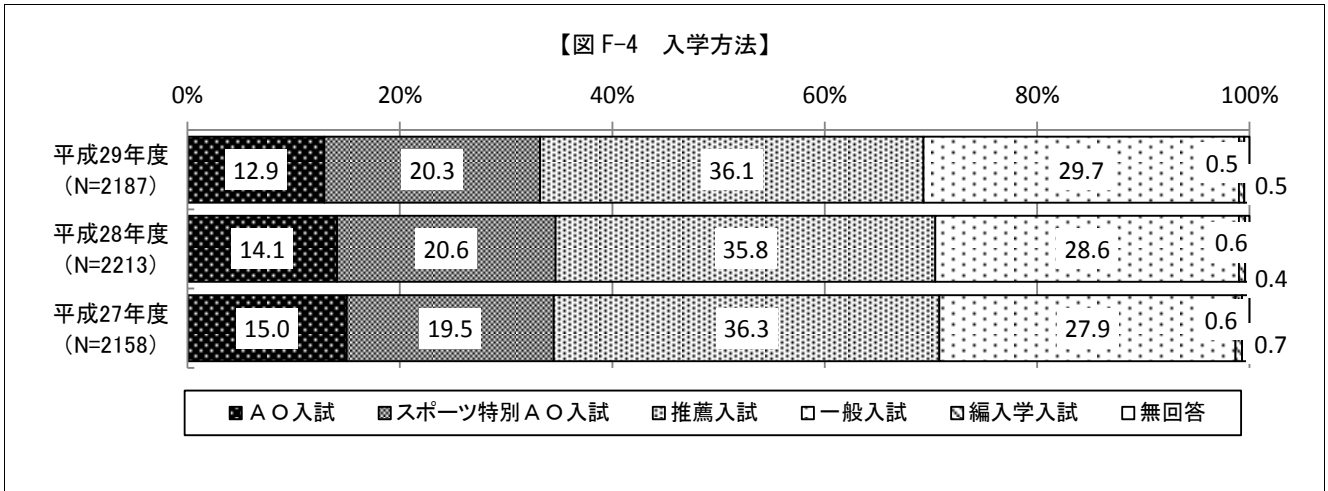
■②年次



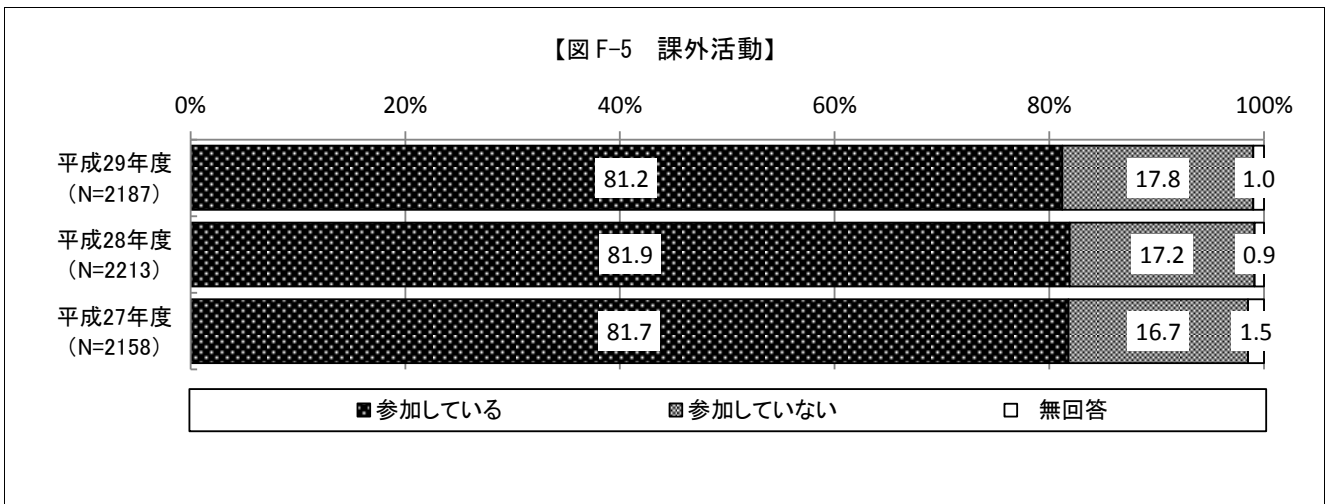
■③性別



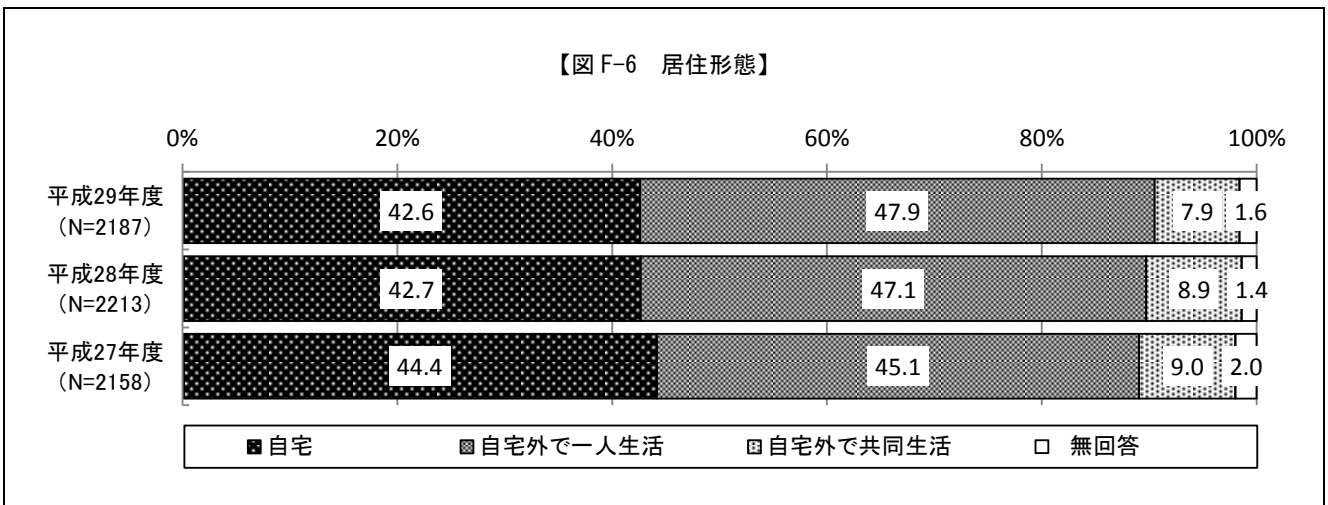
■④入学方法



■⑤課外活動



■⑥居住形態



2. 住居と暮らしについて

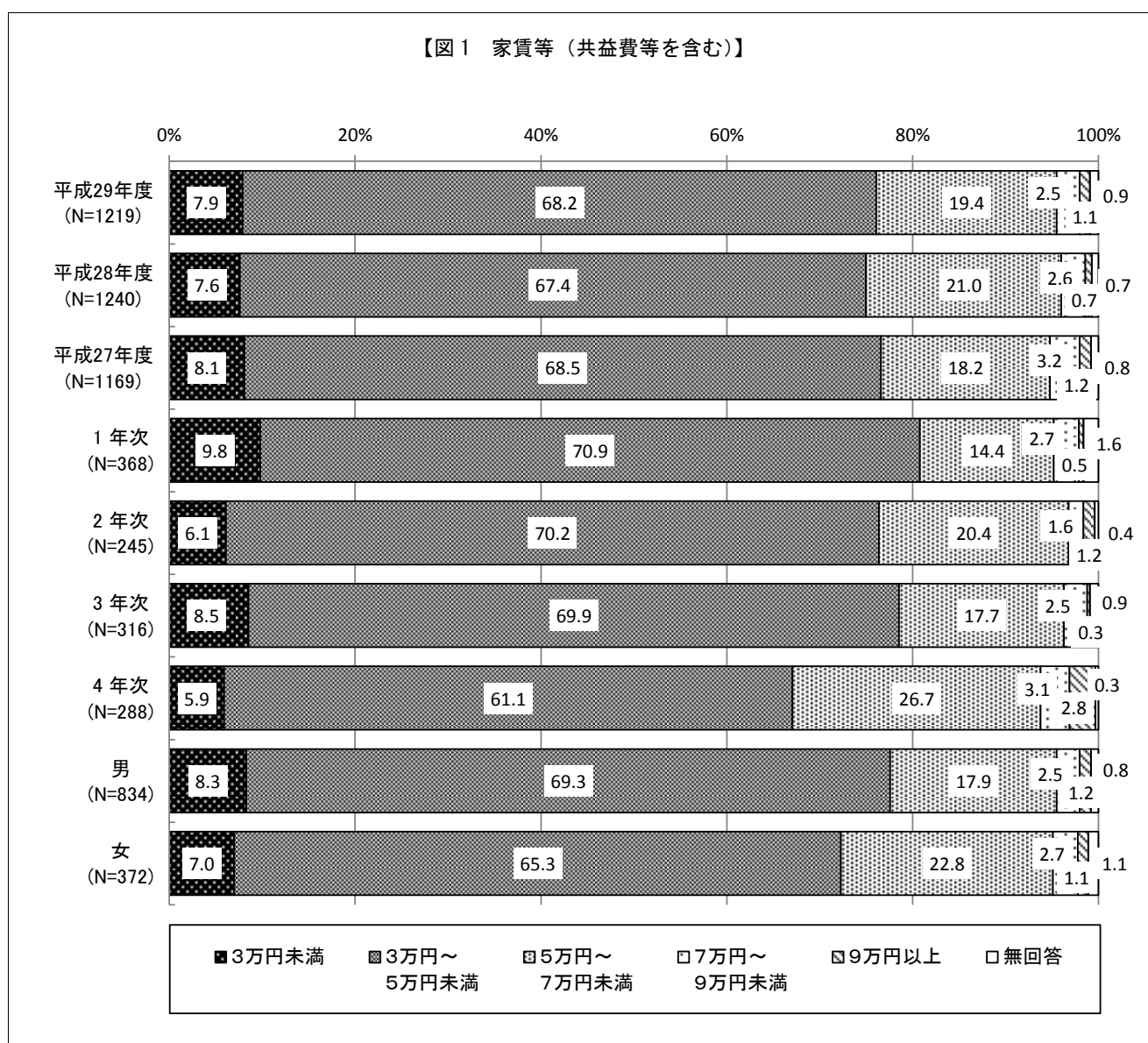
【結果概要（問1）】

問1. 自宅外で居住の場合の家賃等（共益費等を含む）は、「3万円～5万円未満」が68.2%と最も多く、「3万円未満」が7.9%と合わせると5万円未満は76.1%となっている。

平成29年度、平成28年度、平成27年度調査（以後、「今回調査」、「前回調査」、「前々回調査」とする）で比べると、「5万円～7万円未満」は前回調査が最も高い数字となった。各年度ともに大きな差はなかった。

性別でみると、「5万円未満」は男性が77.6%（8.3%+69.3%）に対し、女性は72.3%（7.0%+65.3%）と男性の方が5.3ポイント高くなっている。＜図1＞

■問1. 家賃等（共益費等を含む）（過年度調査・年次別・性別）

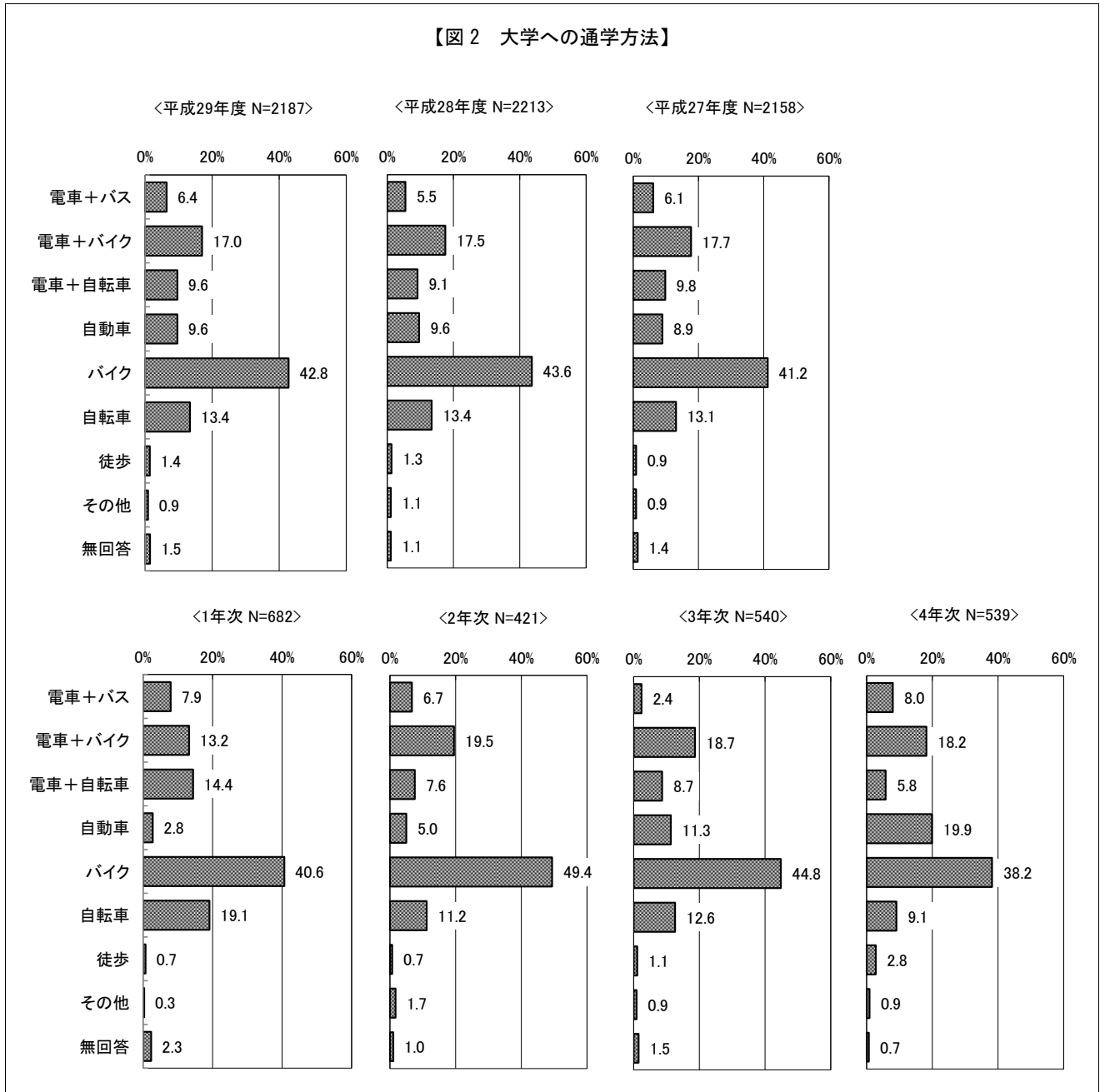


【結果概要（問2）】

問2. 大学への通学方法としては「バイク」が42.8%で最も多く、次に「電車+バイク」が17.0%、「自転車」が13.4%となっている。

年次別でみると、「自動車」は年次が上がるほど多くなり、1年次では2.8%に対して4年次では19.9%となっている。＜図2＞

■問2. 大学への通学方法（過年度調査・年次別）



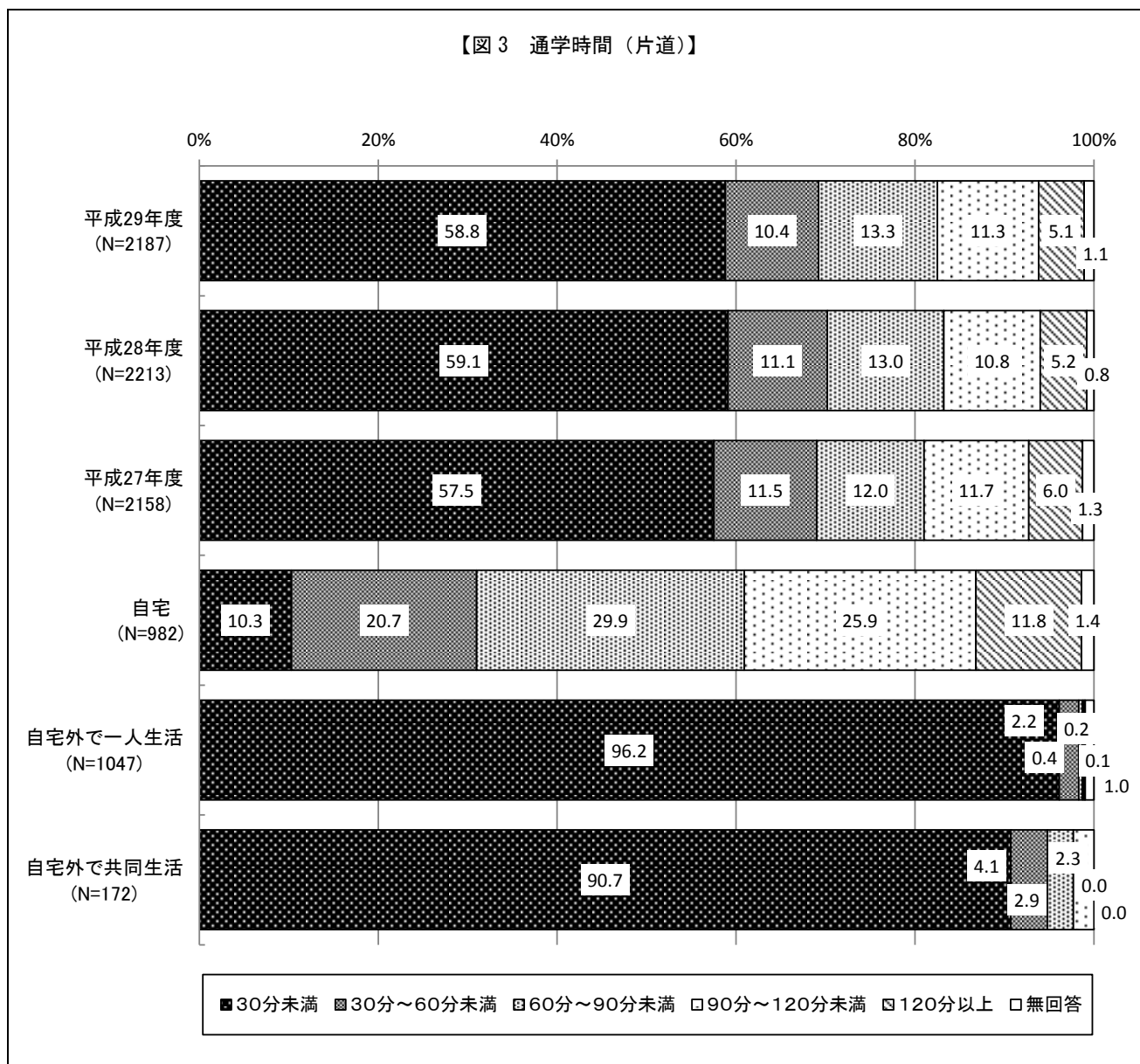
【結果概要（問3）】

問3. 通学時間は、「30分未満」が58.8%と約6割を占めている。

年次別で見ると、「60分未満」は今回調査が69.2%（58.8%+10.4%）に対し前年度が70.2%（59.1%+11.1%）で1.0ポイント減少している。

通学時間を居住形態別にみると、「自宅」からの学生は「60分～90分未満」が29.9%と最も多いが、「自宅外」の学生は9割以上が「30分未満」と大学の近い場所に居住している。＜図3＞

■問3. 通学時間（片道）（過年度調査・居住形態別）

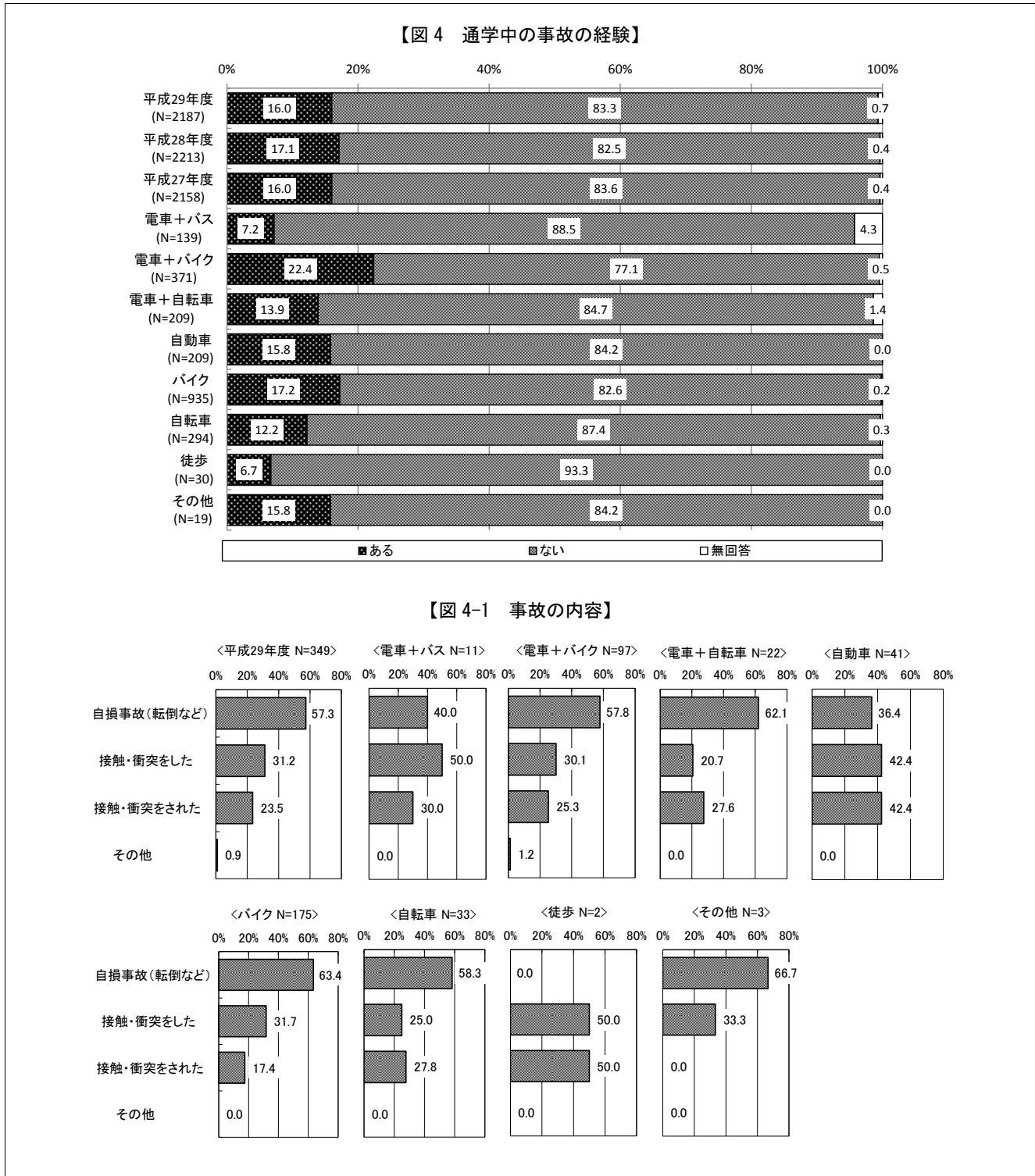


【結果概要（問4・問4-1）】

問4. 通学中の事故の経験の有無としては、「ある」が16.0%となっており、前回調査と比べると「ある」が1.1ポイント減少している。＜図4＞

問4-1. 通学中の事故の内容としては、「自損事故（転倒など）」が57.3%と最も多く、次に「接触・衝突をした」が31.2%、「接触・衝突をされた」は23.5%となっている。＜図4-1＞

■問4・問4-1. 通学中の事故の経験と内容（過年度調査・通学方法別）

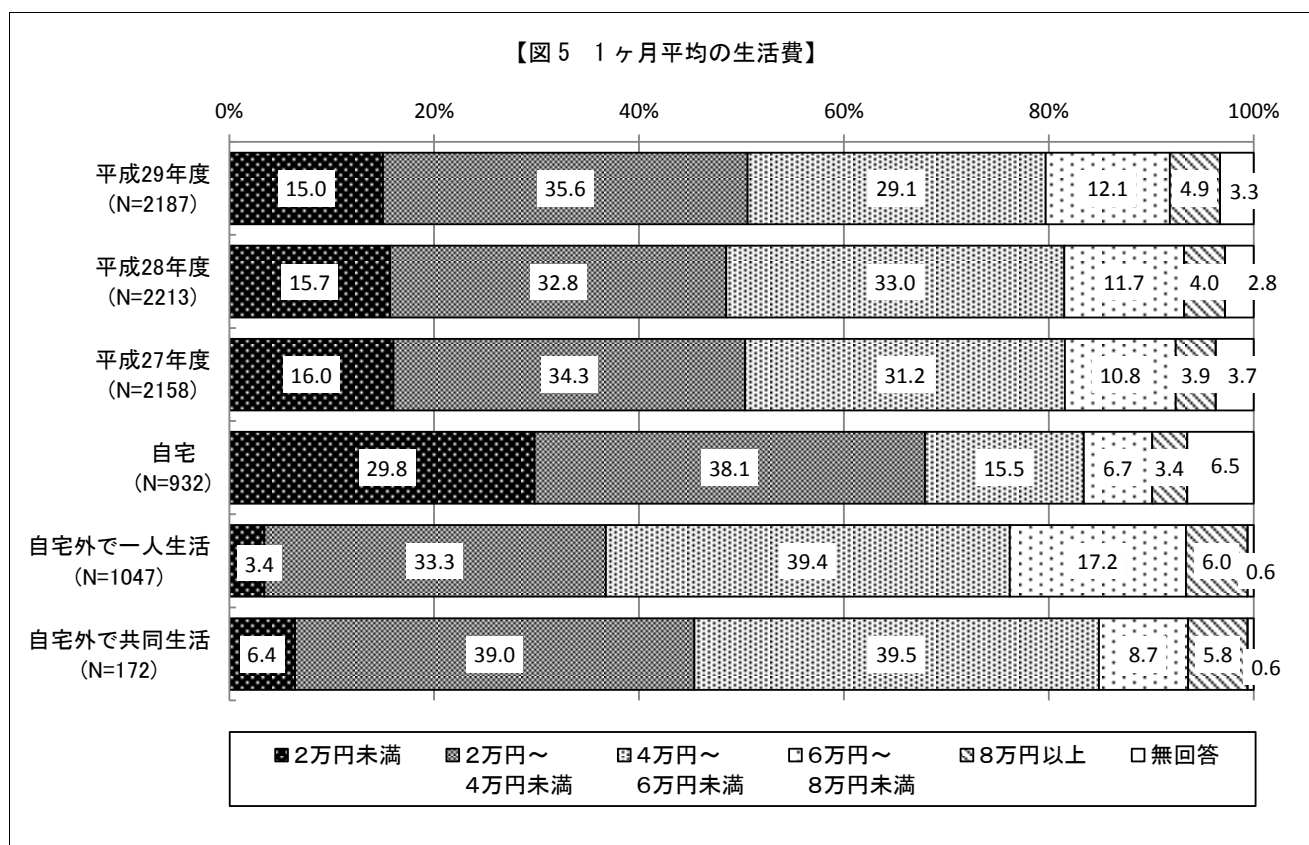


【結果概要（問5）】

問5. 1ヶ月平均の生活費は「2万円～4万円未満」が35.6%で最も多く、次に「4万円～6万円未満」が29.1%、「2万円未満」が15.0%、全体で79.7%の学生が「6万円未満」となっている。

居住形態別でみると、「自宅」から通学している学生は「4万円未満」が67.9%(29.8%+38.1%)に対し、「自宅外で一人生活」は36.7%(3.4%+33.3%)、「自宅外で共同生活」は45.4%(6.4%+39.0%)と、「自宅」の学生は全体的に生活費が安くなっている。<図5>

■問5. 1ヶ月平均の生活費（過年度調査・居住形態別）

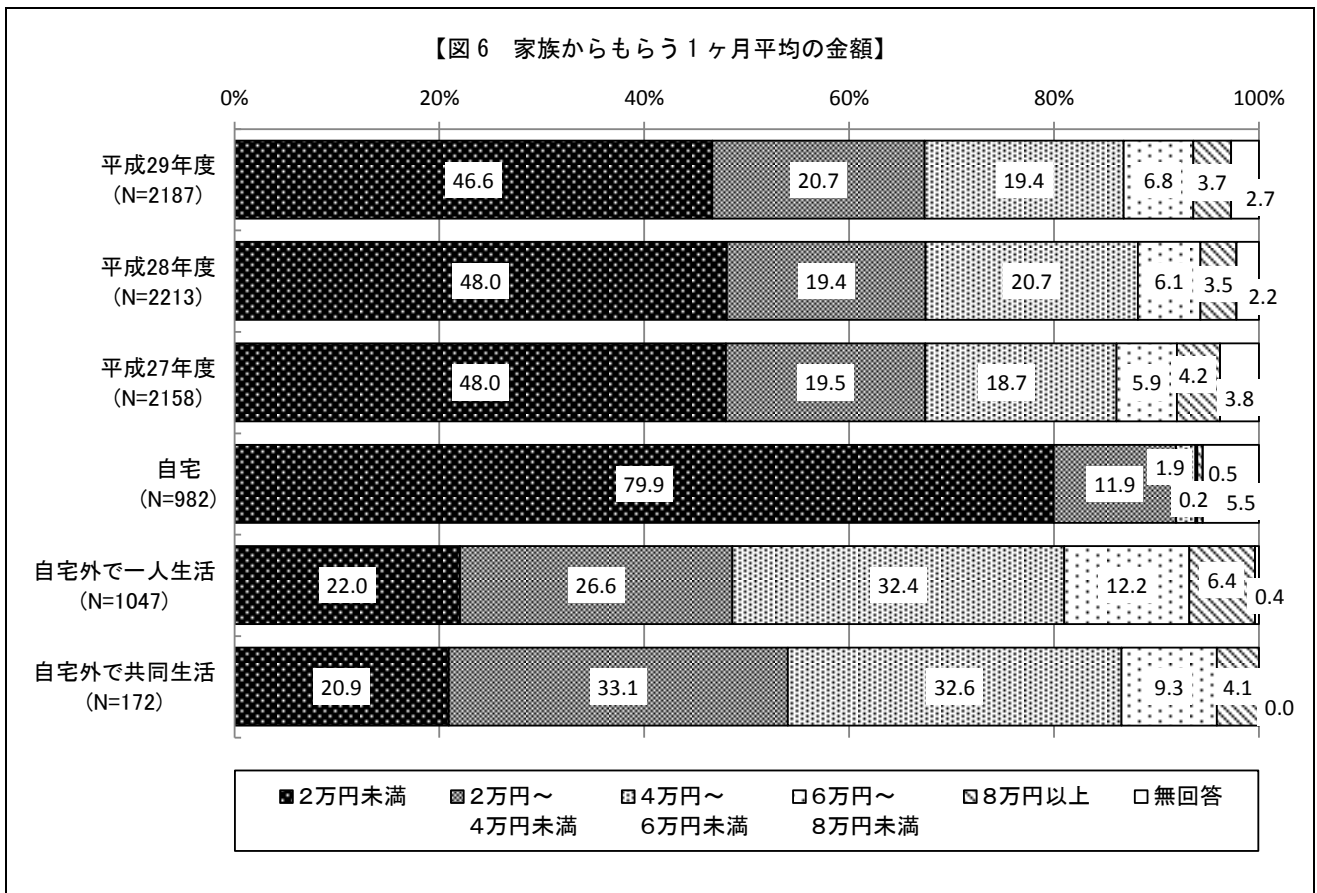


【結果概要（問6）】

問6. 家族からもらう1ヶ月の平均金額は「2万円未満」が46.6%と最も多く、次に「2万円～4万円未満」が20.7%、「4万円～6万円未満」が19.4%となっている。

居住形態別で見ると、「自宅」では「2万円未満」の79.9%が最も多い。しかし、「自宅外で一人生活」では「4万円～6万円未満」が32.4%、「自宅外で共同生活」では「2万円～4万円未満」の33.1%が最も多くなっている。<図6>

■問6. 家族からもらう1ヶ月平均の金額（過年度調査・居住形態別）



【結果概要（問7・7-1）】

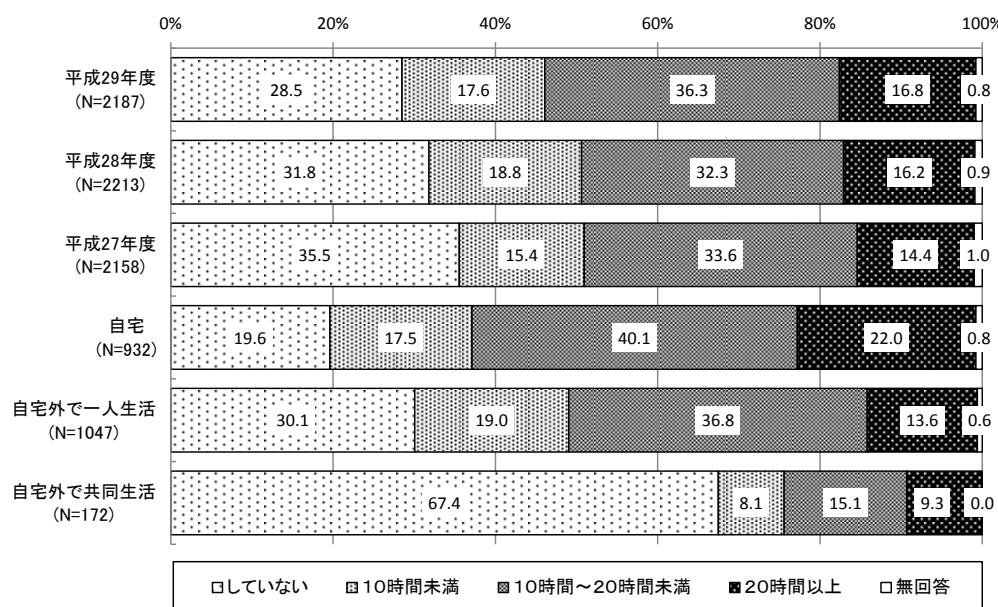
問7. アルバイトの状況としては、「している」が70.7%と全体の7割を占めている。「週平均労働の時間数」は、「10時間～20時間未満」が36.3%と最も多くなっている。＜図7＞

問7-1. アルバイトをしている時間帯としては「夕方～夜」が74.6%と最も多く、次に「深夜から早朝」が19.5%となっている。＜図7-1＞

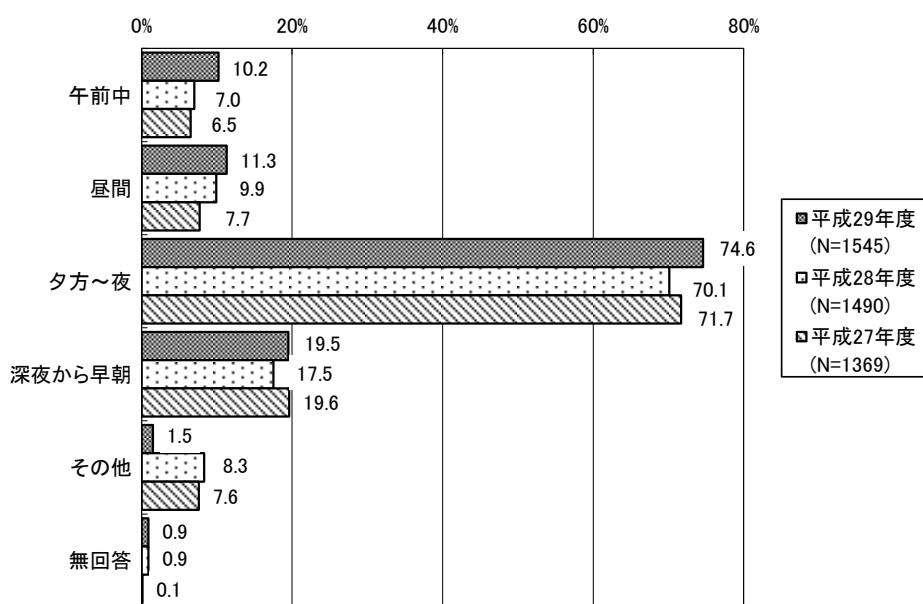
■問7. アルバイトの週平均労働時間数（過年度調査・居住形態別）

■問7-1. アルバイトの時間帯（過年度調査）

【図7 アルバイトの週平均労働時間数】



【図7-1 アルバイトの時間帯】



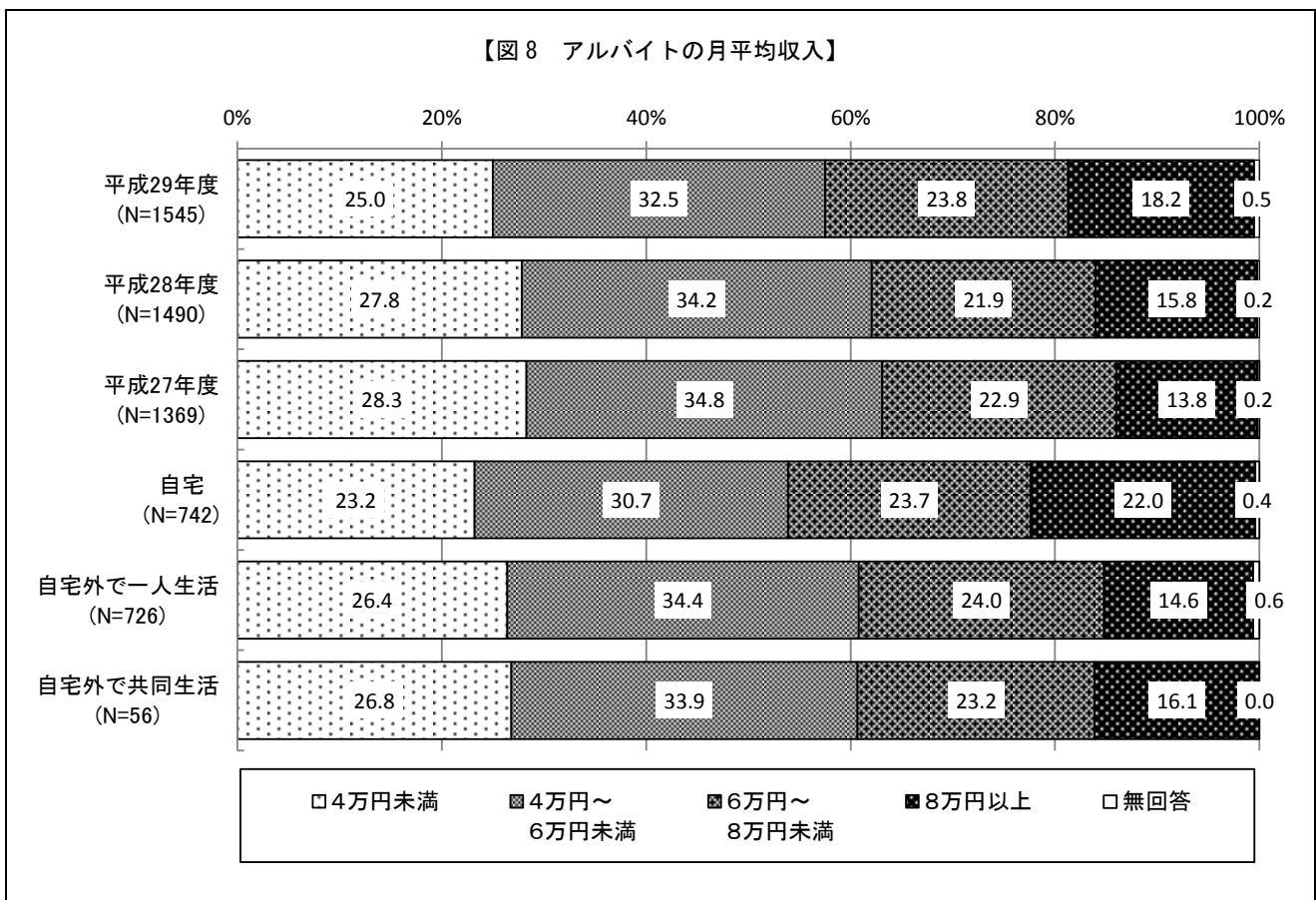
【結果概要（問8）】

問8. アルバイトの月平均収入としては、「4万円～6万円未満」が32.5%と最も多く、次に「4万円未満」が25.0%となっている。

前回調査と比べると、「6万円～8万円未満」が1.9ポイント、「8万円以上」が2.4ポイントそれぞれ増加している。

居住形態別でみると、全ての居住形態で「4万円～6万円未満」が最も高くなっており「自宅」は30.7%、「自宅外で一人生活」は34.4%、「自宅外で共同生活」は33.9%となっている。<図8>

■問8. アルバイトの月平均収入（過年度調査・居住形態別）



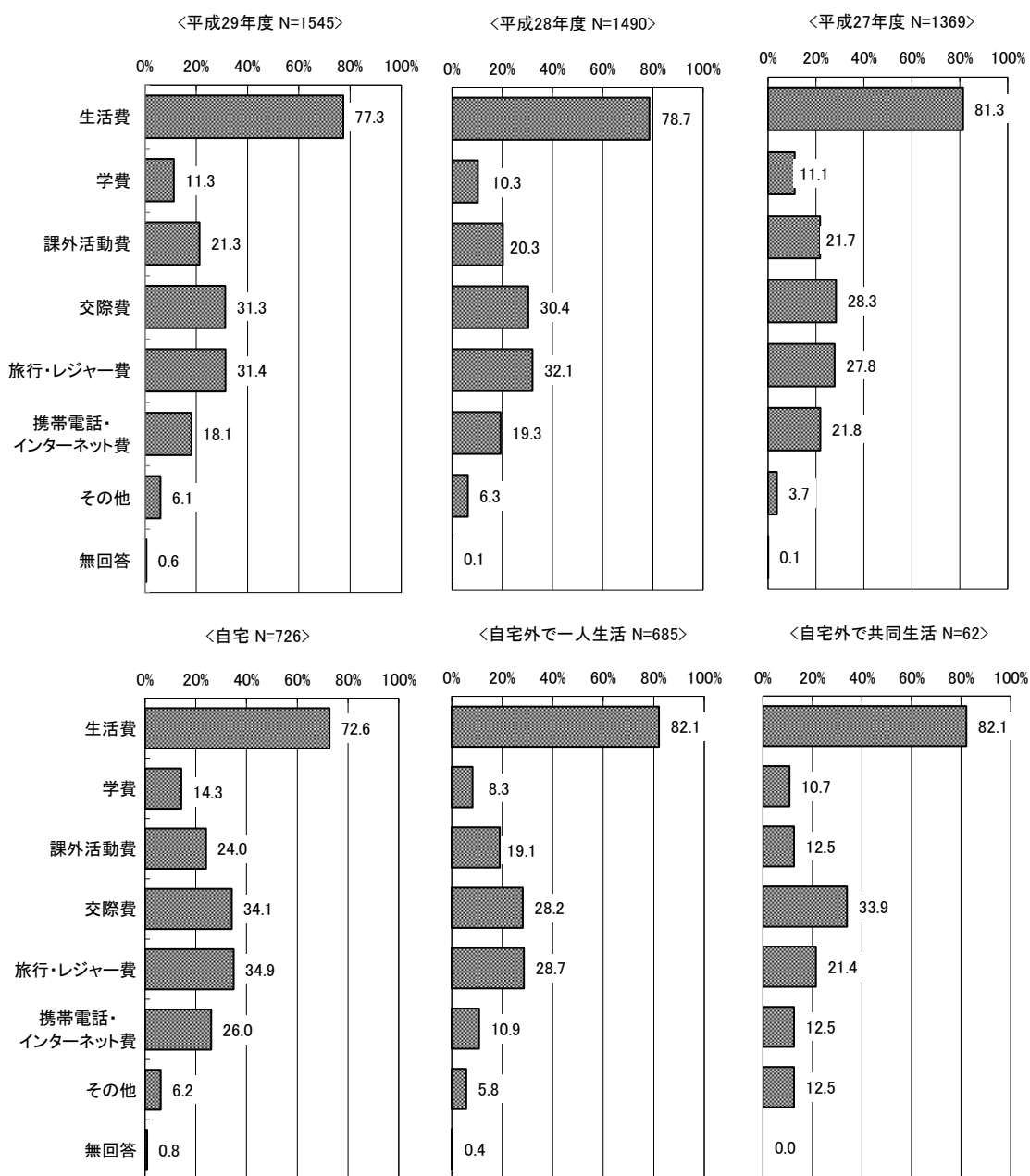
【結果概要（問9）】

問9. アルバイトをする理由としては、「生活費」が77.3%と最も多くなっている。

居住形態別でみると、「自宅」、「自宅外で一人生活」の第2位は「旅行・レジャー費」となっている。しかし、「自宅外で共同生活」では「交際費」が第2位となっている。＜図9＞

■問9. アルバイトをする理由（過年度調査・居住形態別）

【図9 アルバイトをする理由】



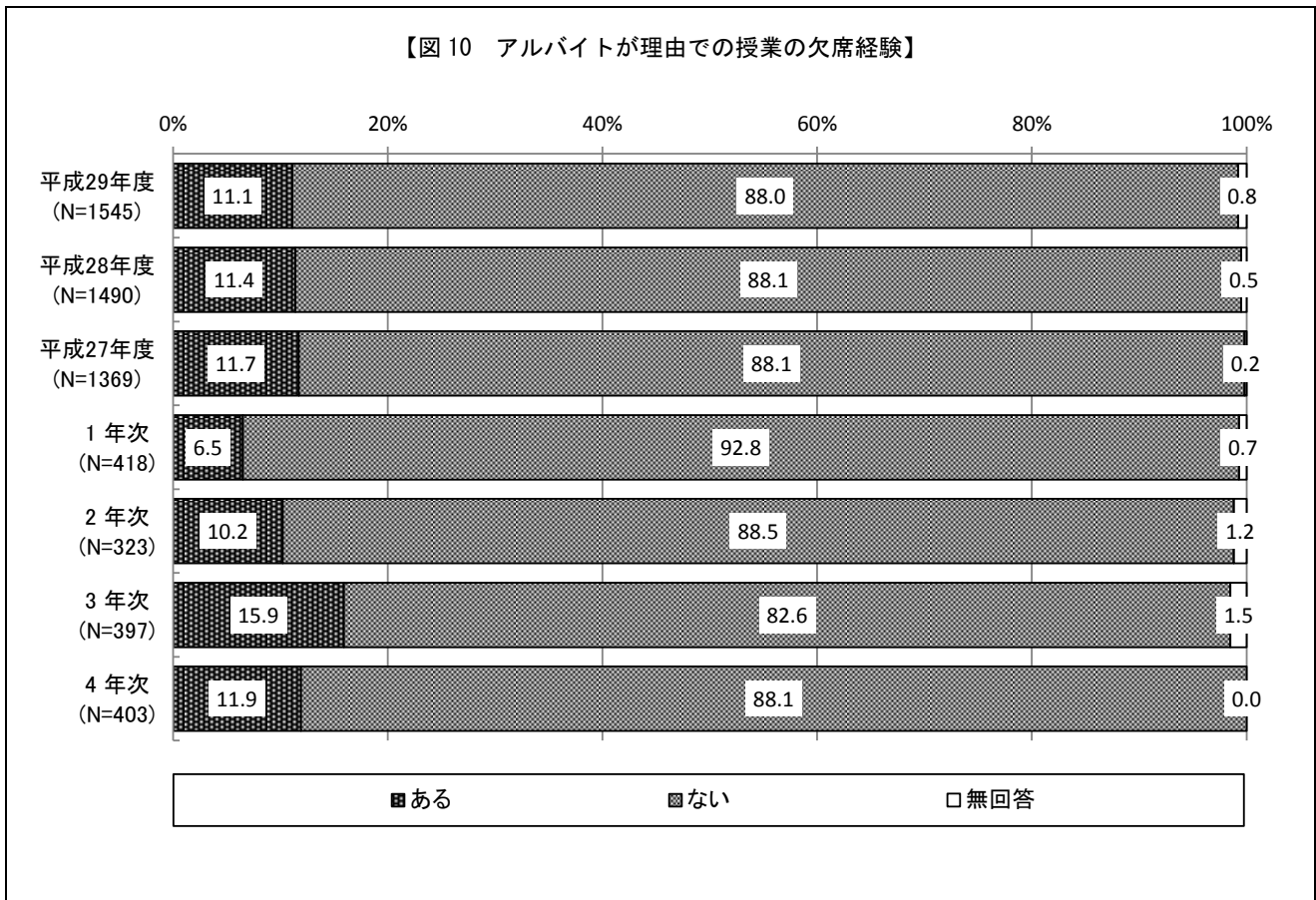
【結果概要（問10）】

問10. アルバイトが原因で授業を欠席したことがある経験は、「ある」の回答は11.1%、「ない」は88.0%となっている。

前回調査と比べると、「ある」は0.3ポイントと、やや減少している。

年次別でみると、アルバイトが原因で授業を欠席したことが「ある」は1年次では6.5%に対して4年次では11.9%まで高くなっている。今回調査では3年次が15.9%と最も高くなっている。<図10>

■問10. アルバイトが理由での授業の欠席経験（過年度調査・年次別）



3. 授業・学習について

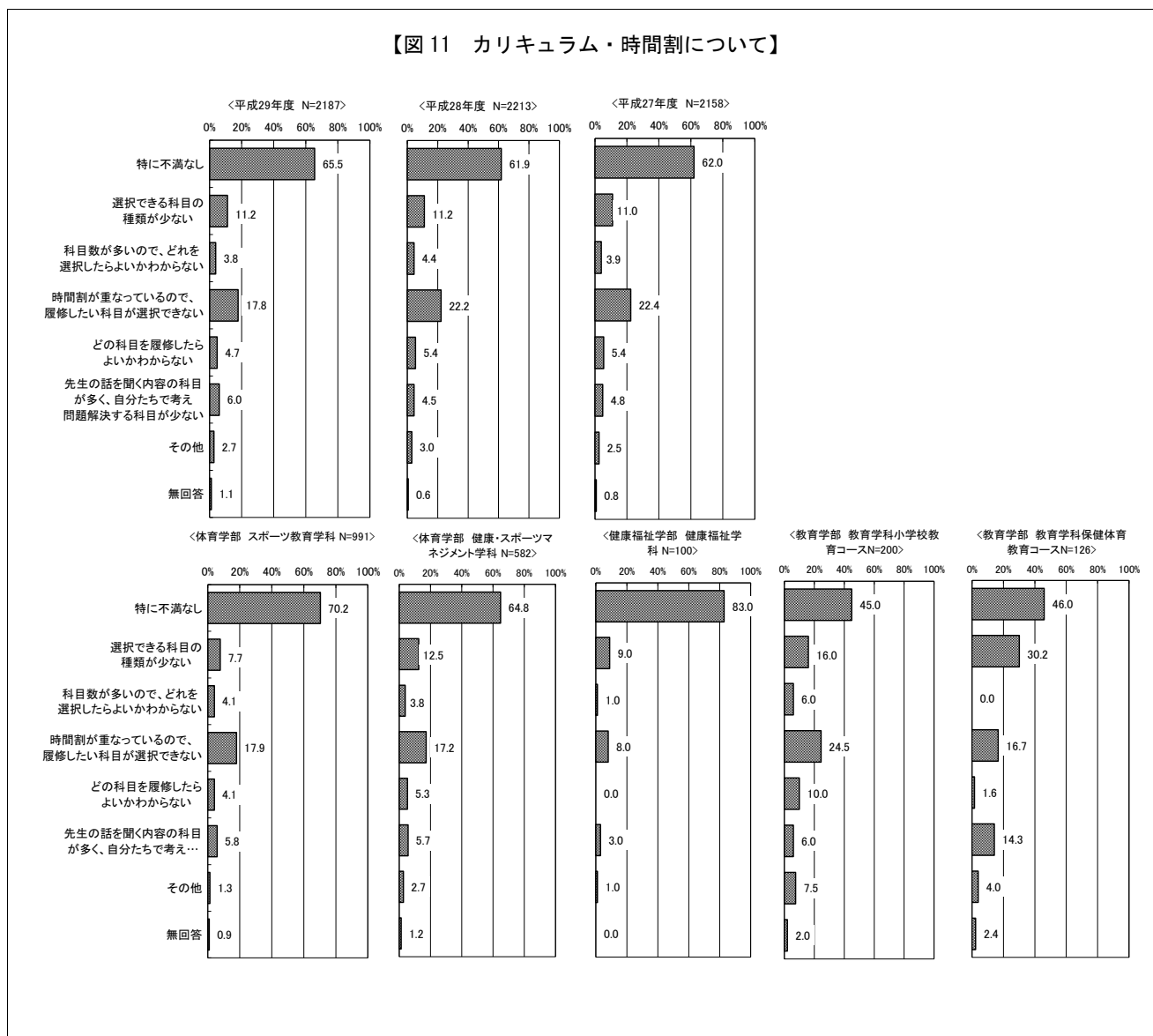
【結果概要（問11）】

問11. カリキュラム・時間割についてどう感じているかでは、「特に不満なし」が65.5%で6割以上を占めている。不満内容としては、「時間割が重なっているので、履修したい科目が選択できない」が17.8%と最も多くなっている。

前回調査と比べると、「時間割が重なっているので、履修したい科目が選択できない」が4.4ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、「特に不満なし」は体育学部と健康福祉学部が6割以上と教育学部に比べて高く、「選択できる科目の種類が少ない」は教育学部教育学科保健体育教育コースが30.2%で他の学部・学科に比べて最も高くなっている。＜図11＞

■問11. カリキュラム・時間割について（過年度調査・学科別）

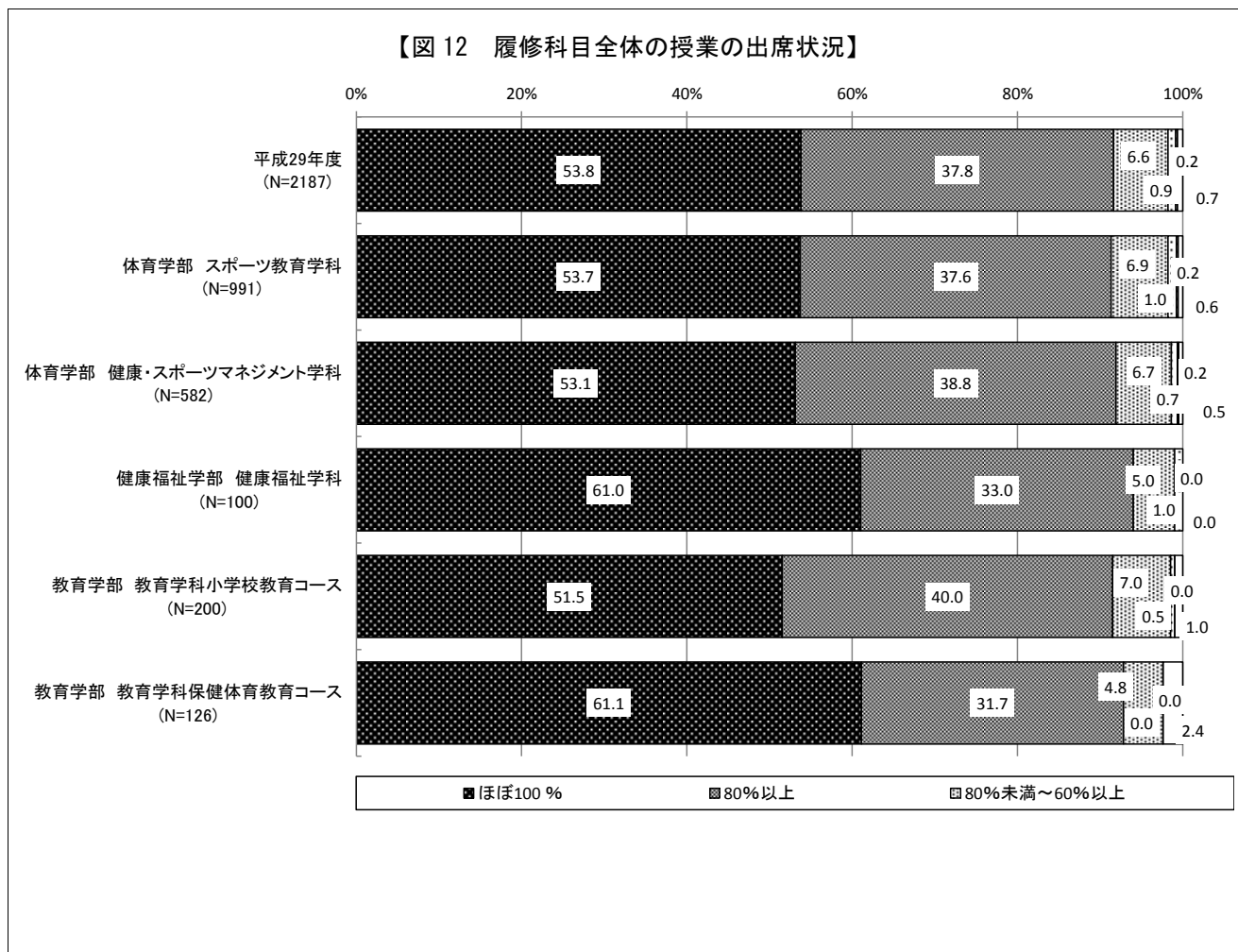


【結果概要（問12）】

問12. 履修科目全体の授業の出席状況の割合は、「ほぼ100%」が53.8%と「80%以上」の37.8%を合わせると91.6%となっている。

所属学部・学科別でみると、「80%以上」は教育学部教育学科小学校教育コースで40.0%と最も多くなっている。

■問12. 履修科目全体の授業の出席状況（学科別）



【結果概要（問13）】

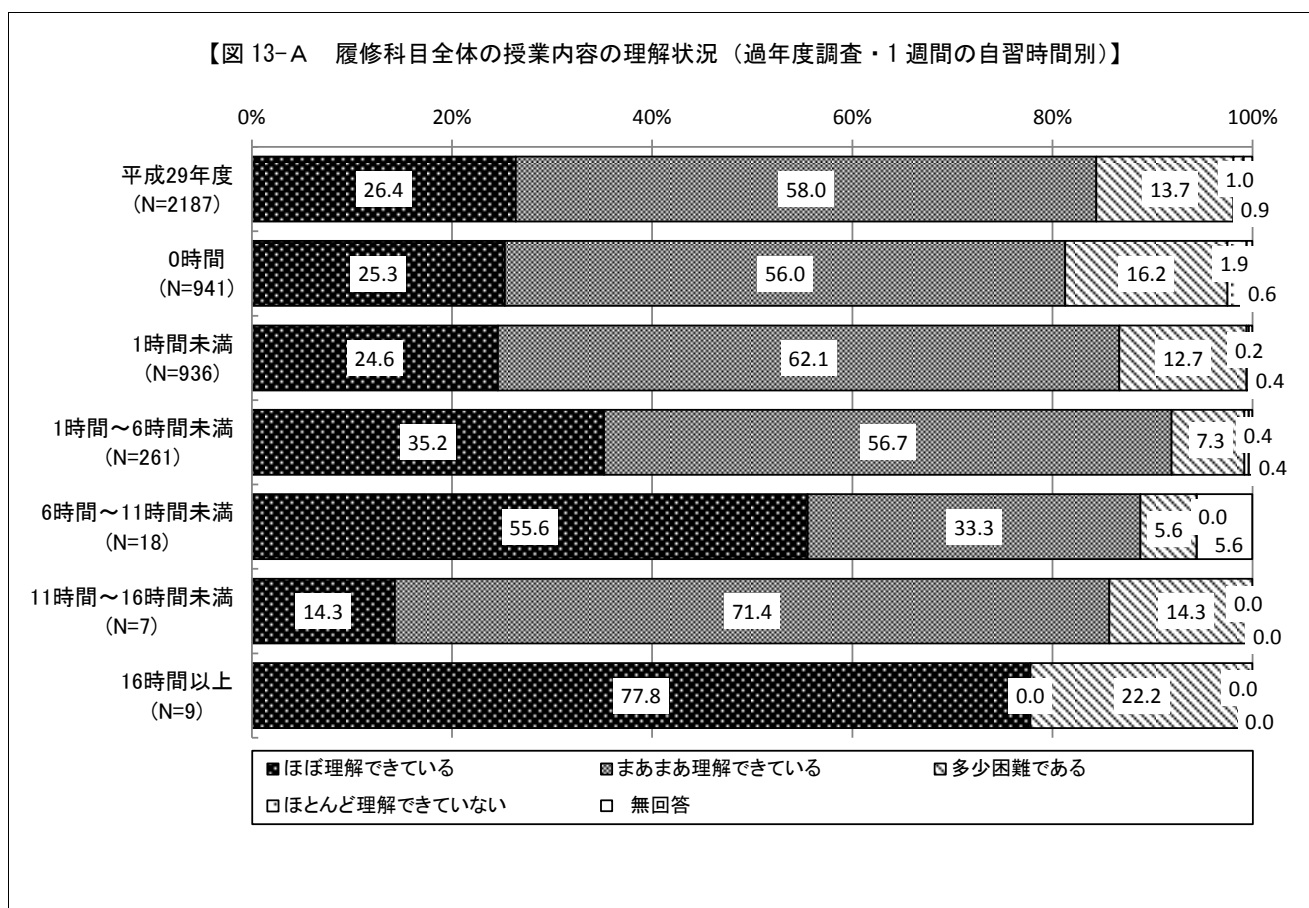
問13. 履修科目全体の授業内容の理解度としては、「まあまあ理解できている」が58.0%と最も多く、「ほぼ理解できている」の26.4%を合わせると84.4%の学生が「授業を理解できている」と回答している。

問14の「1週間あたりの自習時間」とのクロス集計では、「0時間」の学生は「多少困難である」が16.2%と「ほとんど理解できていない」の1.9%が合わせて18.1%と回答する割合が高く、自習時間の重要性があらわれている。＜図13-A＞

問25の「朝食の摂食状況」とのクロス集計では、「ほとんど毎日摂る」の学生は86.8%（28.2%+58.6%）、「摂らない」の学生は80.9%（27.3%+53.6%）と授業内容の理解度にやや差が出ている。＜図13-B＞

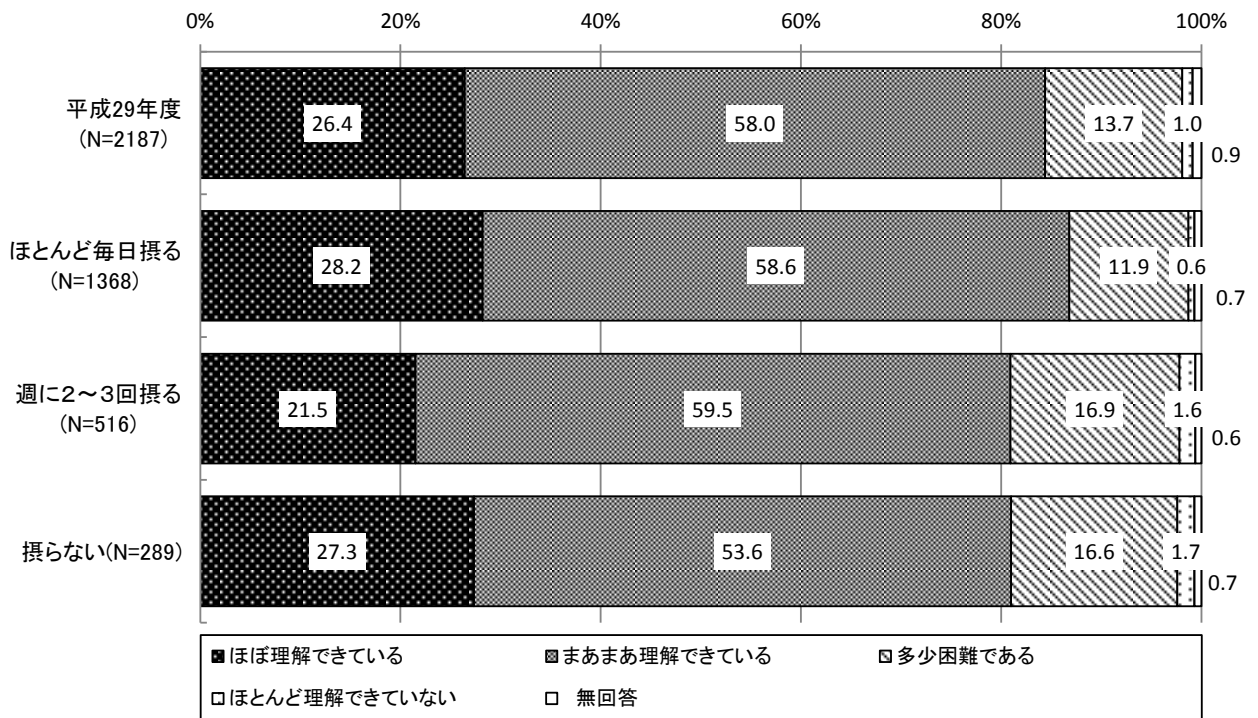
問48の「図書館の利用状況」とのクロス集計では、図書館の利用頻度が高いほど、「授業を理解できている」割合は高くなっている。＜図13-C＞

■問13. 履修科目全体の授業内容の理解状況（過年度調査・1週間の自習時間別）

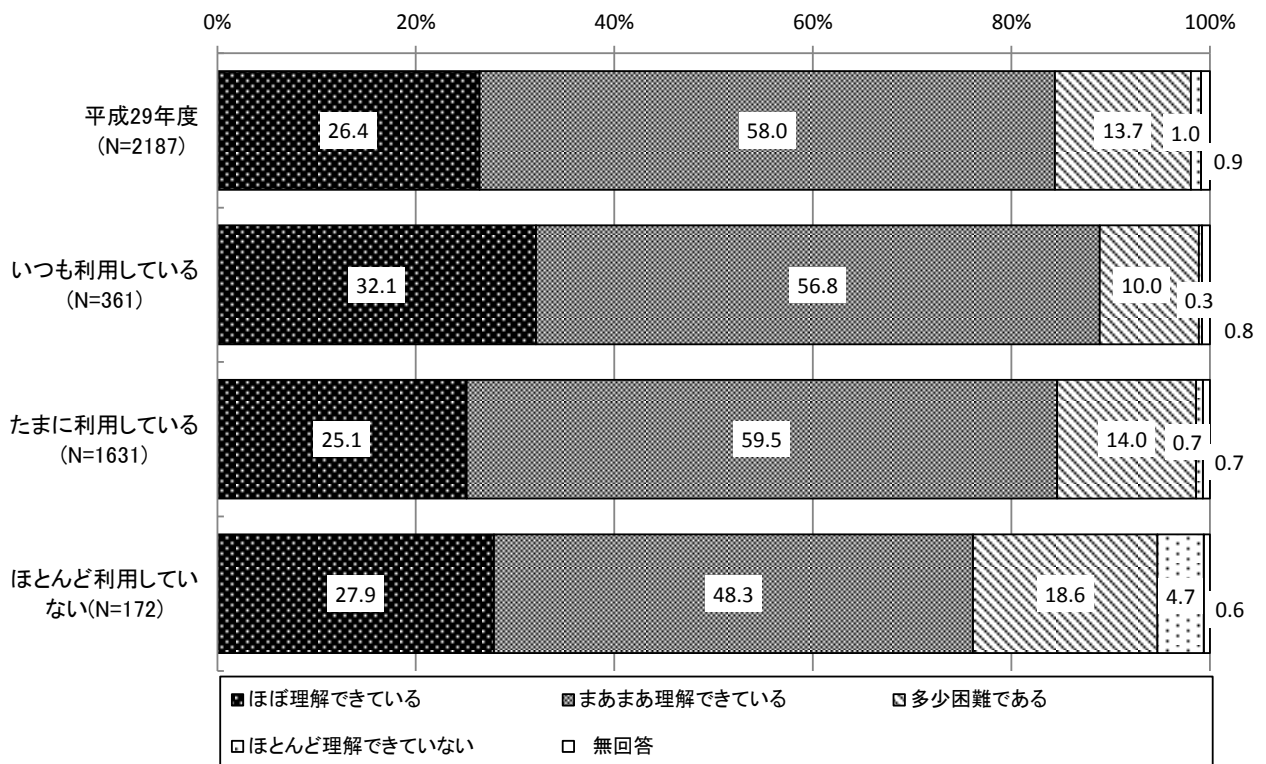


■ 問 1 3. 履修科目全体の授業内容の理解状況（朝食摂食状況別・図書館利用の状況別）

【図 13-B 履修科目全体の授業内容の理解状況（朝食の摂食状況別）】



【図 13-C 履修科目全体の授業内容の理解状況（図書館の利用状況別）】

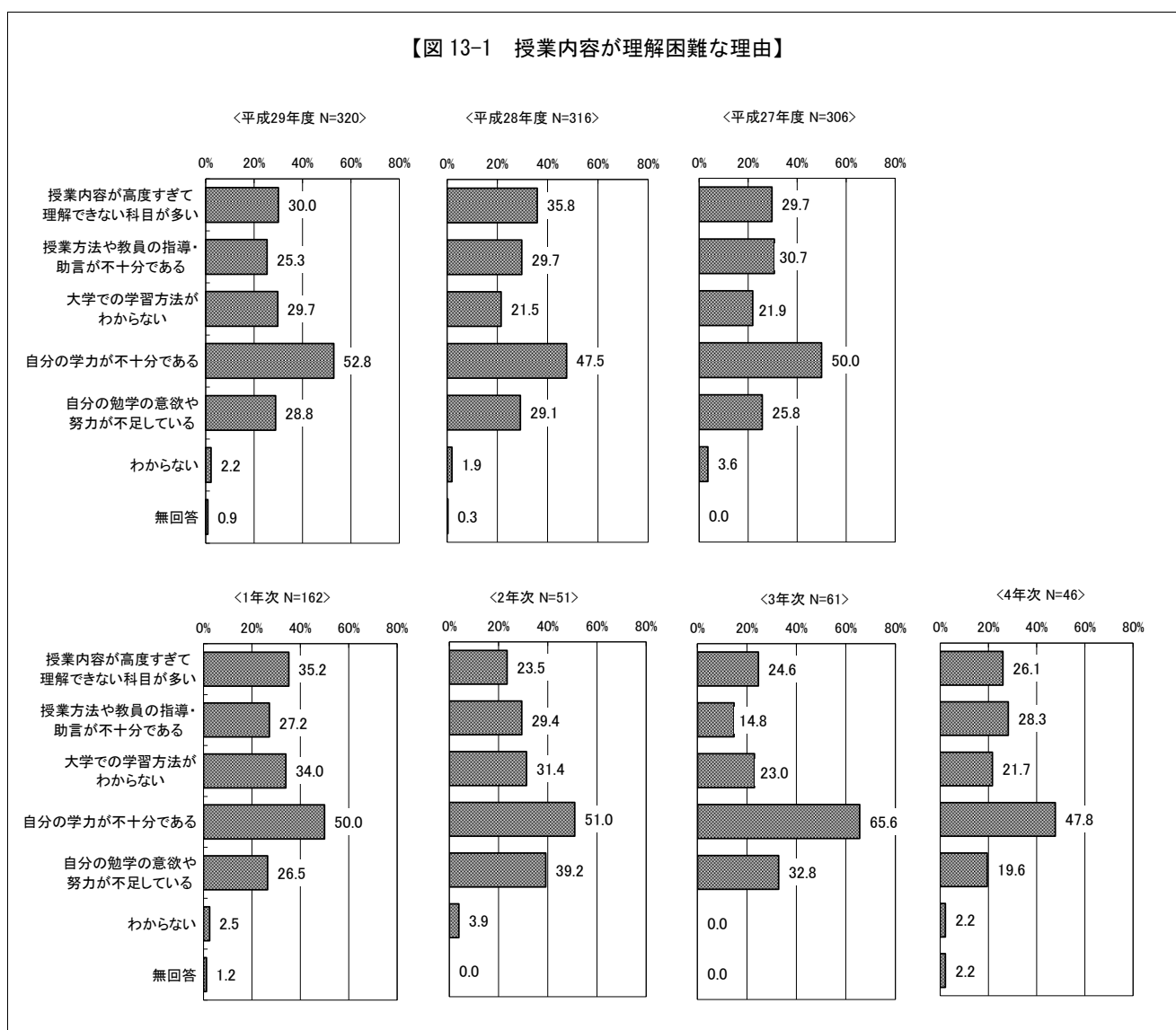


【結果概要（問13-1）】

問13-1. 問13で授業内容の理解が「多少困難である」と「ほとんど理解できていない」と回答した学生に理解困難な理由を尋ねたところ、「自分の学力が不十分である」の回答が52.8%と最も多く、次に「授業内容が高度すぎて理解できない科目が多い」が30.0%、「大学での学習方法がわからない」が29.7%となっている。

年次別でみると、どの年次でも「自分の学力が不十分である」が最も多い理由となっている。今回調査では3年次が65.6%と最も高くなっている。＜図13-1＞

■問13-1. 授業内容が理解困難な理由（過年度調査・年次別）

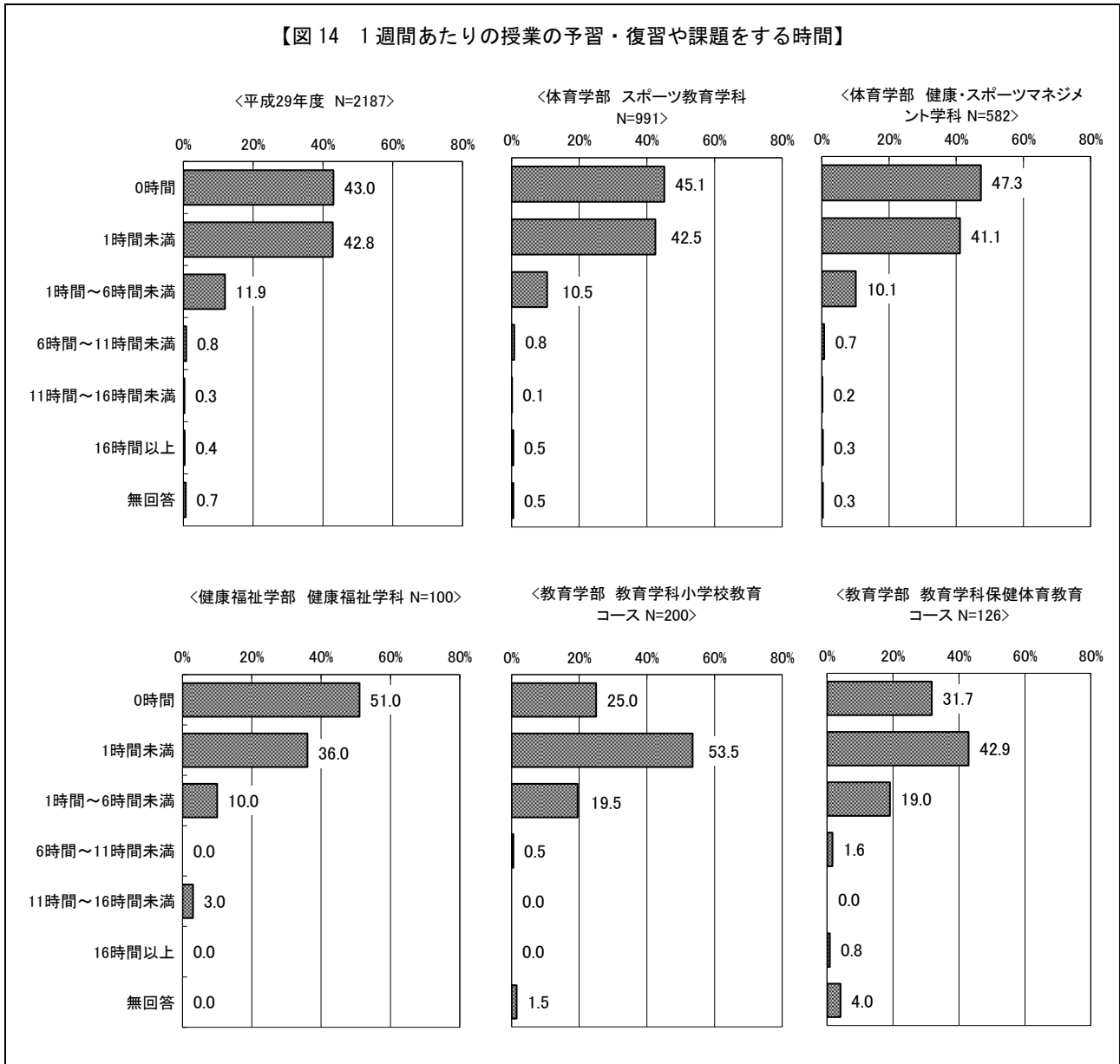


【結果概要（問14）】

問14. 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間としては、「0時間」が43.0%と最も多くなっており、次に「1時間未満」が42.8%となっている。

所属学部・学科別では、体育学部と健康福祉学部では「0時間」が最も多く、教育学部では「1時間未満」が最も多くなっている。＜図14＞

■問14. 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間（学科別）



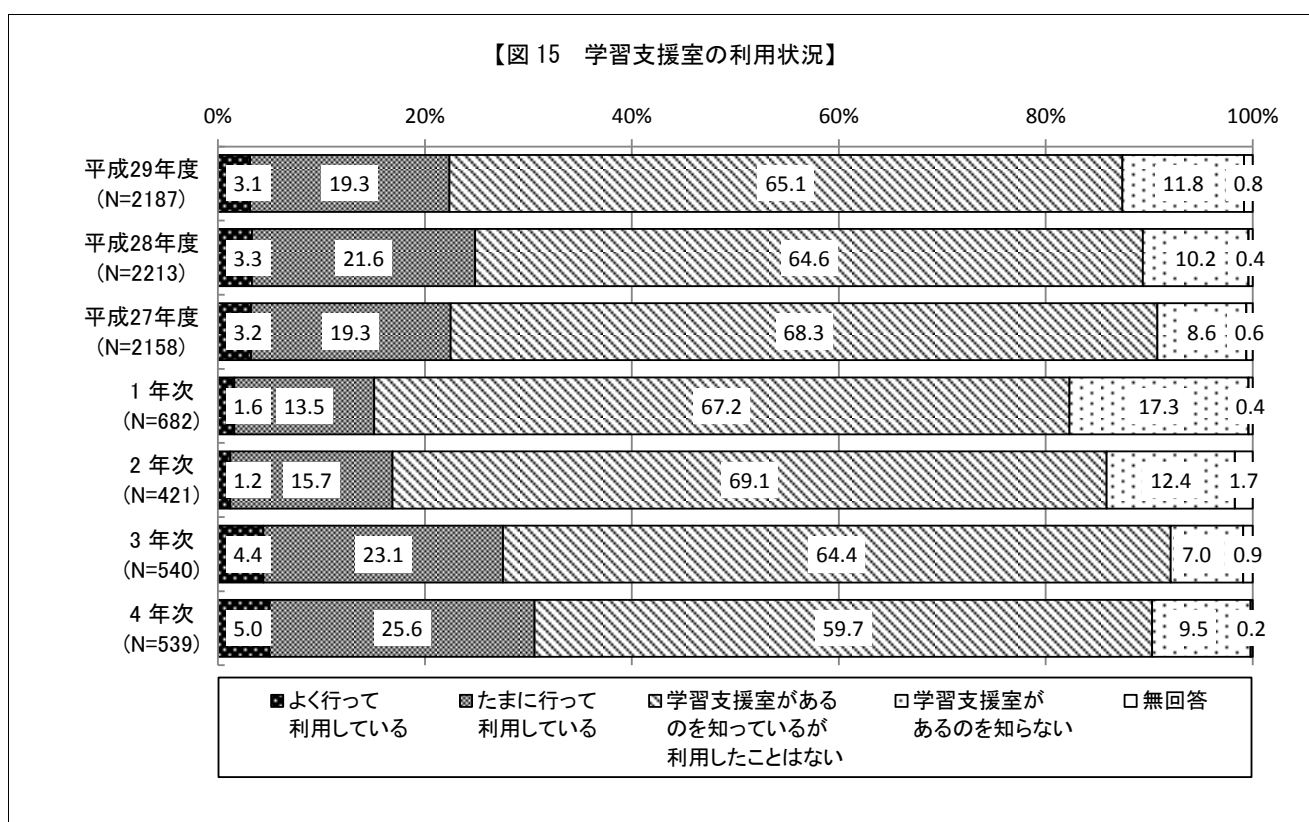
【結果概要（問15）】

問15. 学習支援室の利用状況としては、「学習支援室があるのを知っているが利用したことはない」が65.1%で最も多く、「よく行って利用している」が3.1%と「たまに行って利用している」が19.3%を合わせた利用経験者は22.4%となっている。

前回調査と比べると、「学習支援室があるのを知っているが利用したことはない」は横ばいとなっている。

年次別でみると、利用経験者は年次が上がるほど利用率は高くなっており、1年次では15.1%（1.6%+13.5%）に対し4年次では30.6%（5.0%+25.6%）となっている。<図15>

■問15. 学習支援室の利用状況（過年度調査・年次別）



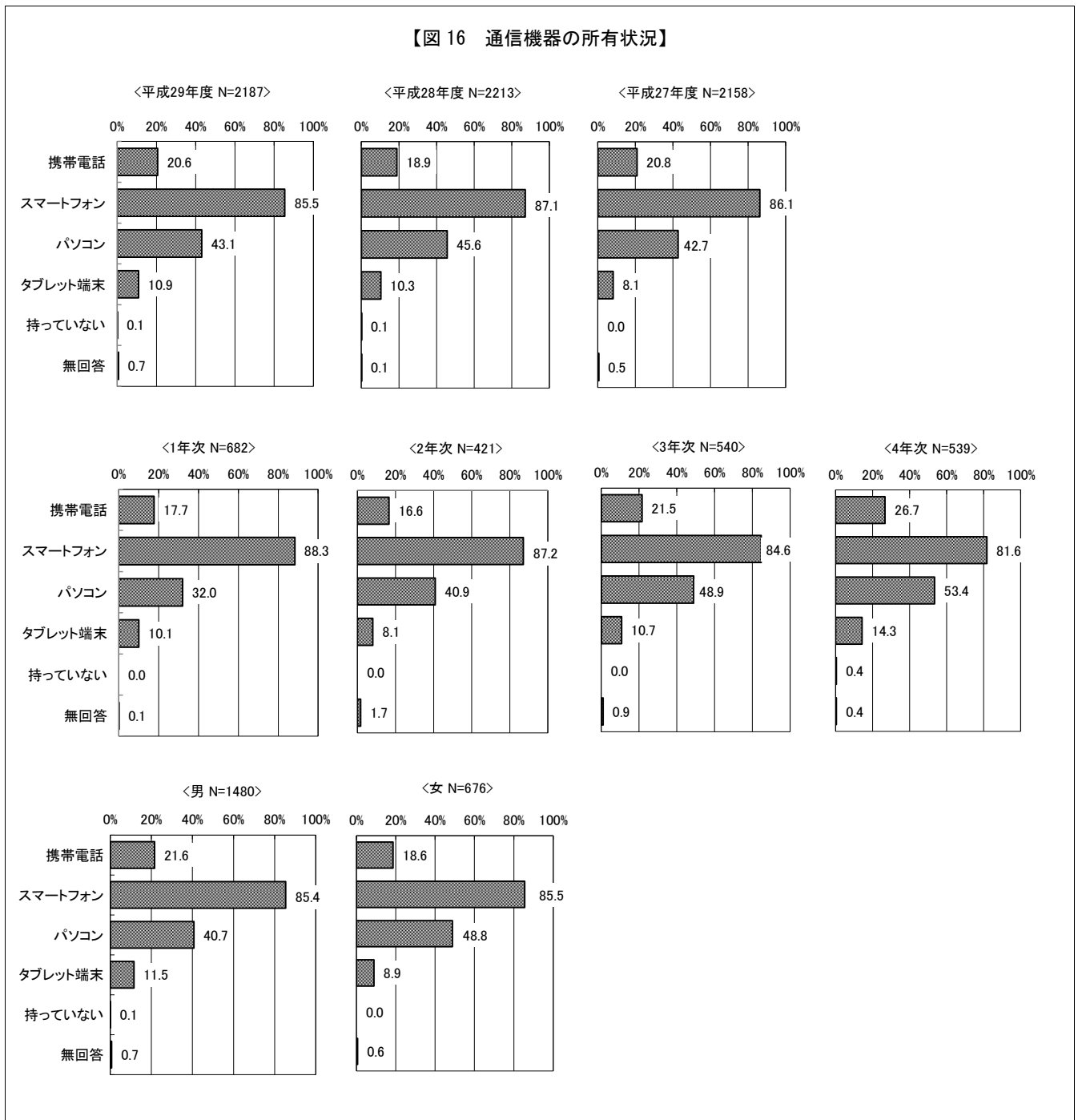
【結果概要（問16）】

問16. 通信機器の所有状況としては、「スマートフォン」が85.5%と最も所有率が高く、次に「パソコン」が43.1%となっている。

どの年次別でも、「スマートフォン」の所有率が最も高く、「パソコン」は年次が上がるほど高くなり、1年次32.0%に対して4年次では53.4%と半数を超えている。

性別で見ると、「スマートフォン」の所有率に関しては大きな差は見られないが、パソコンの所有率は男性40.7%に対して女性は48.8%となっている。<図16>

■問16. 通信機器の所有状況（過年度調査・年次別・性別）



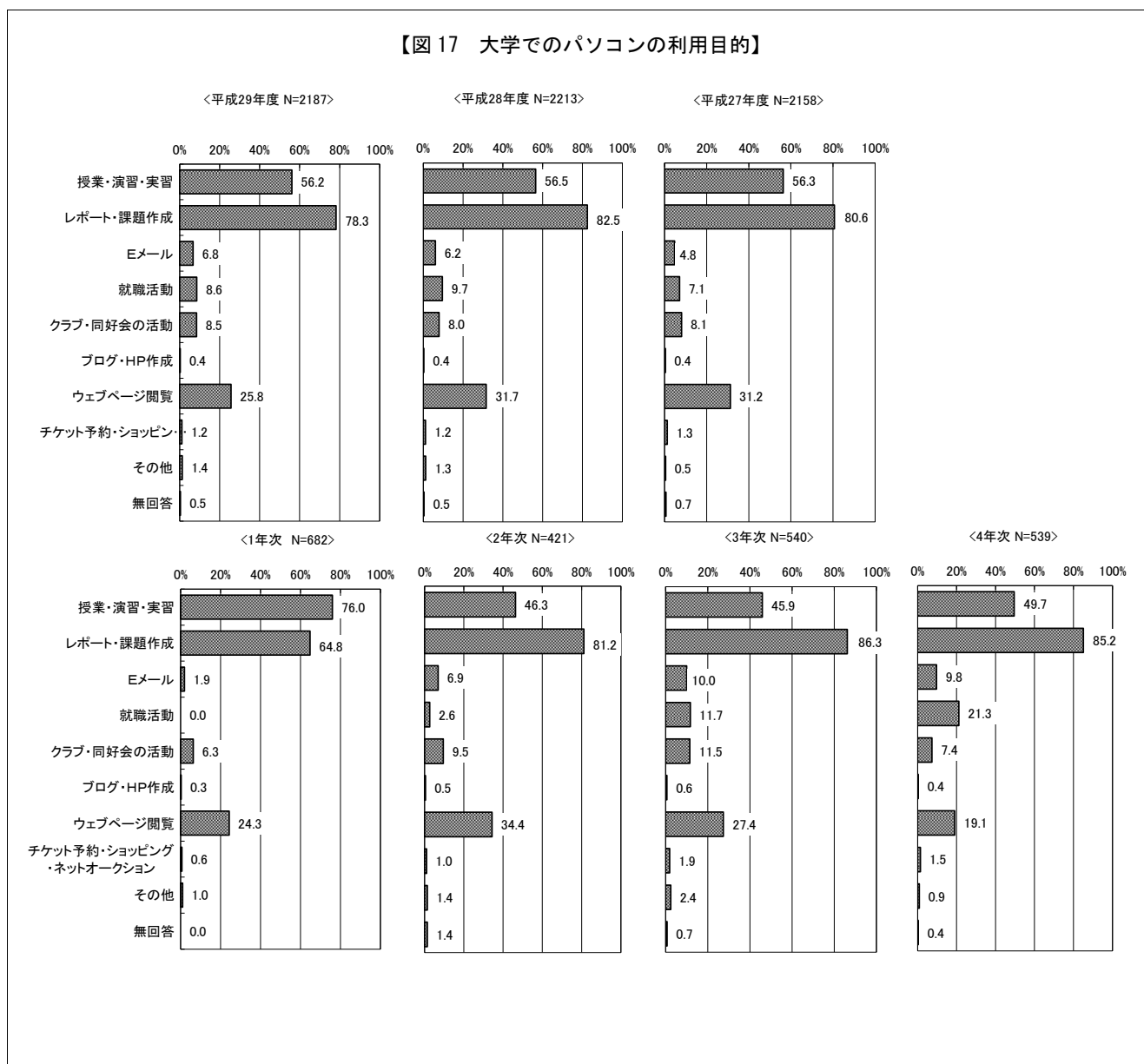
【結果概要（問17）】

問17. 大学でのパソコンの利用目的は「レポート・課題作成」が78.3%と最も多く、次に「授業・演習・実習」が56.2%となっており、年度による大きな変化は見られない。

年次別でみると、3年次、4年次から「Eメール」や「就職活動」での利用が多くなっている。

<図17>

■問17. 大学でのパソコンの利用目的（過年度調査・年次別）

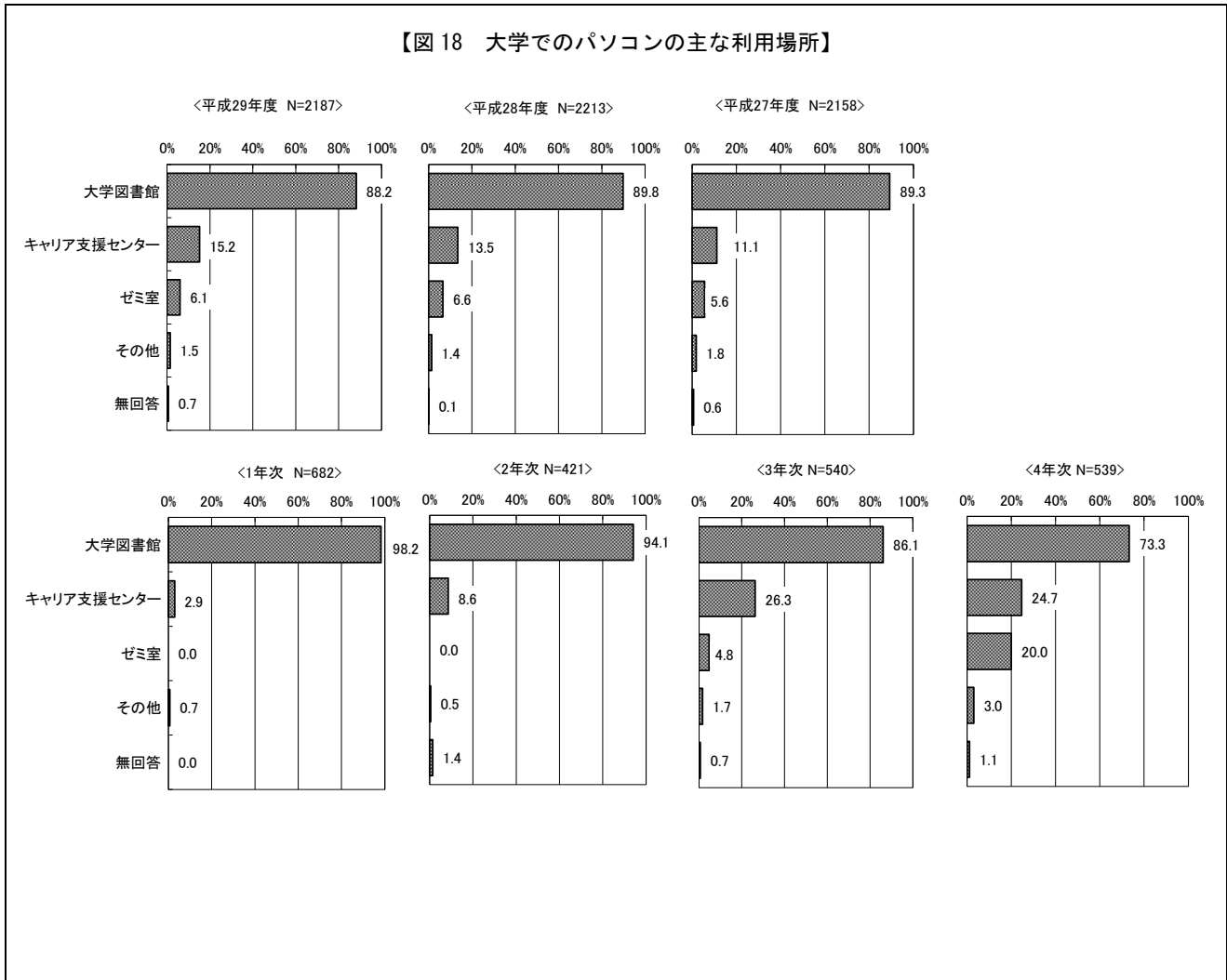


【結果概要（問18）】

問18. 大学でのパソコンの主な利用場所としては「大学図書館」が88.2%と8割以上を占めている。

年次別にみると、「キャリア支援センター」は3～4年次、「ゼミ室」での利用は4年次で多くなっている。＜図18＞

■問18. 大学でのパソコンの主な利用場所（過年度調査・年次別）



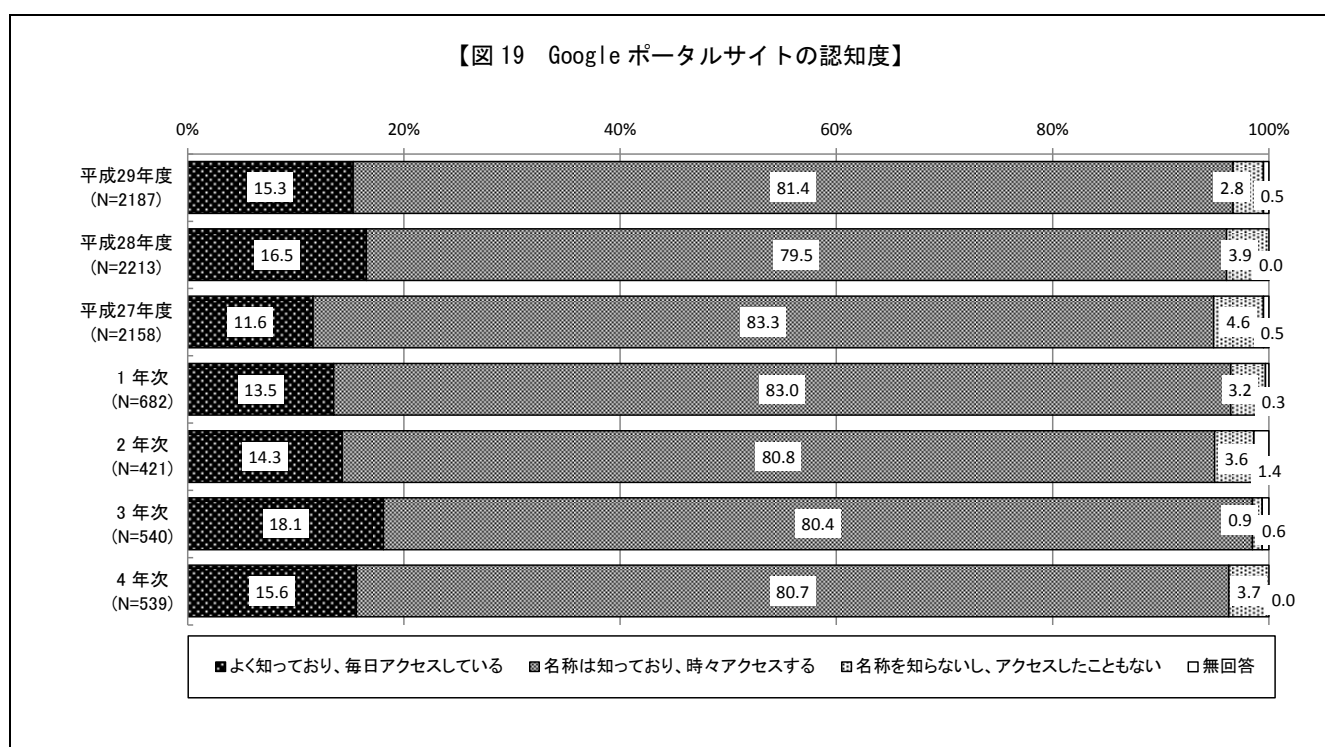
【結果概要（問19）】

問19. 大阪体育大学のGoogleポータルサイトの認知度では、「名称は知っており、時々アクセスする」が81.4%と最も高く、次に「よく知っており、毎日アクセスしている」が15.3%となっている。

「名称を知らないし、アクセスしたこともない」は、前回調査では3.9%に対し、今回調査では2.8%と1.1ポイント減少しており、年々減少している。

年次別にみると、「よく知っており、毎日アクセスする」は3年次で18.1%と最も高い結果となっている。＜図19＞

■問19. 大阪体育大学のGoogleポータルサイトの認知度（過年度調査・年次別）



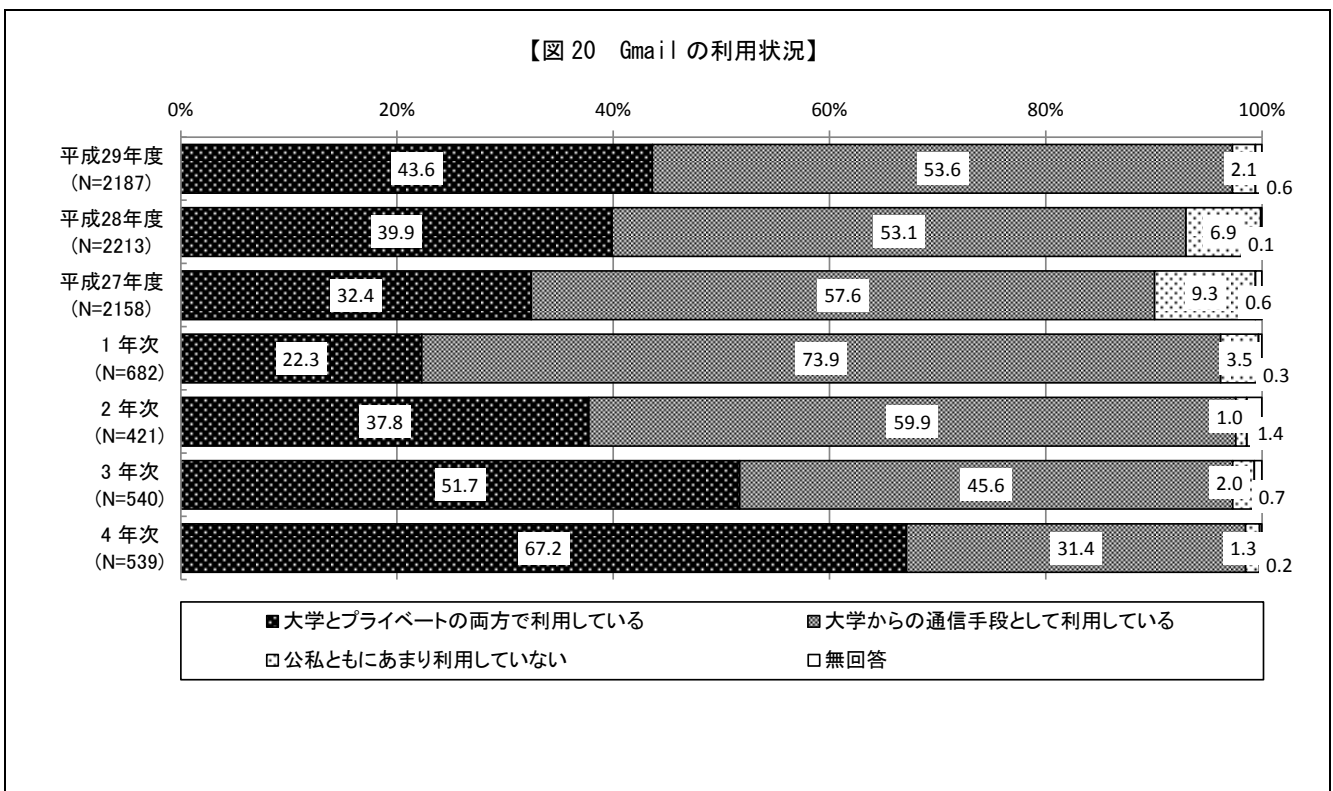
【結果概要（問20）】

問20. Gmail の利用状況については、「大学からの通信手段として利用している」が 53.6% と最も多く、次に「大学とプライベートの両方で利用している」が 43.6% となっている。

「公私ともにあまり利用していない」は、前回調査では 6.9% に対し、今回調査では 2.1% と 4.8 ポイント減少しており年々減少している。

年次別にみると、「大学とプライベートの両方で利用している」は 4 年次が 67.2% と年次が上がるごとに増加しているが、「大学からの通信手段として利用している」は 1 年次が 73.9% と年次が上がるごとに減少している。＜図 20＞

■問20. Gmail の利用状況（年次別）

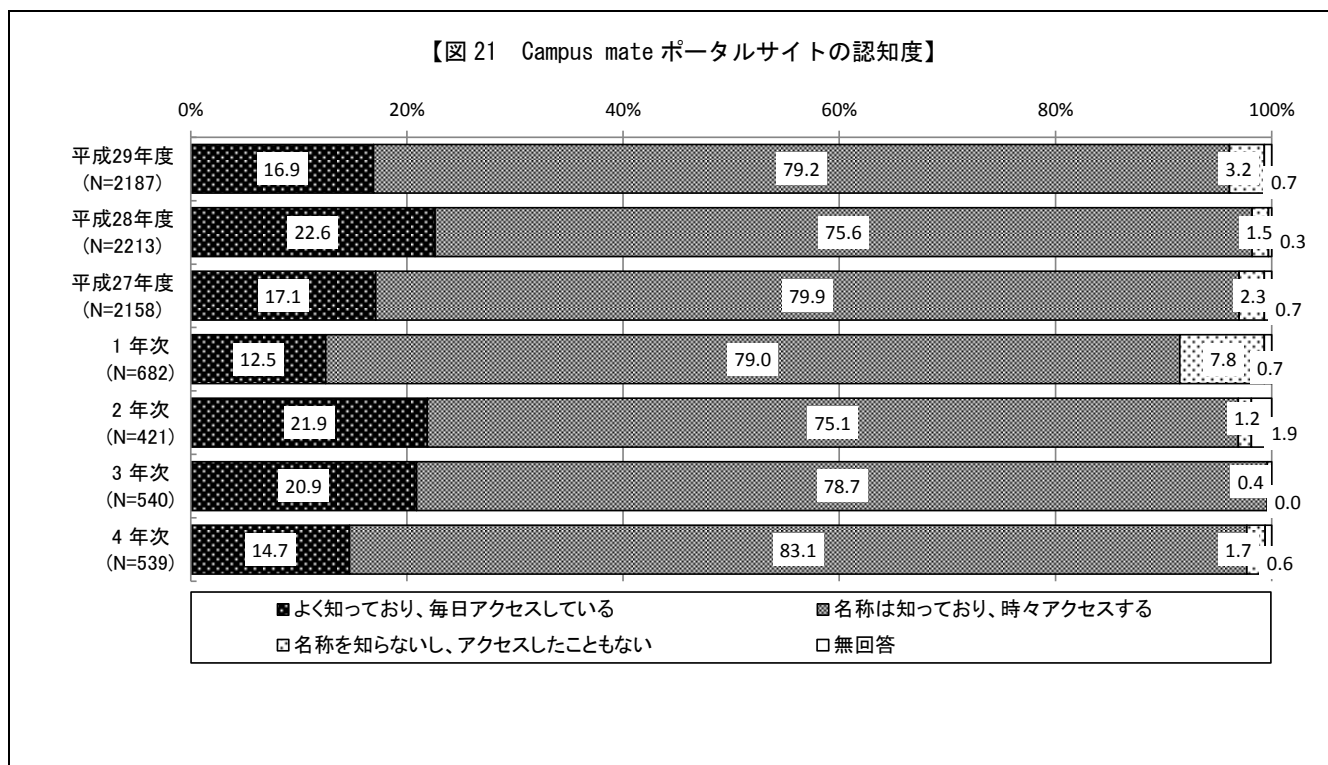


【結果概要（問21）】

問21. Campus mate ポータルサイトを知っているかという問いについては「名称は知っており、時々アクセスする」が79.2%と多く、次に「よく知っており、毎日アクセスしている」が16.9%となっている。

年次別にみると、「よく知っており、毎日アクセスしている」は2年次が21.9%と最も多く、最も低い割合は1年次で12.5%となっている。<図21>

■問21. Campus mate ポータルサイトの認知度（年次別）

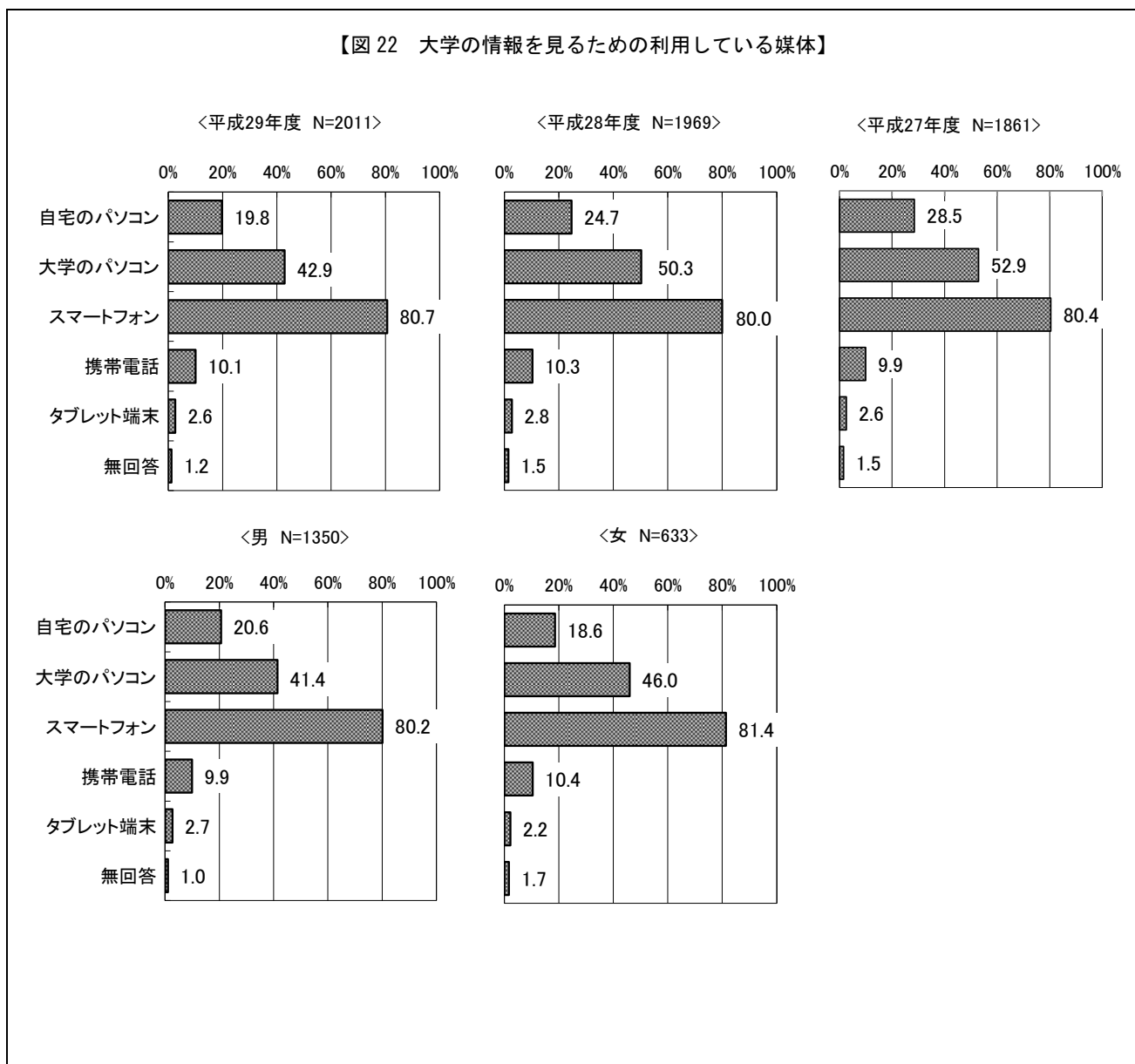


【結果概要（問22）】

問22. 大学からの各種情報提供サイトなどにアクセスする際、どの媒体を利用しているかについては、「スマートフォン」が80.7%と多く、次に「大学のパソコン」の42.9%となっている。

性別でみると、「大学のパソコン」は男子学生の41.4%よりも女子学生の46.0%が4.6ポイント多くなっている。しかし「自宅のパソコン」では、男子学生が20.6%、女子学生が18.6%と、男子学生が2.0ポイント多い結果となっている。<図22>

■問22. 大学の情報を見るための利用している媒体（過年度調査・性別）



4. 課外活動等について

【結果概要（問23・問23-1）】

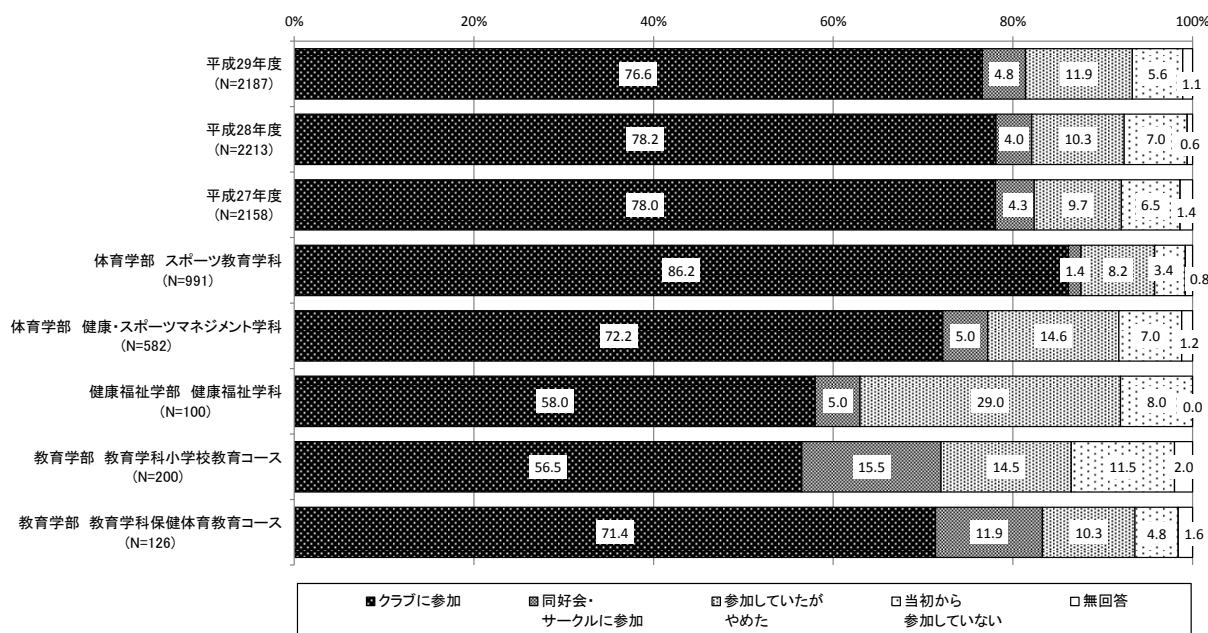
問23. 学内の課外活動への参加状況としては、「クラブに参加」が76.6%で最も多くなっている。

所属学部・学科別でみると、「クラブあるいは同好会・サークル」に参加しているのは「体育学部スポーツ教育学科」の87.6%（86.2%+1.4%）が最も多くなっている。＜図23＞

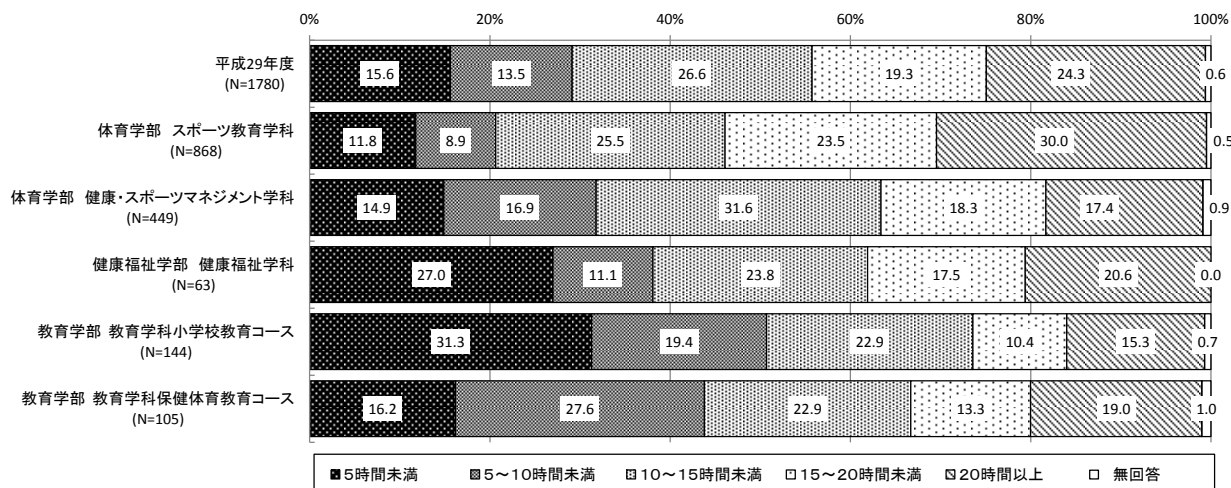
問23-1. 1週間あたりの活動時間は、体育学部スポーツ教育学科は「20時間以上」の30.0%、体育学部健康・スポーツマネジメント学科は「10～15時間未満」の31.6%が最も多くなっているが、健康福祉学部と教育学部は「10時間未満」が多い結果となった。＜図23-1＞

■問23・問23-1. 学内の課外活動への参加状況と活動時間（過年度調査・学科別）

【図23 学内の課外活動への参加状況】



【図23-1 学内の課外活動時間】

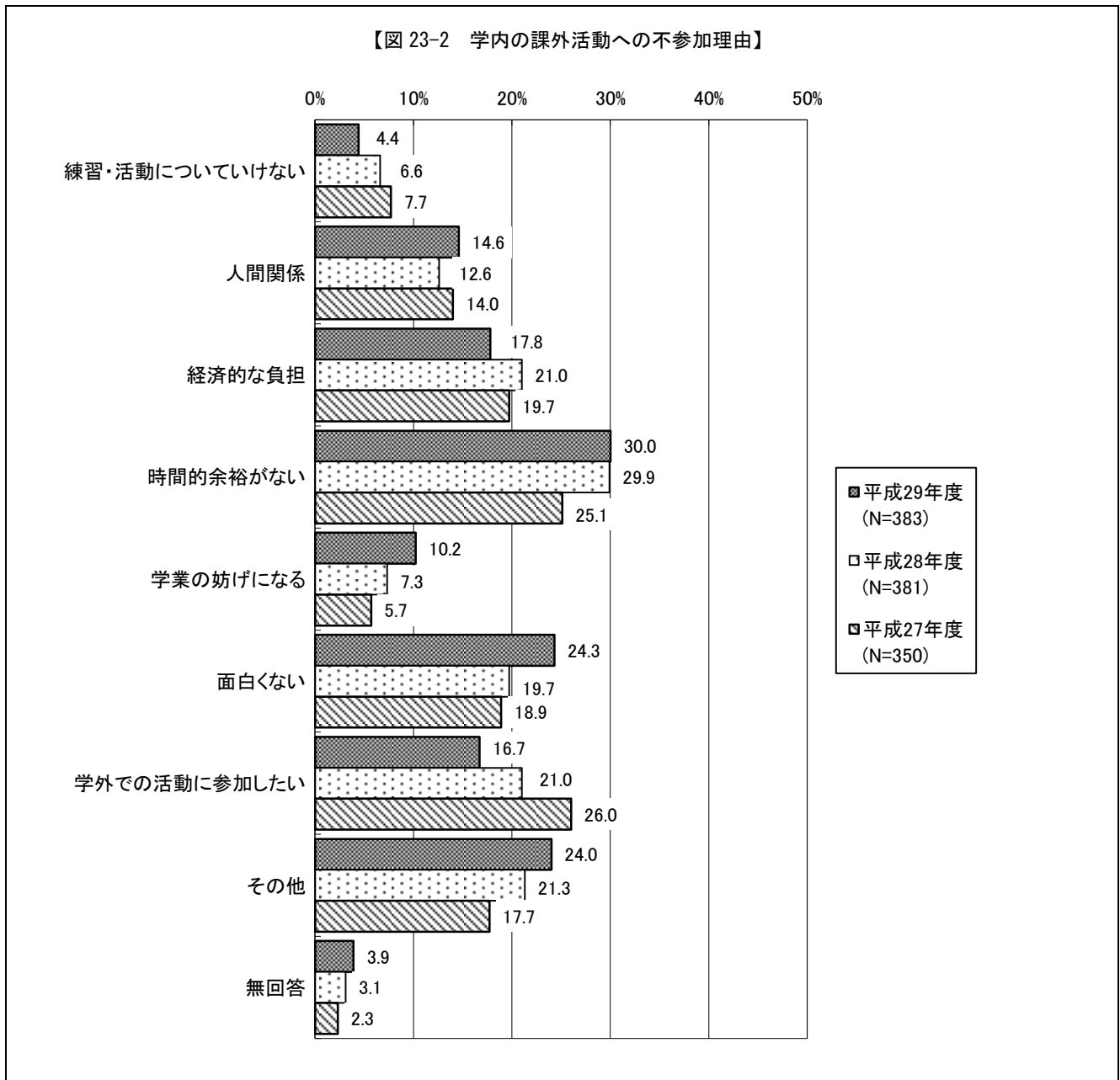


【結果概要（問23-2）】

問23-2. 学内の課外活動への不参加理由としては「時間的余裕がない」が30.0%で最も多く、次に「面白くない」が24.3%、「経済的な負担」が17.8%となっている。

前回調査と今回調査の上位3項目をみると、「時間的余裕がない」は横ばい、「面白くない」は4.6ポイント増加、「経済的な負担」は3.2ポイント減少している。<図23-2>

■問23-2. 学内の課外活動への不参加理由（過年度調査）



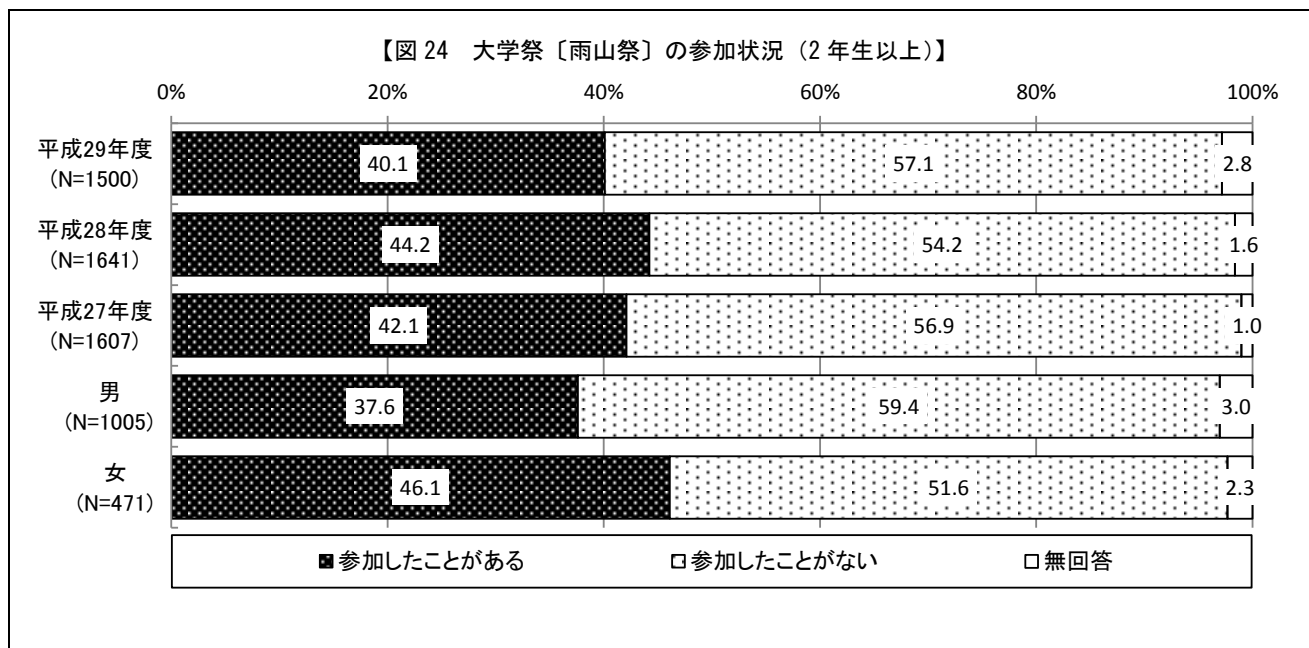
【結果概要（問24）】

問24. 2年生以上の大学祭（雨山祭）の参加状況は、「参加したことがある」は40.1%で「参加したことがない」の57.1%が上回っている。

前回調査と比べると、「参加したことがある」は4.1ポイント減少している。

性別では、「参加したことがある」は男子学生が37.6%に対して、女子学生は46.1%と女子学生の割合が高くなっている。＜図24＞

■問24. 大学祭〔雨山祭〕の参加状況（過年度調査・性別）

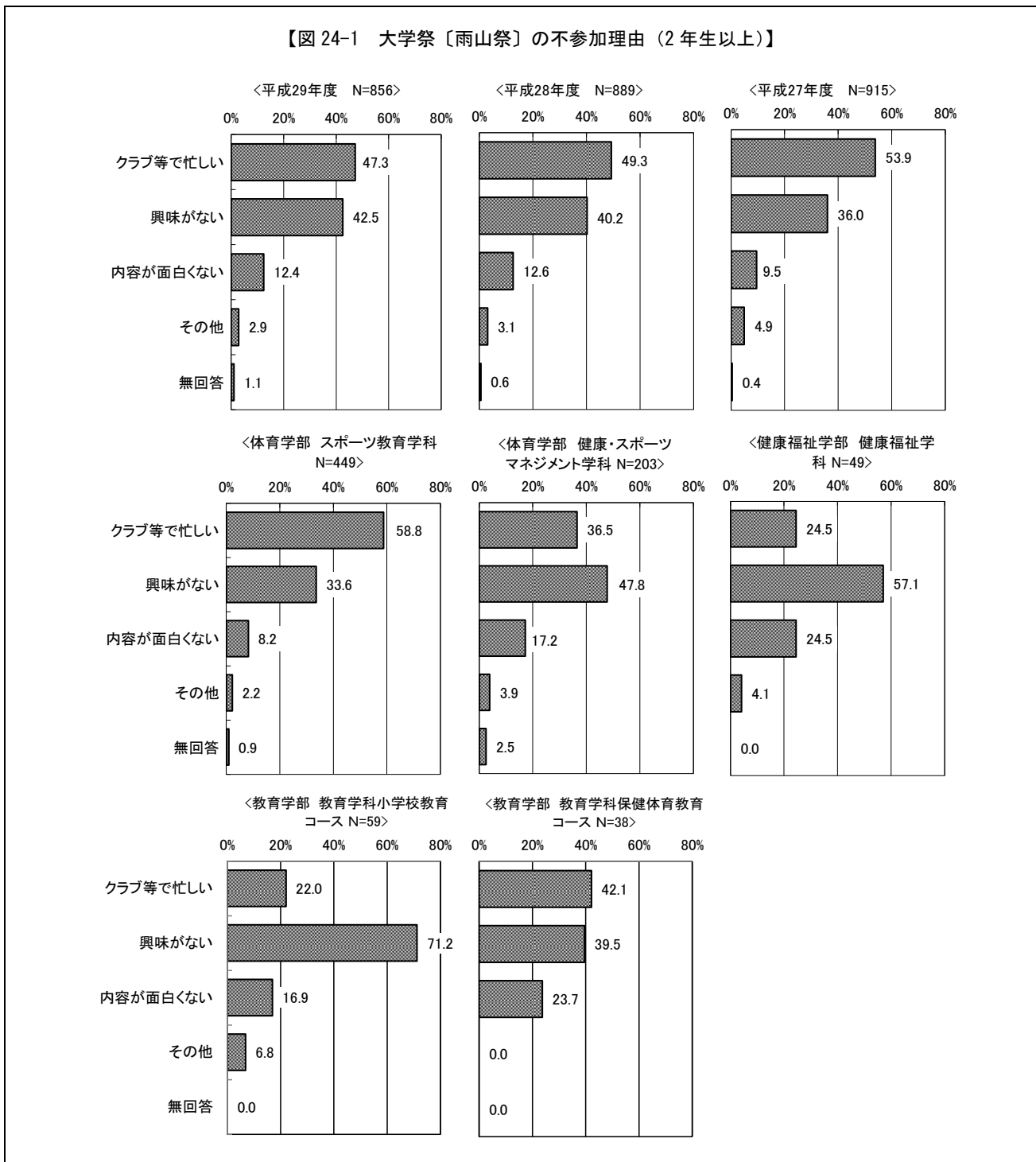


【結果概要（問24-1）】

問24-1. 大学祭への不参加理由としては「クラブ等で忙しい」が47.3%で最も多く、次に「興味がない」が42.5%となっている。

所属学部・学科別でみると体育学部スポーツ教育学科と教育学部教育学科保健体育教育コース以外の学生は「興味がない」が最も多いが、体育学部スポーツ教育学科と教育学部教育学科保健体育教育コースの学生は「クラブ等で忙しい」が最も多くなっている。

■問24-1. 大学祭〔雨山祭〕の不参加理由（過年度調査・学科別）



5. 健康等について

【結果概要（問25）】

問25. 朝食の摂食状況としては、「ほとんど毎日摂る」が62.6%と最も多く、「摂らない」は13.2%となっている。

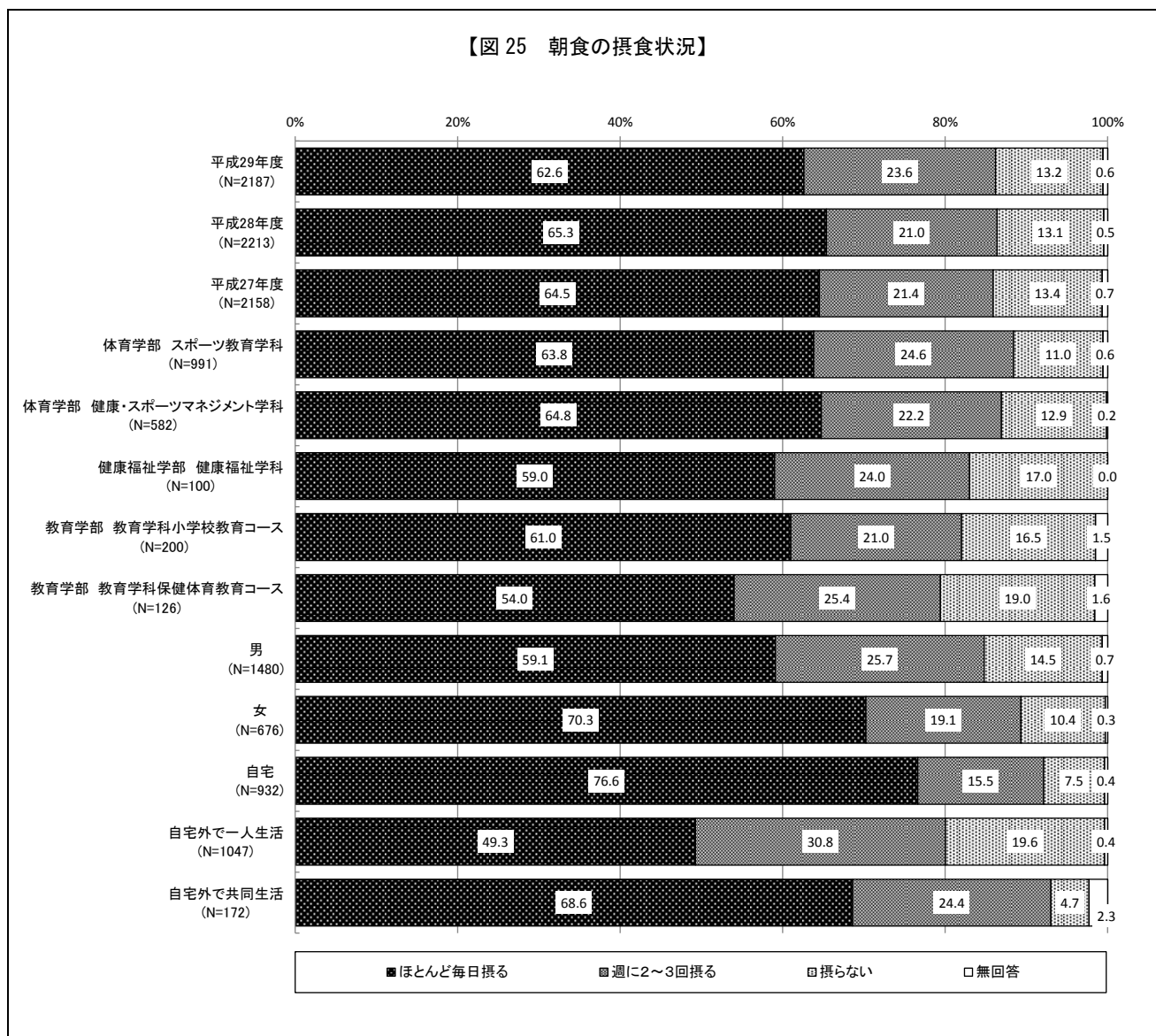
前回調査と比べると、「ほとんど毎日摂る」が2.7ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、「ほとんど毎日摂る」は体育学部健康スポーツマネジメント学科が64.8%、「摂らない」は教育学部教育学科保健体育教育コースの19.0%が最も高い数字となっている。

性別では、「ほとんど毎日摂る」は女子学生が70.3%と7割を占めているが、男子学生は59.1%と6割にとどまっている。

居住形態別でみると、「ほとんど毎日摂る」は「自宅」が76.6%と「自宅外で共同生活」が68.6%は6割以上を超えているが、「自宅外で一人生活」は49.3%と半数以下になっている。<図25>

■問25. 朝食の摂食状況（過年度調査・学科別・性別・居住形態別）

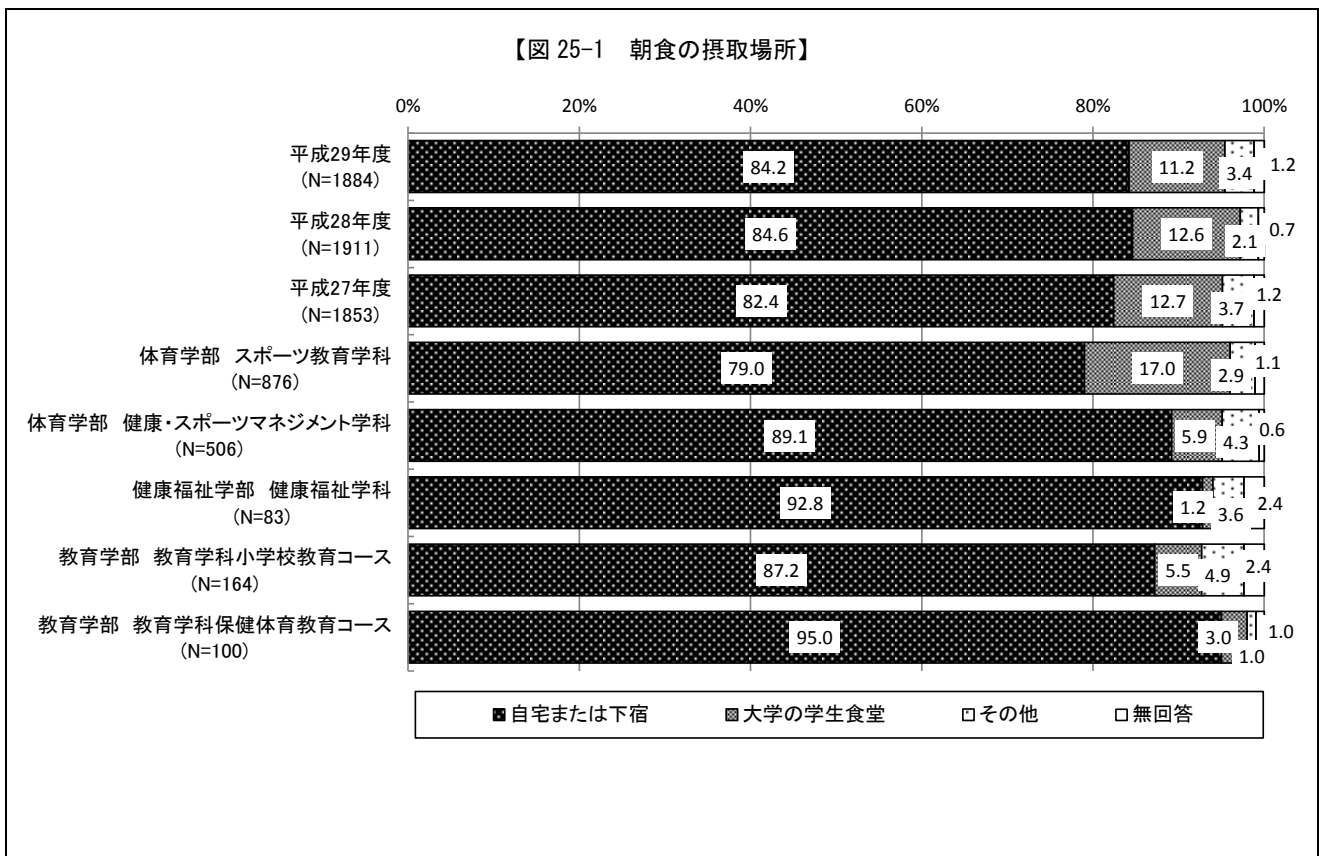


【結果概要（問25-1）】

問25-1. 朝食を摂る場所としては、「自宅または下宿」が最も多く84.2%となっている。前回調査と比べると、「大学の学生食堂」が1.4ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科保健体育教育コースの学生は「自宅または下宿」で朝食を摂る割合が95.0%と最も高く、体育学部スポーツ教育学科の学生は「自宅または下宿」が最も多いものの「大学の学生食堂」が17.0%と朝食を摂る割合が他の学部・学科の学生に比べて高くなっている。<図25-1>

■問25-1. 朝食の摂取場所（過年度調査・学科別）



【結果概要（問26）】

問26. 朝食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が93.2%、「乳製品」が43.3%、「卵」が30.9%となっている。

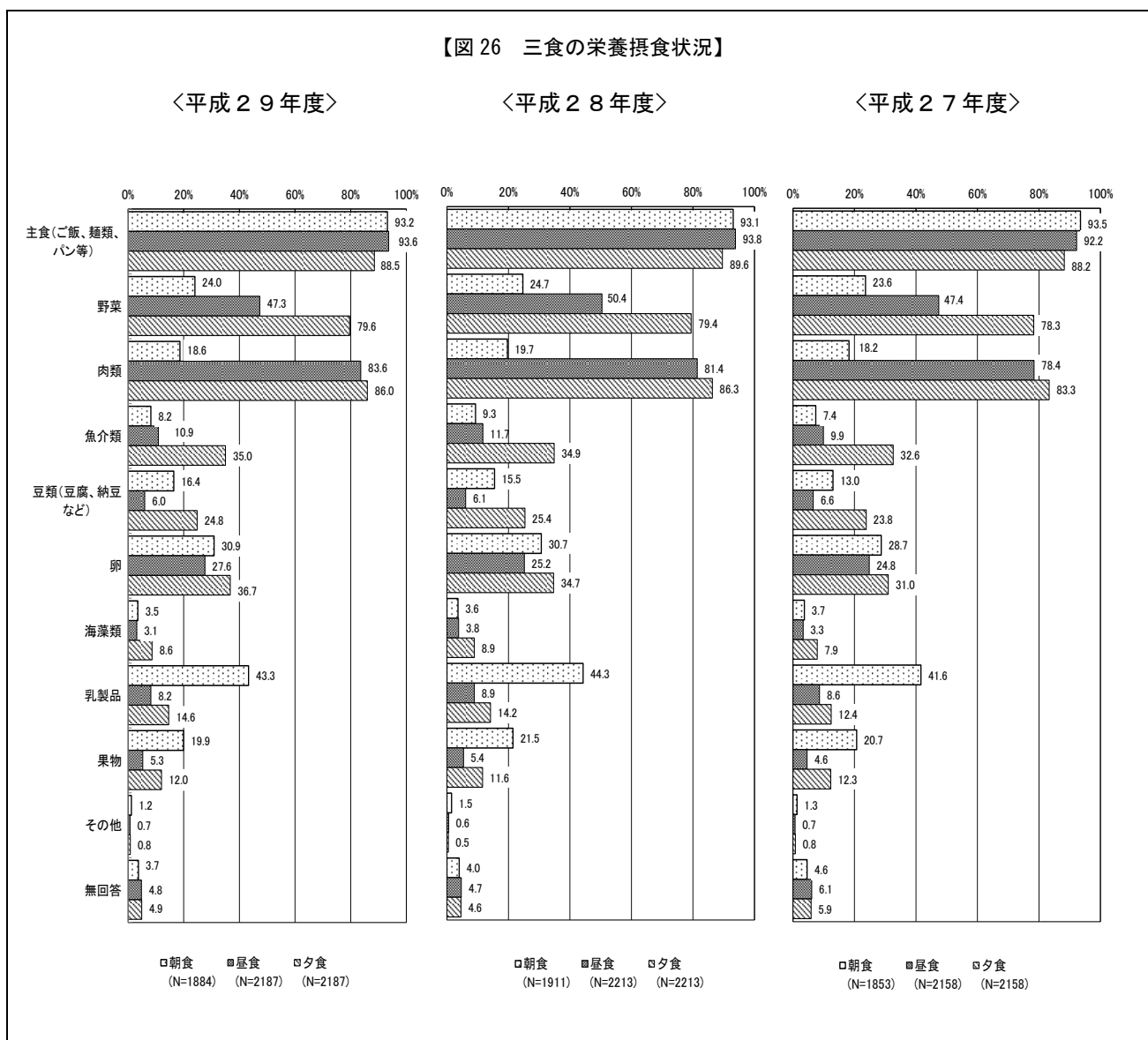
昼食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が93.6%、「肉類」が83.6%、「野菜」が47.3%となっている。

夕食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が88.5%、「肉類」が86.0%、「野菜」が79.6%となっている。

前回調査と同様の食事内容であった（上位3つ）。<図26>

■問26. 三食の栄養摂食状況（過年度調査）

【図26 三食の栄養摂食状況】



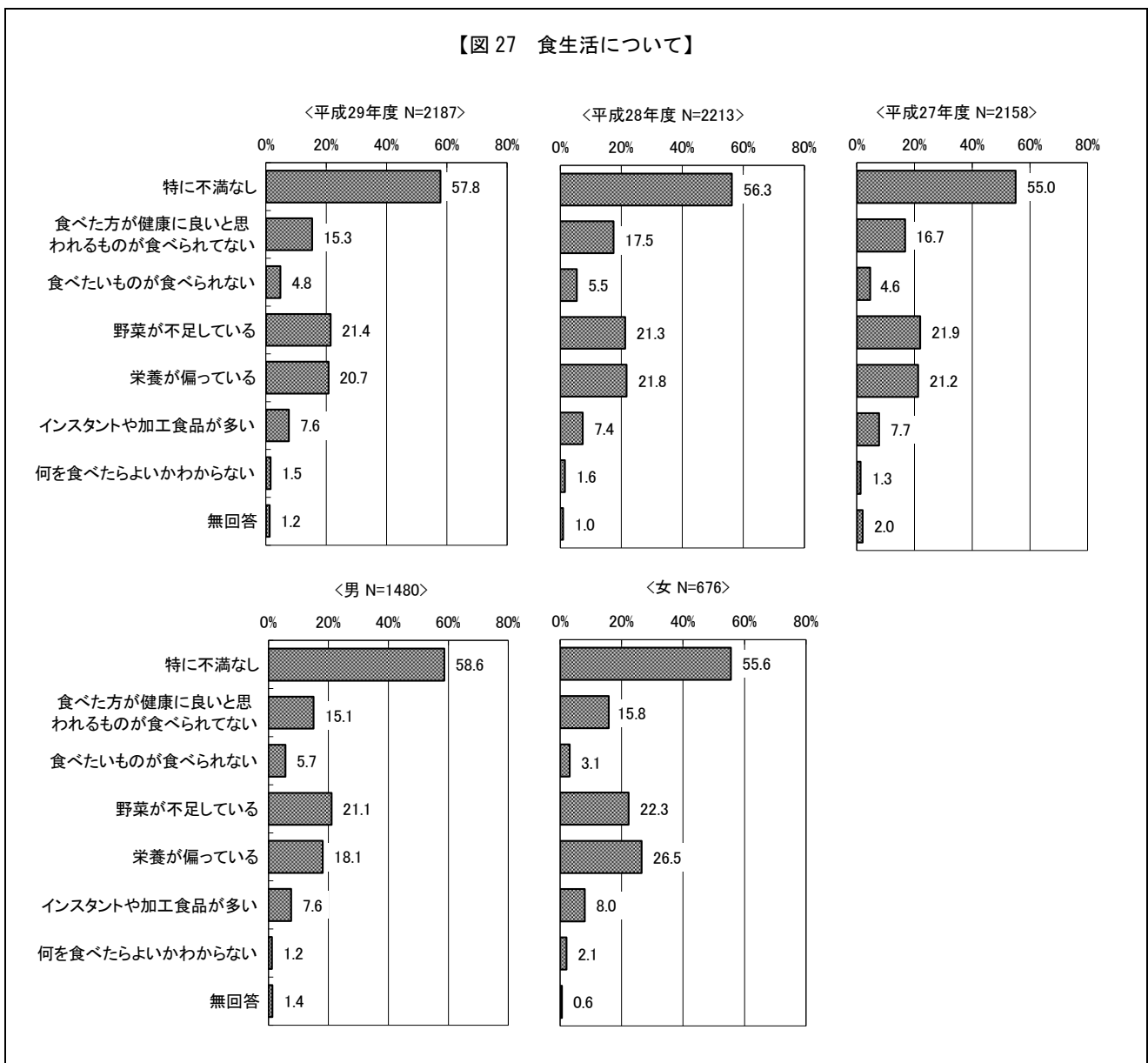
【結果概要（問27）】

問27. 食生活への満足度としては、「特に不満なし」が57.8%で最も多い。不満内容としては、「野菜が不足している」が21.4%、「栄養が偏っている」が20.7%、「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」が15.3%となっている。

前回調査と比べると、「特に不満なし」が57.8%は1.5ポイント増加している。

性別でみると、女子学生は男子学生に比べると、「栄養が偏っている」、「野菜が不足している」、「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」、「インスタントや加工食品が多い」、「何を食べたらいいかかわからない」が男子学生よりも上回っている。<図27>

■問27. 食生活について（過年度調査・性別）

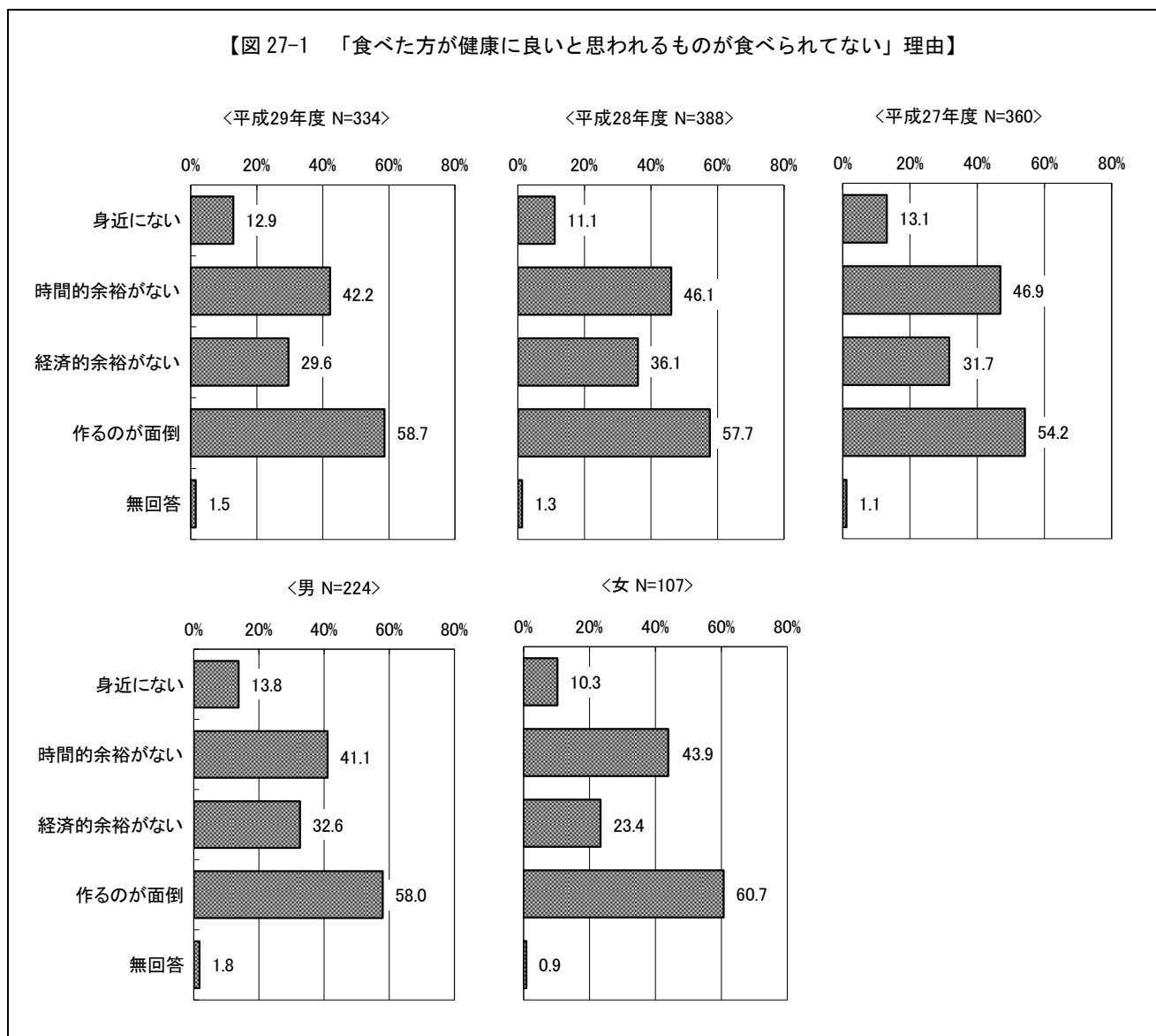


【結果概要（問27-1）】

問27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由としては「作るのが面倒」が58.7%と最も多く、次に「時間的余裕がない」の42.2%となっている。

性別でみると、「経済的余裕がない」が、男子学生が女子学生より9.2ポイント高くなっている。＜図27-1＞

■問27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由（過年度調査・性別）



【結果概要（問28・問28-1）】

問28. 100円朝食の利用については、「知っているが、利用したことがない」の54.7%が最も多く、「知らなかったので、利用したことがない」の4.7%を合わせた「利用しなかった」は59.4%となっている。

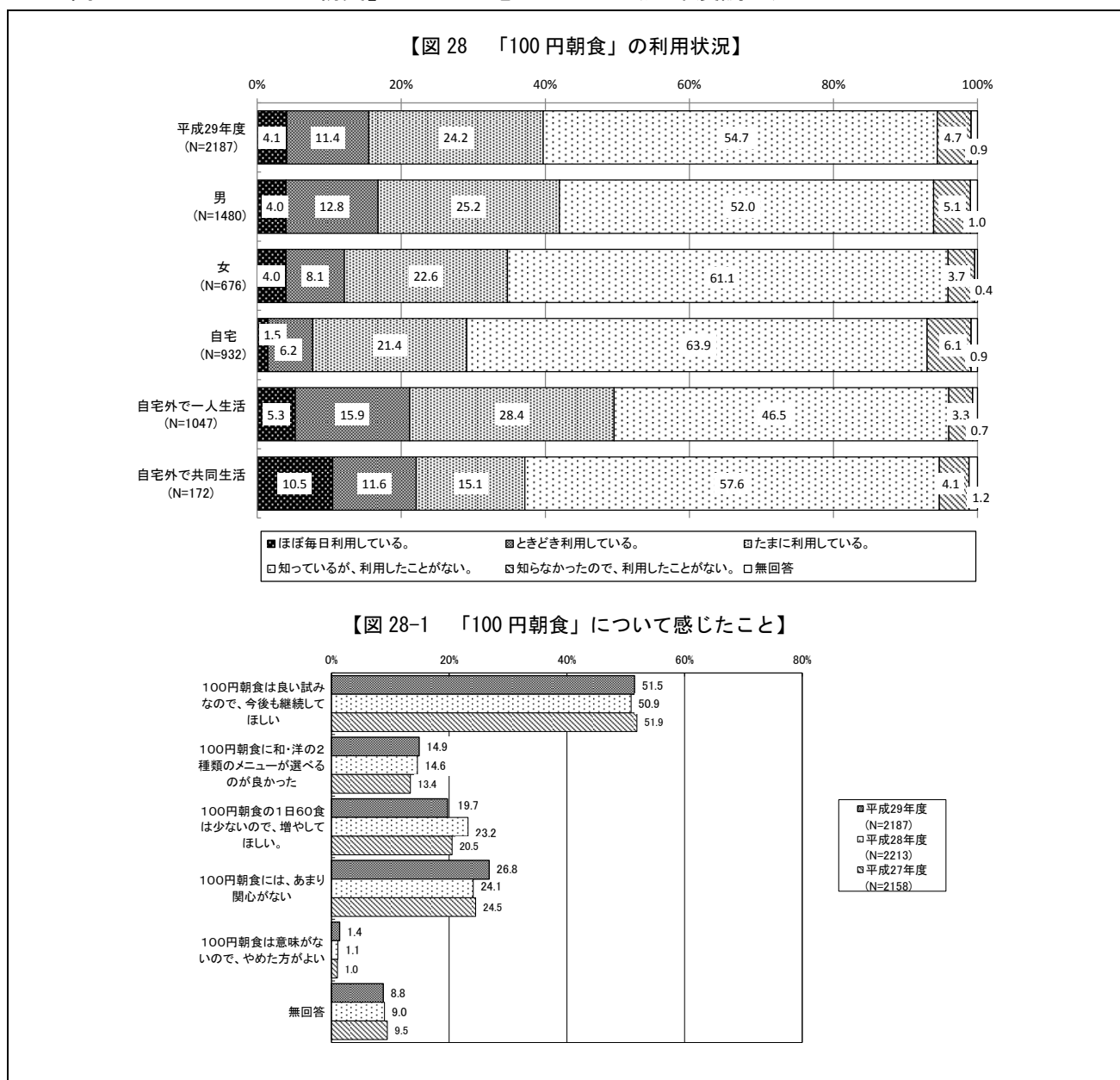
性別で見ると、「利用しなかった」は男子学生が57.1%（52.0%+5.1%）、女子学生が64.8%（61.1%+3.7%）で女子学生が7.7ポイント高い結果となった。

居住形態別で見ると、利用状況の「ほぼ毎日利用している」は「自宅外で共同生活」が10.5%と最も多く、一方で「自宅」の1.5%が最も少なくなっている。<図28>

問28-1. 100円朝食について感じたことは、「100円朝食は良い試みなので、今後も継続してほしい」が51.5%と過半数を占めている。<図28-1>

■問28. 「100円朝食」の利用状況（性別・居住形態別）

■問28-1. 「100円朝食」について感じたこと（過年度調査）



【結果概要（問29・問29-1）】

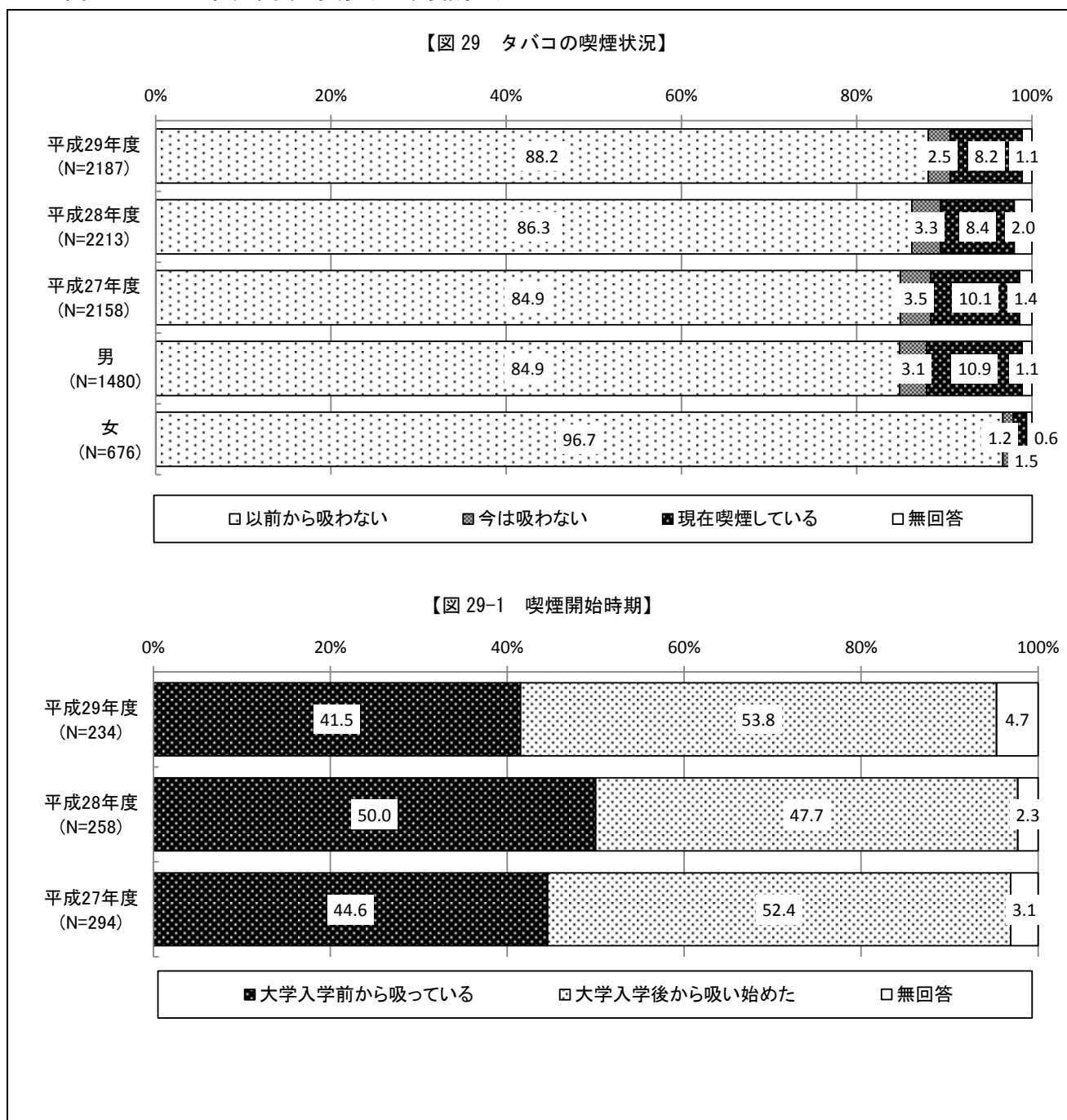
問29. タバコの喫煙状況としては「以前から吸わない」が88.2%で「現在喫煙している」は8.2%であった。前回調査と比べると「現在喫煙している」は0.2ポイント減少している。

「現在喫煙している」は男子学生で10.9%、女子学生で1.5%となっている。＜図29＞

問29-1. 喫煙はいつ頃から始めたかでは、「大学入学前から吸っている」は41.5%で、前回調査より8.5ポイント減少している。＜図29-1＞

■問29. タバコの喫煙状況（過年度調査・性別）

■問29-1. 喫煙開始時期（過年度調査）



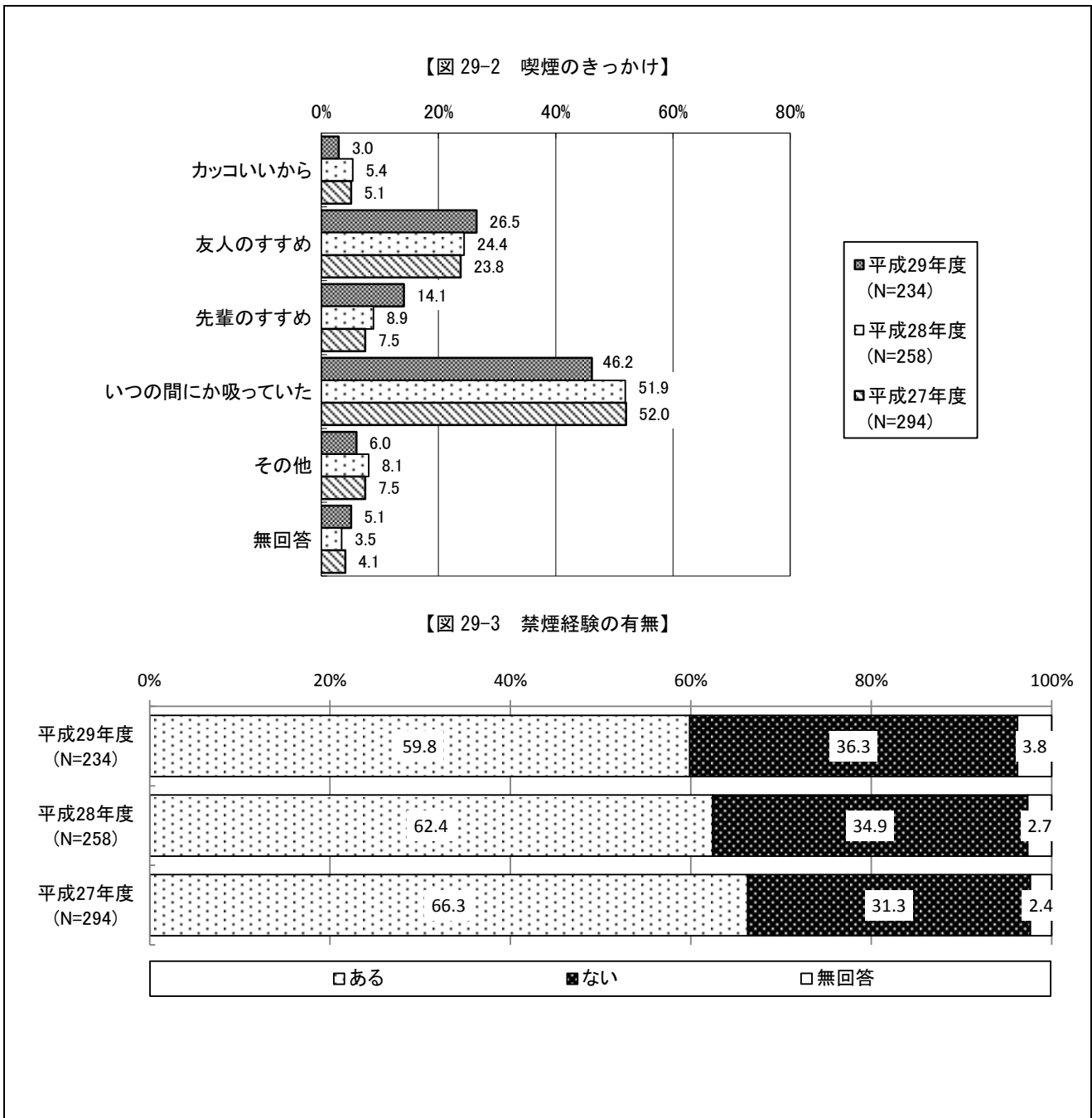
【結果概要（問29-2・問29-3）】

問29-2. 喫煙のきっかけは、「いつの間にか吸っていた」が46.2%と最も多く、次に「友人のすすめ」が26.5%となっている。＜図29-2＞

問29-3. 禁煙をしたことがあるかでは「ある」が59.8%と最も多く、次に「ない」の36.3%となっている。＜図29-3＞

■問29-2. 喫煙のきっかけ（過年度調査）

■問29-3. 禁煙経験の有無（過年度調査）



【結果概要（問29-4・問30）】

問29-4. 学内が全面禁煙になった場合、「仕方なく受け入れる」が36.3%、「積極的に受け入れる」が28.2%と、合わせて64.5%の学生が「全面禁煙を受け入れる」と回答している。

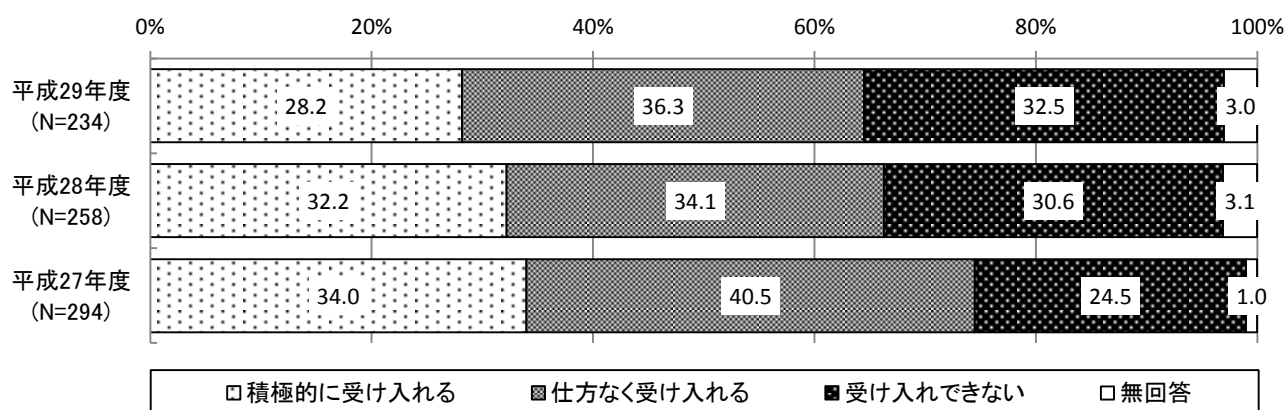
前回調査と比べると、「仕方なく受け入れる」が2.2ポイント増加、「積極的に受け入れる」は4.0ポイント減少している。「受け入れできない」は1.9ポイント増加している。<図29-4>

問30. 「喫煙場所での喫煙のみ認める」が62.0%と最も多く、次に「全面禁煙にすべき」が33.7%となっている。<問30>

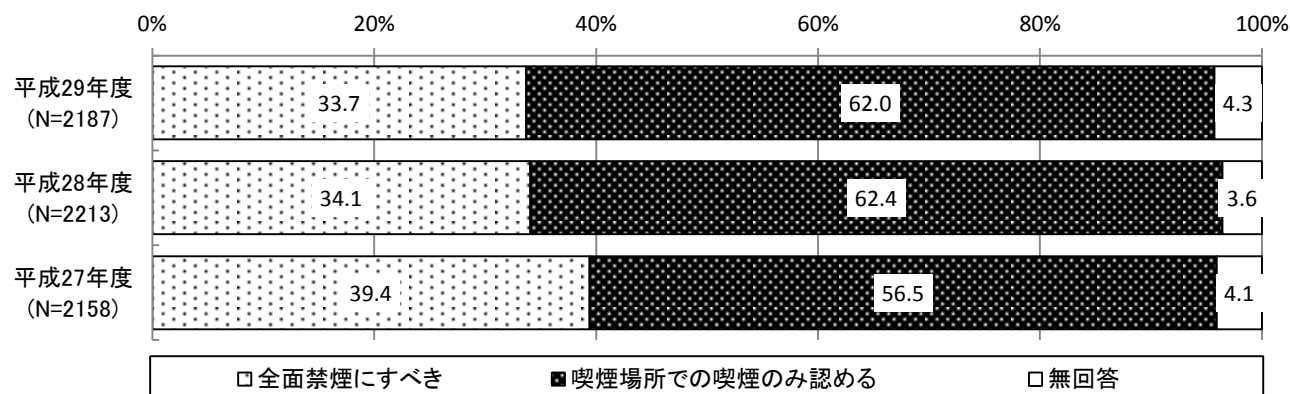
■問29-4. 学内が全面禁煙になった場合の対応（過年度調査）

■問30. 学内での喫煙・禁煙について

【図29-4 学内が全面禁煙になった場合の対応】



【図30 学内での喫煙・禁煙について】



6. 不安や悩みについて

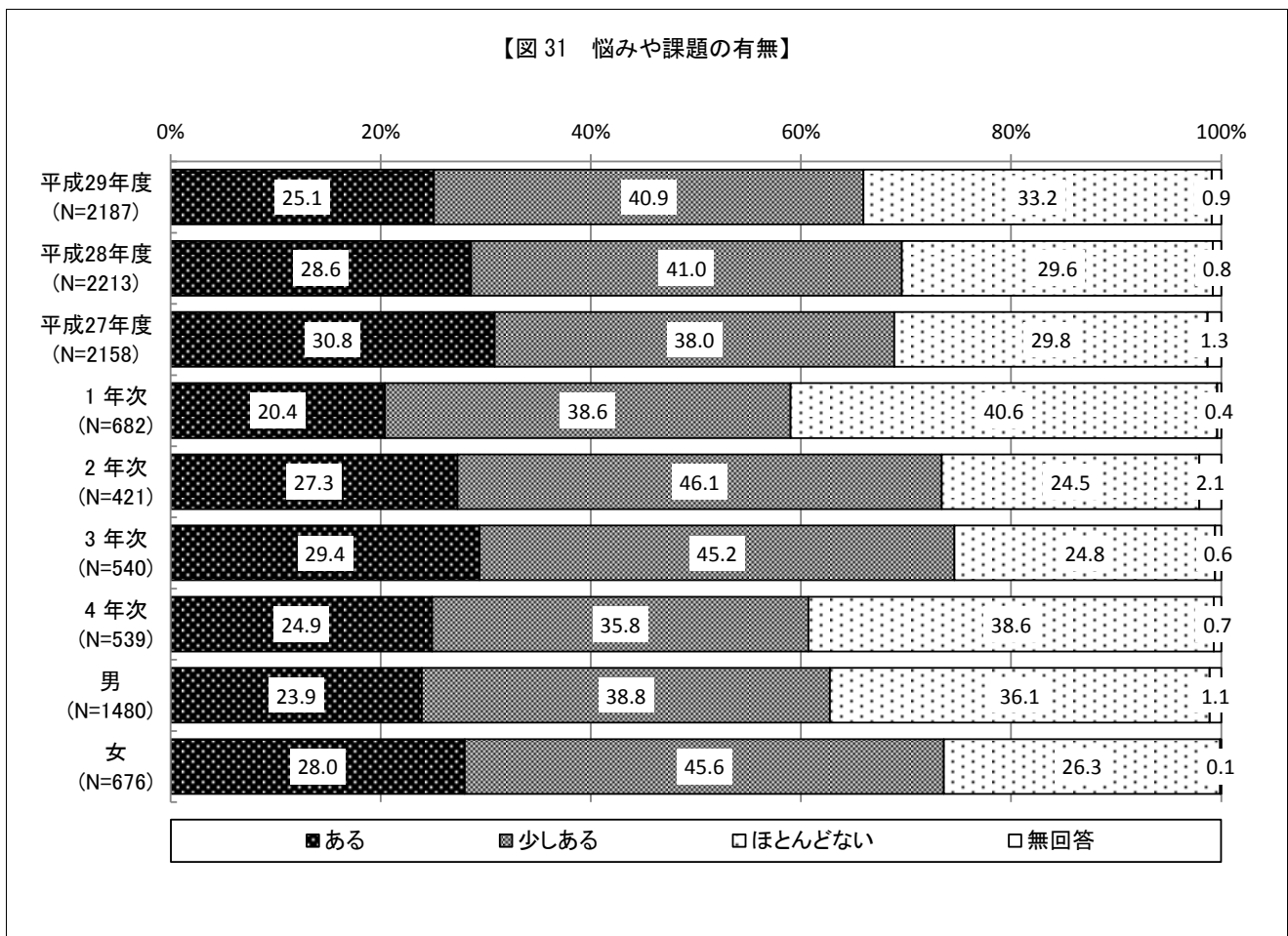
【結果概要（問31）】

問31. 現在、悩みや課題はあるかの質問に「少しある」が40.9%と最も多く、「ある」の25.1%を合わせると66.0%となっており、学生全体の6割以上が何らかの悩みや課題があると回答している。

年次別で見ると、各年次とも半数以上が何らかの悩みや課題があると回答しており、特に3年次では74.6%（29.4%+45.2%）と最も多くなっている。

性別で見ると、「ある」と回答した男子学生23.9%に対して女子学生「ある」は28.0%と女子学生の方が4.1ポイント高くなっている。〈図31〉

■問31. 悩みや課題の有無（過年度調査・年次別・性別）



【結果概要（問32）】

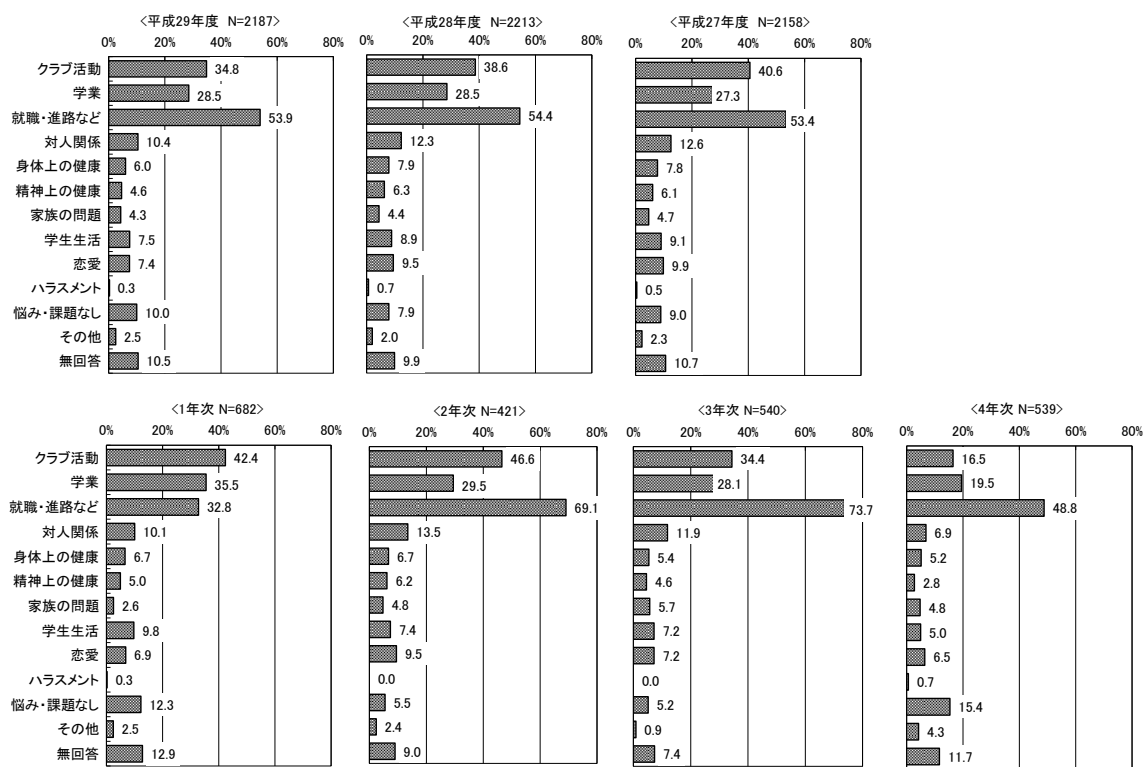
問32. 悩みや課題の具体的な内容としては「就職・進路など」が53.9%と他の項目と比べて最も多く、半数を占めている。次に「クラブ活動」が34.8%、「学業」が28.5%となっている。

年次別でみると、1年次では「クラブ活動」が42.4%と最も多く、2年次以上になると「就職・進路など」が最も多く、3年次では73.7%と約7割まで上がっている。＜図32-A＞

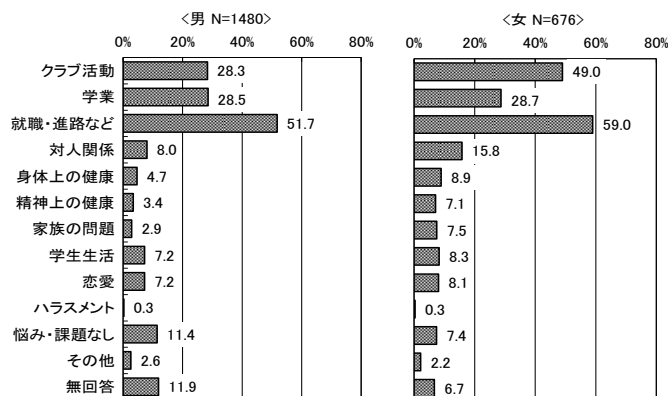
性別でみると、男女ともに「就職・進路など」が5割以上で最も多くなっている。次に、男子学生は「学業」の28.5%、女子学生は「クラブ活動」の49.0%が高くなっている。＜図32-B＞

■問32. 悩みや課題の具体的な内容（過年度調査・年次別・性別）

【図32-A 悩みや課題の具体的な内容】



【図32-B 悩みや課題の具体的な内容（性別）】

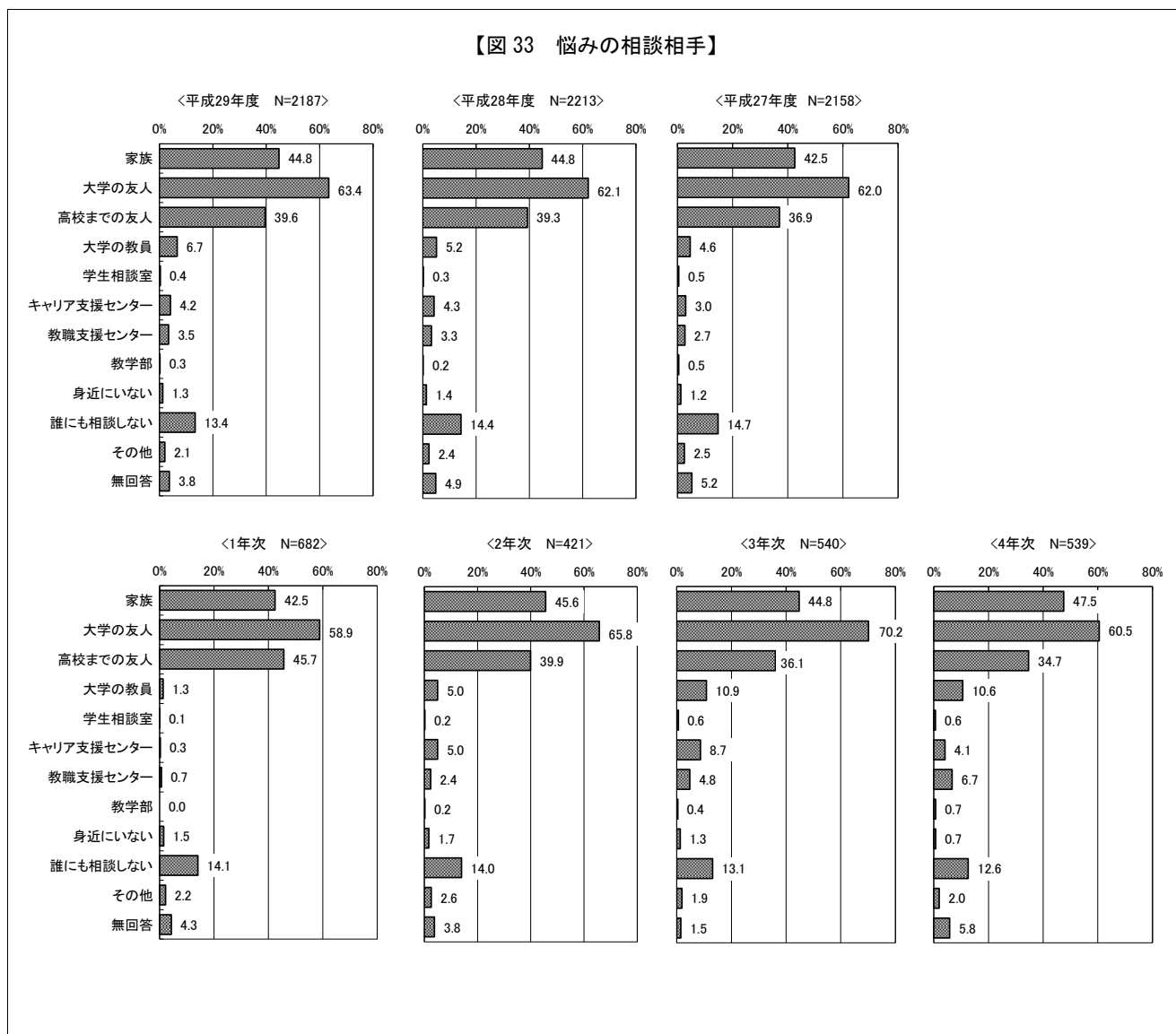


【結果概要（問33）】

問33. 悩みについて誰に相談するかでは「大学の友人」が63.4%で最も多く、次に「家族」が44.8%、「高校までの友人」が39.6%となっている。また、「大学の教員」が6.7%、「キャリア支援センター」が4.2%、「教職支援センター」が3.5%、「学生相談室」が0.4%、「教学部」が0.3%の大学関連部署への相談は低くなっている。

年次別でみると、「大学の友人」は3年次の70.2%が最も高くなっている。<図33>

■問33. 悩みの相談相手（過年度調査・年次別）



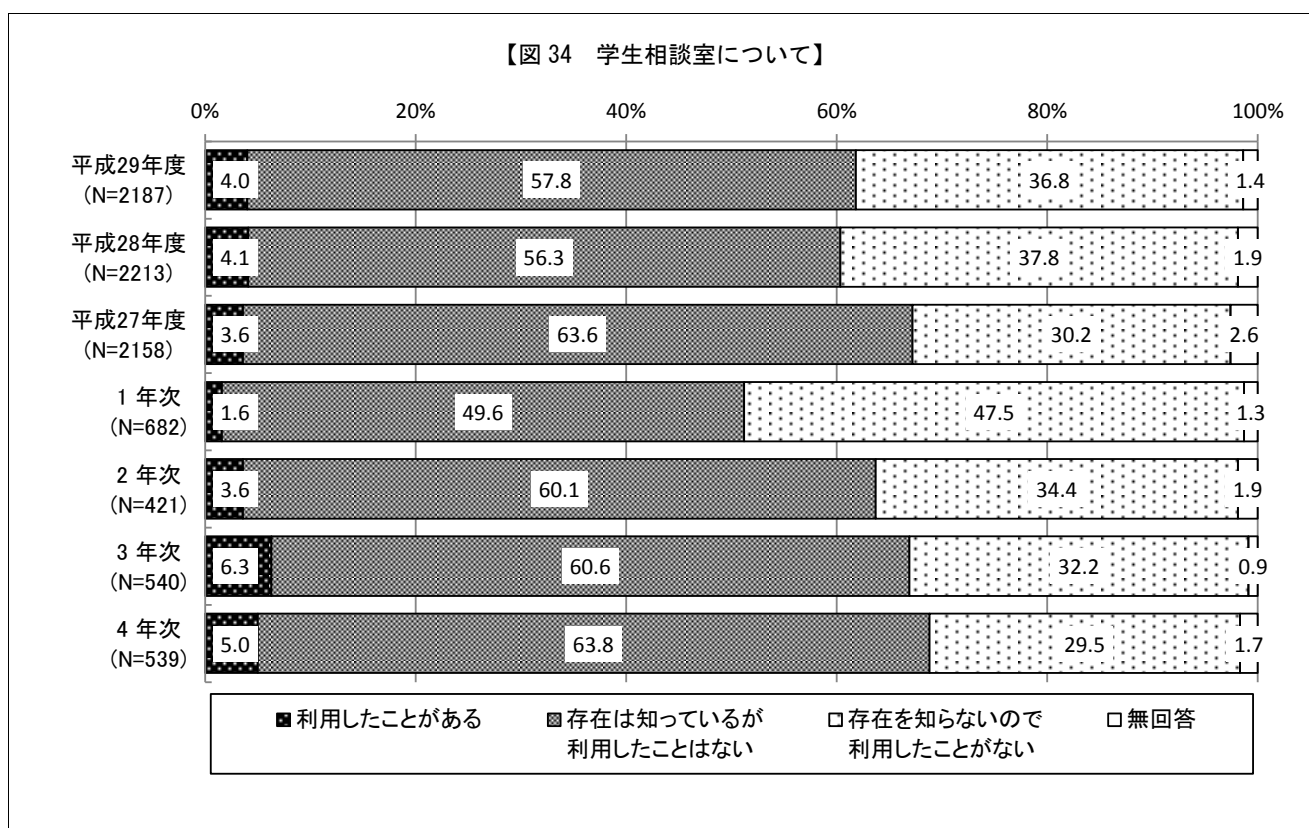
【結果概要（問34）】

問34. 学生相談室の利用状況としては、「存在は知っているが利用したことはない」が57.8%で「利用したことがある」は4.0%にとどまっている。また、約4割の学生が「存在を知らない」ので利用したことがない」と回答している。

前回調査から「利用したことがある」は横ばいで推移しており、今回調査では4.0%しか利用していないという結果となった。

年次別でみると、「存在は知っているが利用したことはない」は4年次の63.8%が最も多くなっており、年次が上がるほど高くなっている。<図34>

■問34. 学生相談室について（過年度調査・年次別）



7. マナー等について

【結果概要（問35・問35-1）】

問35. マナーアップキャンペーンについては、「キャンペーンをしていることは知っている」が39.5%と最も高く、「参加したことがある」が37.4%、「全然知らない」が22.4%となっている。

前回調査と比べると、「参加したことがある」が2.8ポイント増加しており認知度は上がってきている。

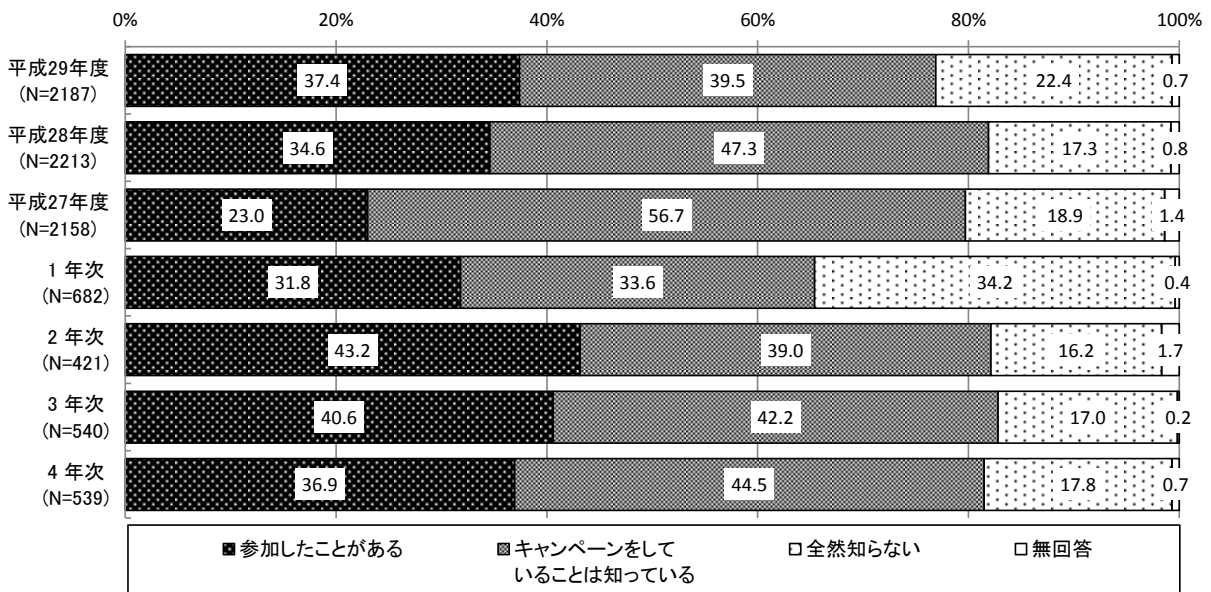
年次別でみると、「参加したことがある」は2年次の43.2%が最も高くなっている。<図35>

問35-1. マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえることについては、「知っている」が9.6%、「知らない」が88.8%となっており、あまり知られていない。<図35-1>

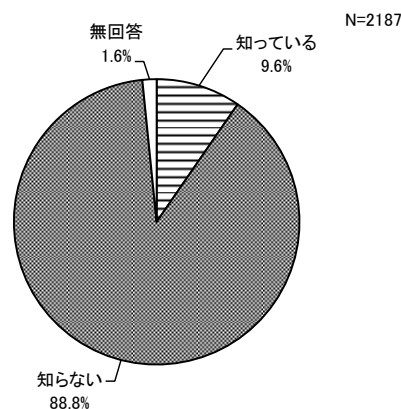
■問35. マナーアップキャンペーンへの参加状況（過年度調査・年次別）

■問35-1. 「活動参加証明書」の取得条件の認知状況

【図35 マナーアップキャンペーンへの参加状況】



【図35-1 「活動参加証明書」の取得条件の認知状況】

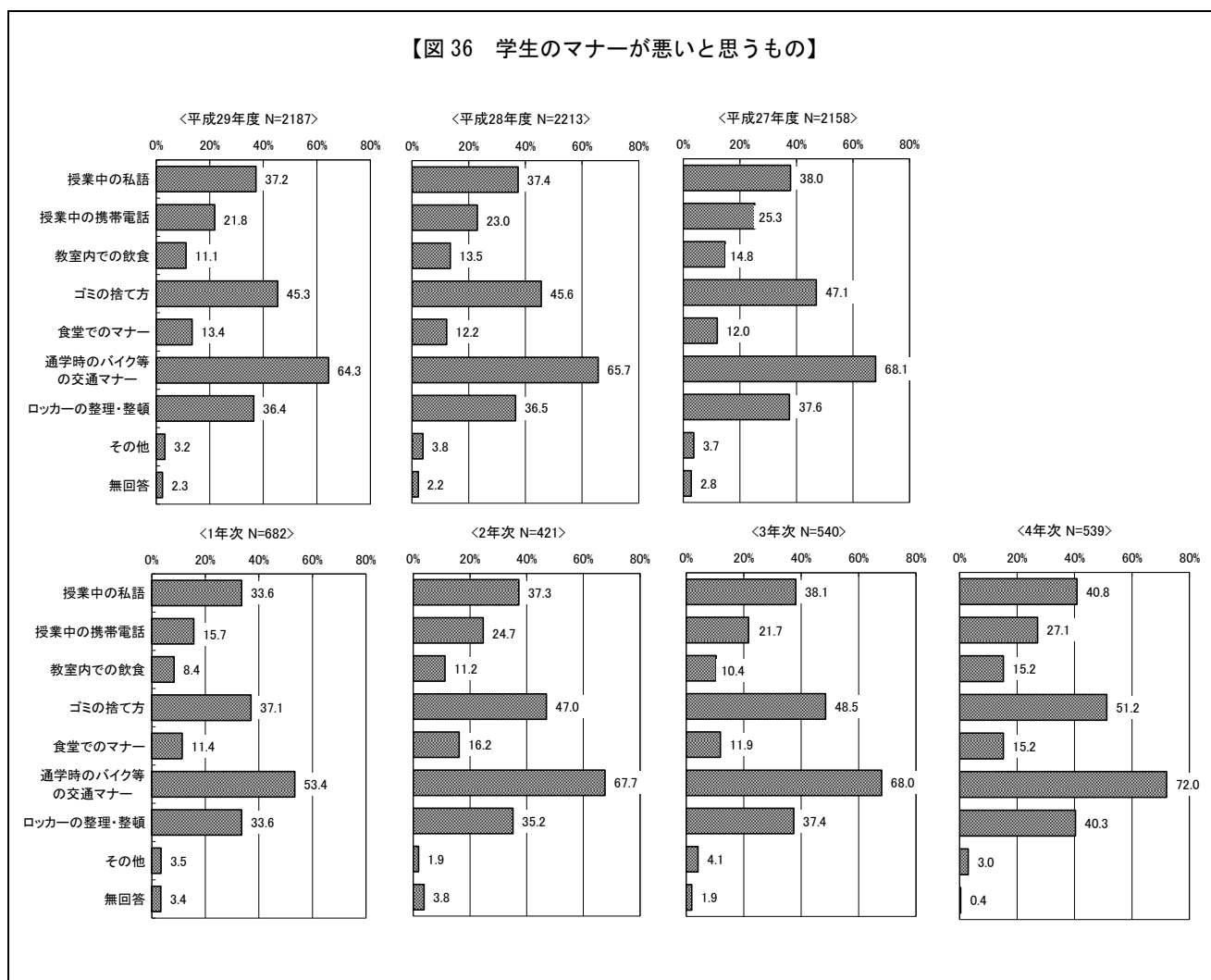


【結果概要（問36）】

問36. 学生のマナーが悪いと思うものとしては「通学時のバイク等の交通マナー」が64.3%と最も多く、次に「ゴミの捨て方」が45.3%、「授業中の私語」が37.2%、「ロッカーの整理・整頓」が36.4%、「授業中の携帯電話」が21.8%と、以上が前回調査同様にワースト5である。

年次別でみると、「通学時のバイク等の交通マナー」は各年次とも第一位に挙げており、年次が上がるほど高くなっている。1年次で53.4%に対して4年次では72.0%まで上がっている。他のマナーについてもほぼ同様で年次が高くなるほど割合が大きくなっている。＜図36＞

■問36. 学生のマナーが悪いと思うもの（過年度調査・年次別）



【結果概要（問37）】

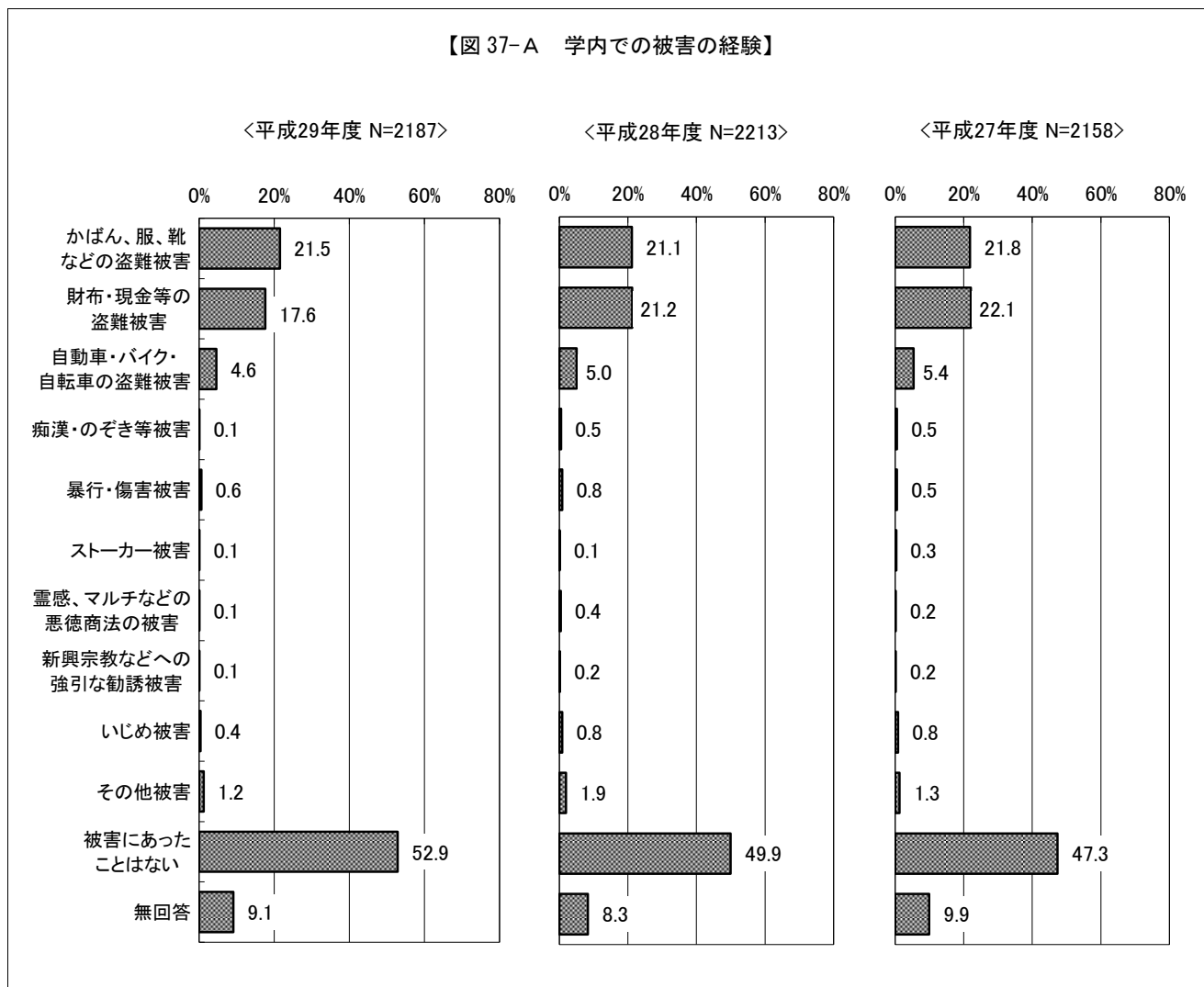
問37. 学内での被害経験としては何らかの被害を受けたことがある学生は全体の38.0%で、その内訳としては「かばん、服、靴などの盗難被害」が21.5%で最も多く、「財布・現金等の盗難被害」が17.6%、「自動車・バイク・自転車の盗難被害」の4.6%が前回調査と同じく上位にきている。＜図37-A＞

所属学部・学科別でみると、何らかの被害を受けたことがある学科は体育学部スポーツ教育学科が42.1%で最も多くなっている。＜図37-B＞

年次別でみると、「財布・現金等の盗難等」、「自動車・バイク・自転車の盗難被害」は年次が上がるごとに増加している。＜図37-C＞

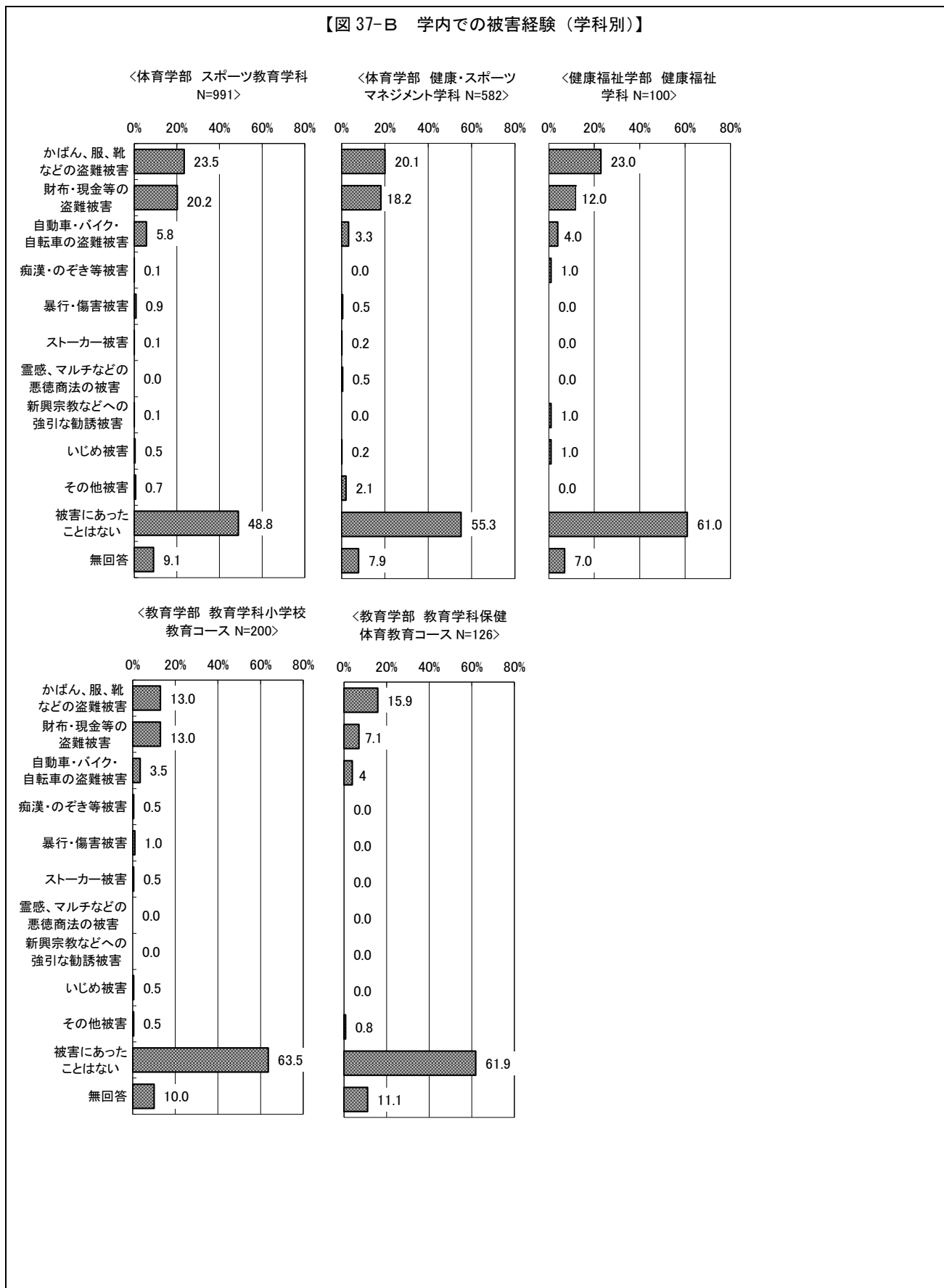
性別では、何らかの被害を受けたことがある学生は男子学生が42.9%、女子学生が26.8%と男子学生の方が16.1ポイント高くなっている。＜図37-D＞

■問37. 学内での被害の経験（過年度調査）



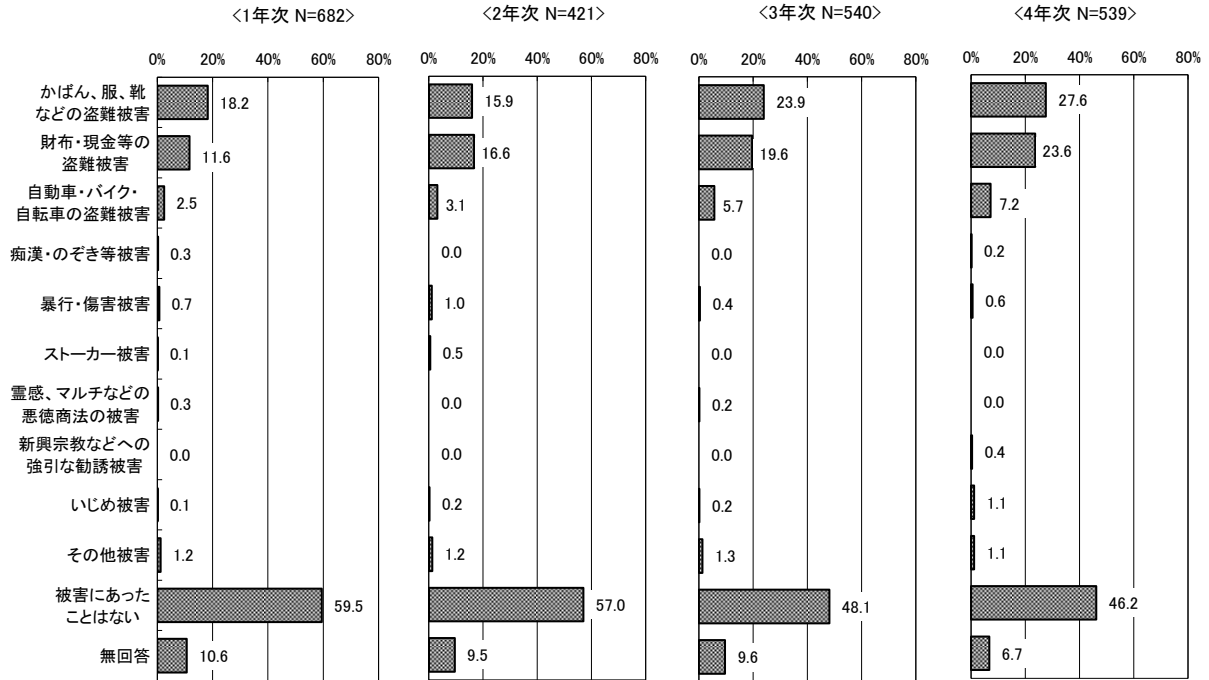
■問37. 学内での被害の経験（学科別調査）

【図37-B 学内での被害経験（学科別）】

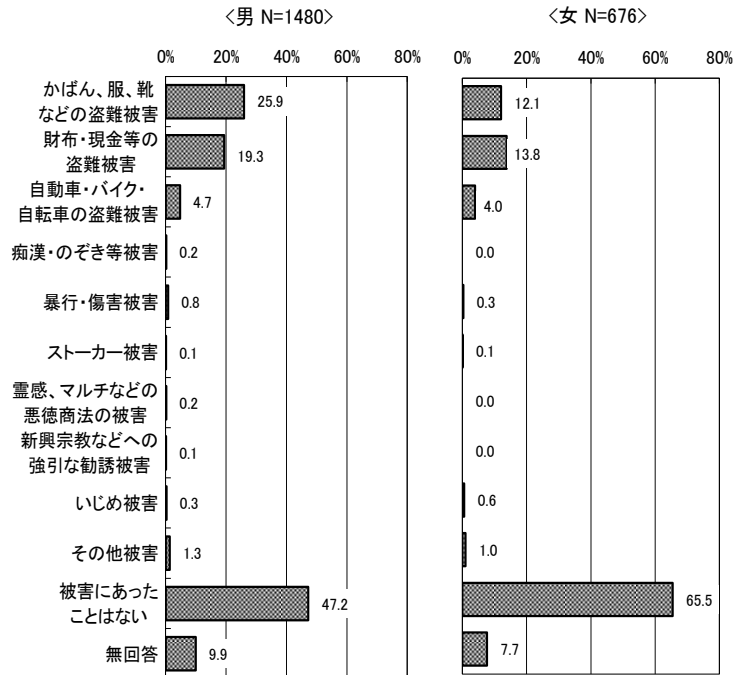


■問37. 学内での被害の経験（年次別・性別調査）

【図37-C 学内での被害経験（年次別）】



【図37-D 学内での被害経験（性別）】



8. 進路と就職について

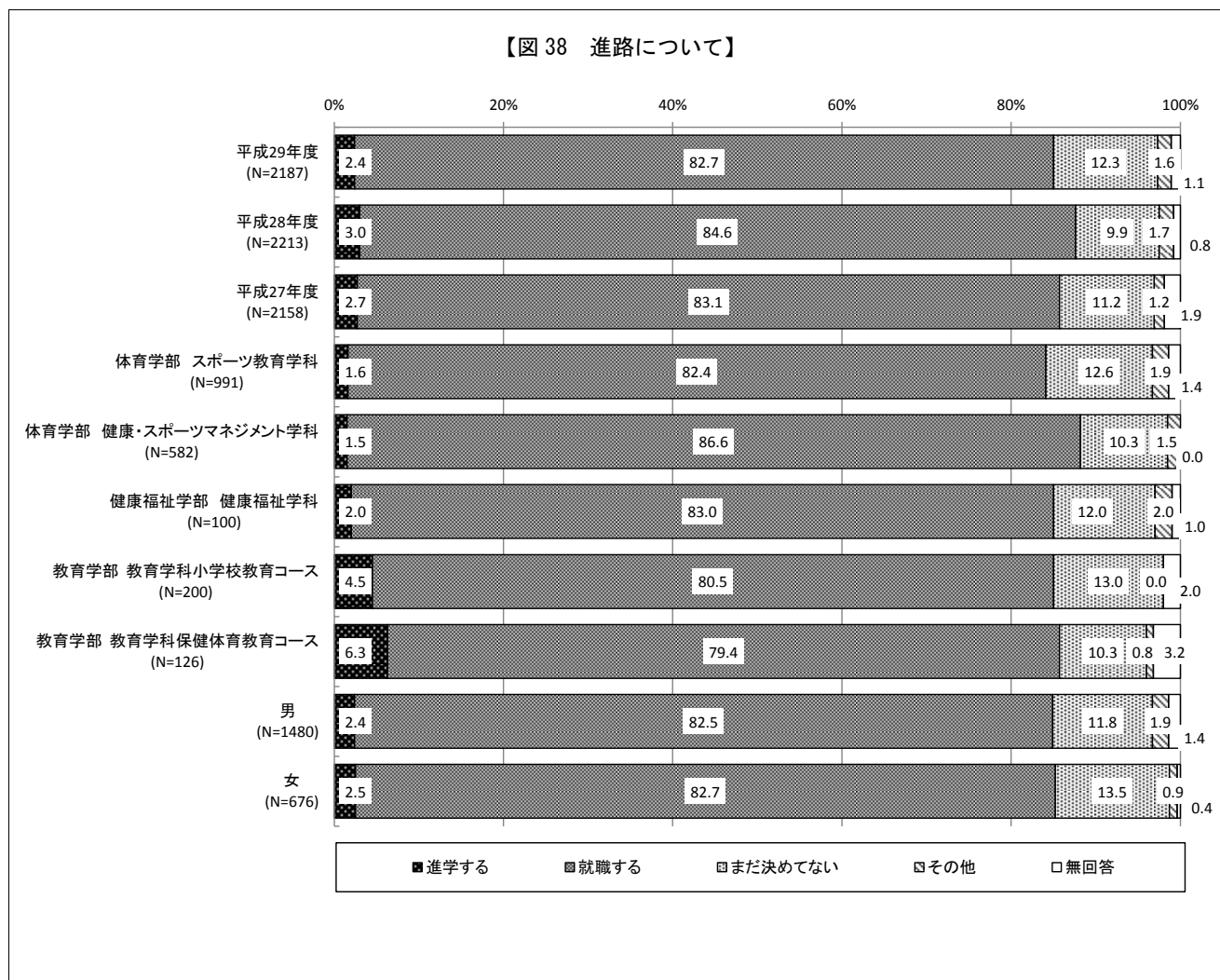
【結果概要（問38）】

問38. 将来の進路については、「就職する」が82.7%と8割以上を占めている。

所属学部・学科別では、「就職する」が体育学部健康スポーツマネジメント学科の86.6%が最も高くなっている。

性別では、「就職する」は男女ともに8割以上を超えている。＜図38＞

■問38. 進路について（過年度調査・学科別・性別）



【結果概要（問39）】

問39. 進路を考える上での情報入手手段としては、「先輩・知人」が66.7%と最も多く、次に「インターネット」が43.8%、「家族」が34.7%、「指導教員」が28.5%となっている。＜図39-A＞

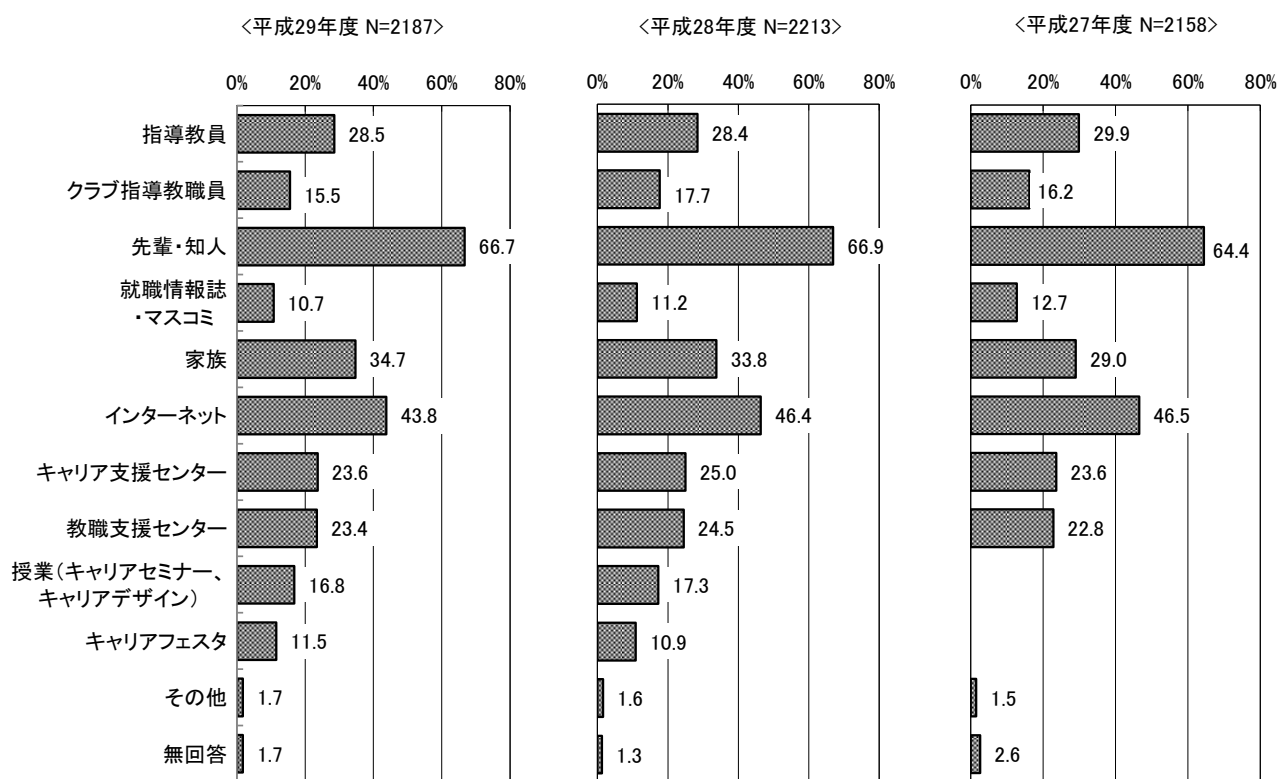
所属学部・学科別では、「先輩・知人」が各学科ともに割合が高くなっている。クラブ指導教員については体育学部スポーツ教育学科が22.3%と他の学部・学科と比べて大きく差が出ている。＜図39-B＞

年次別でみると、各年次とも「先輩・知人」が最も多くなっている。＜図39-C＞

性別では、ほとんどの情報入手手段で大きな差は見られない。＜図39-D＞

■問39. 進路を考える上での情報入手手段（過年度調査）

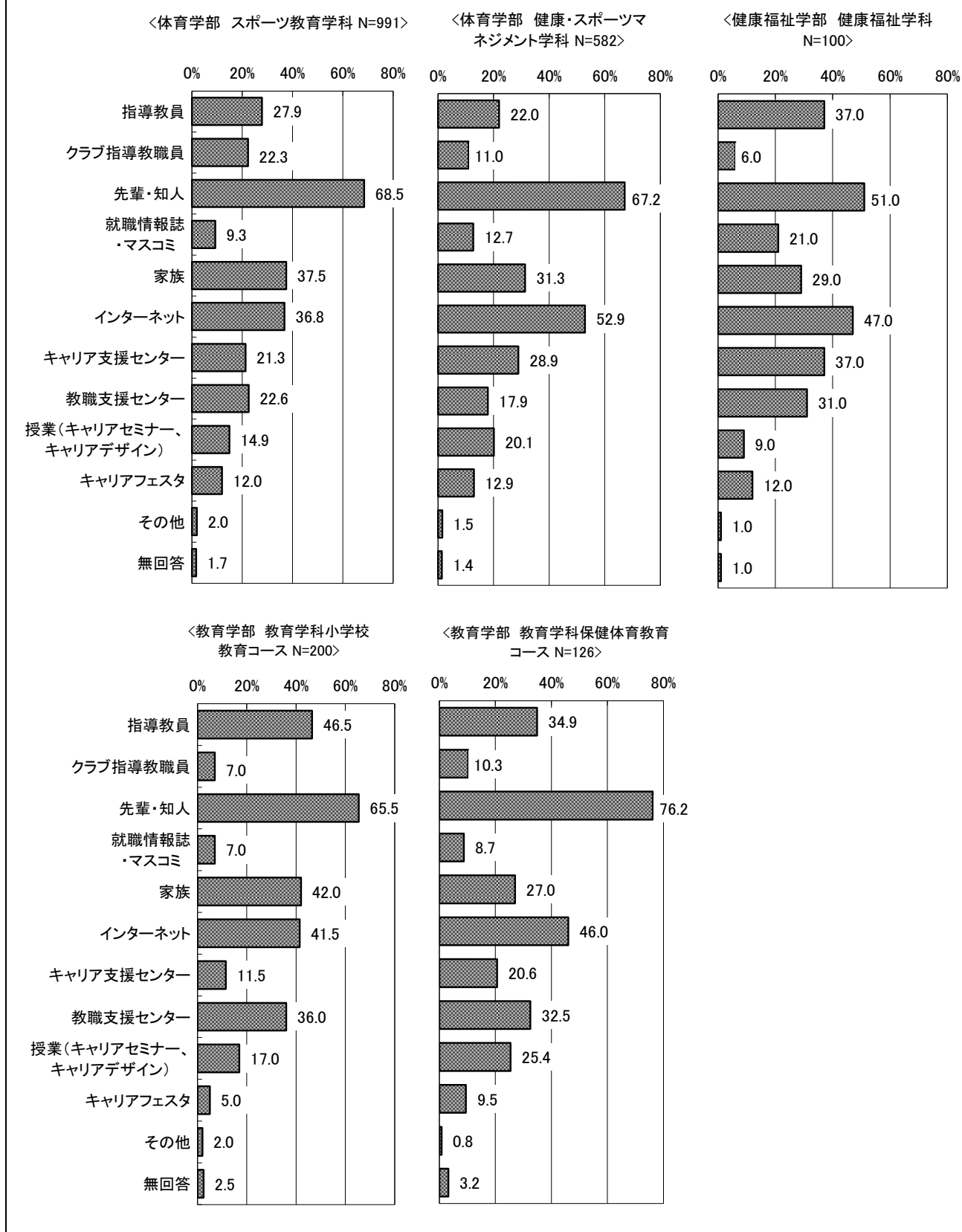
【図39-A 進路を考える上での情報入手手段】



※前回調査より「授業（キャリアセミナー、キャリアデザイン）」「キャリアフェスタ」の選択肢を増やしている。そのため、前々回調査では「該当なし」。

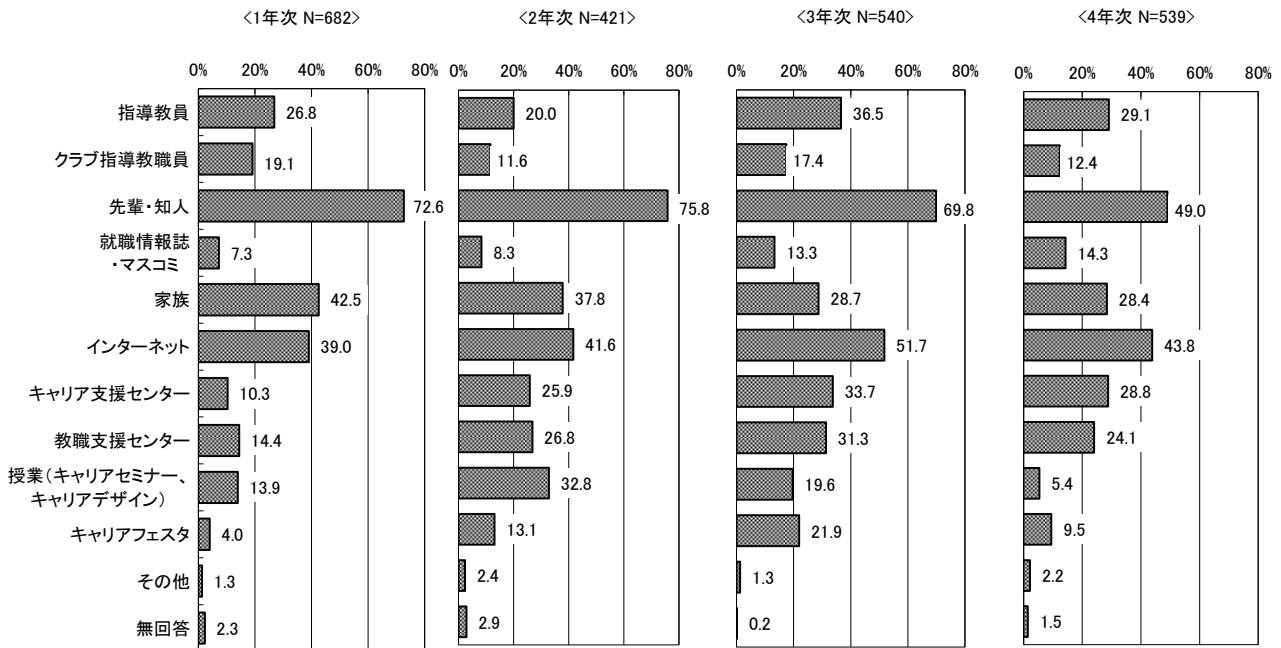
■問39. 進路を考える上での情報入手手段（学科別）

【図 39-B 進路を考える上での情報入手手段（学科別）】

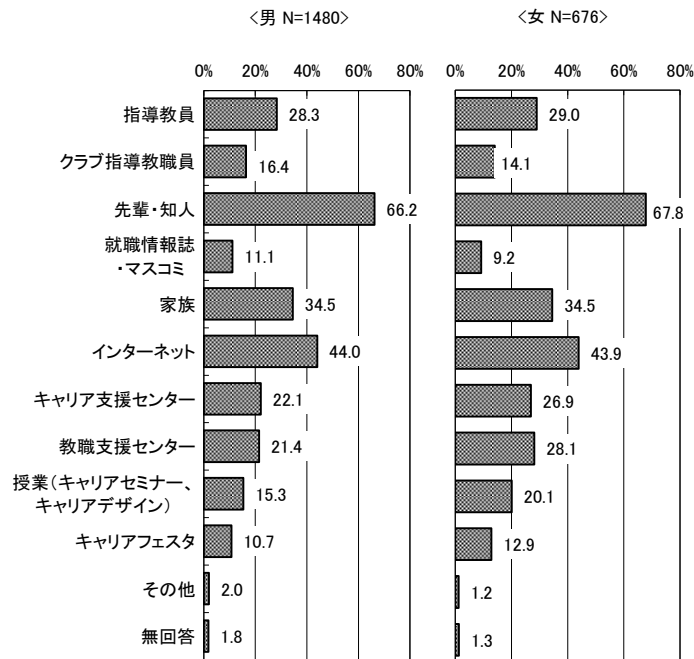


■問39. 進路を考える上での情報入手手段（年次別・性別）

【図 39-C 進路を考える上での情報入手手段（年次別）】



【図 39-D 進路を考える上での情報入手手段（性別）】



【結果概要（問40）】

問40. 将来の希望職種については、「教員」が54.9%で最も多く、次に「企業」が38.1%となっている。＜図40-A＞

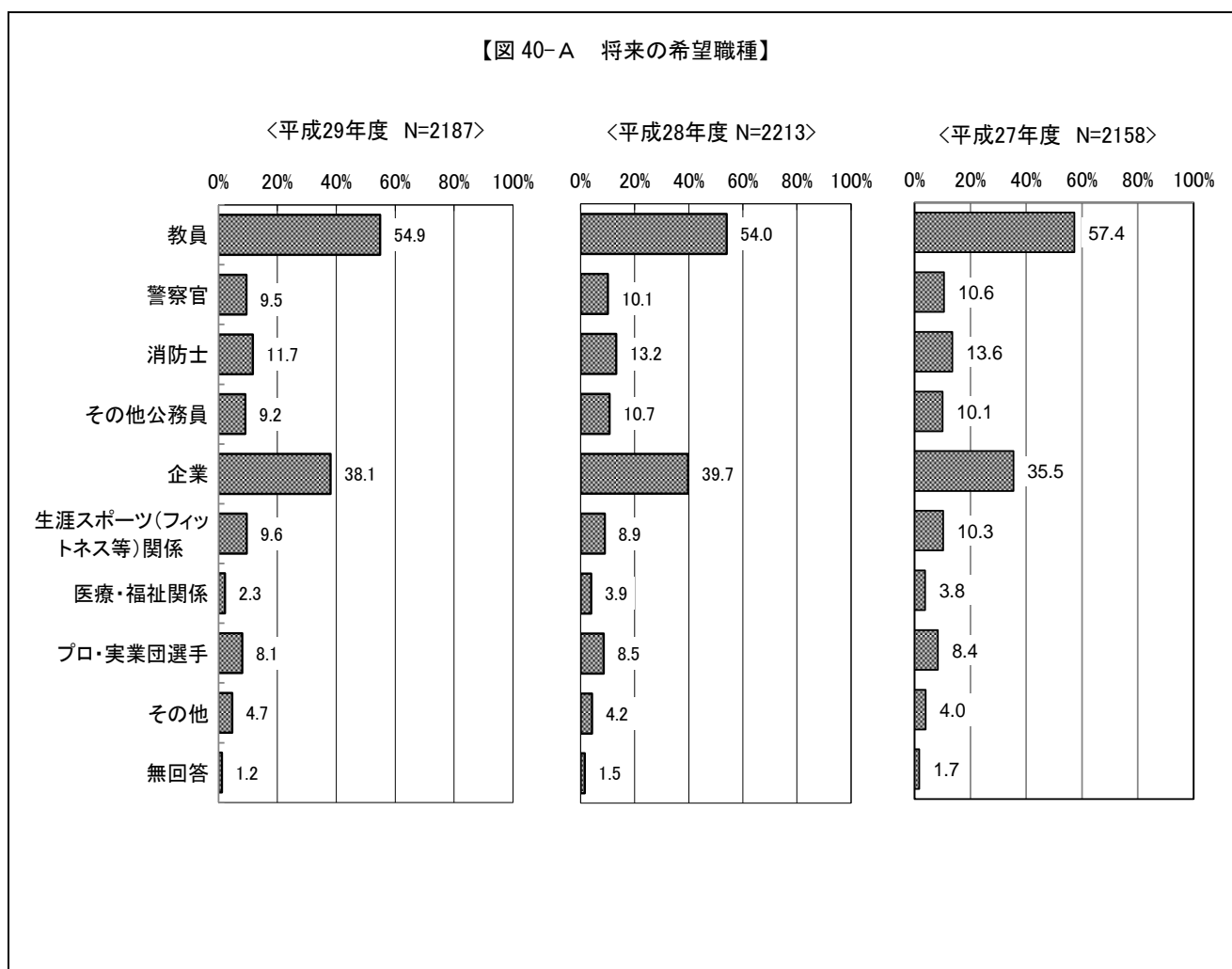
所属学部・学科別では、体育学部健康・スポーツマネジメント学科以外では「教員」が多くなっているが、特に教育学部教育学科小学校教育コースは9割以上を占めている。体育学部スポーツ教育学科の「プロ・実業団選手」が13.7%と、他の学部・学科と比べて大きく差が出ている。

＜図40-B＞

年次別でみると、「教員」の希望は1年次では69.5%と最も多くなっているが、年次が上がるにつれ割合は低くなり、4年次では39.0%まで下がっている。＜図40-C＞

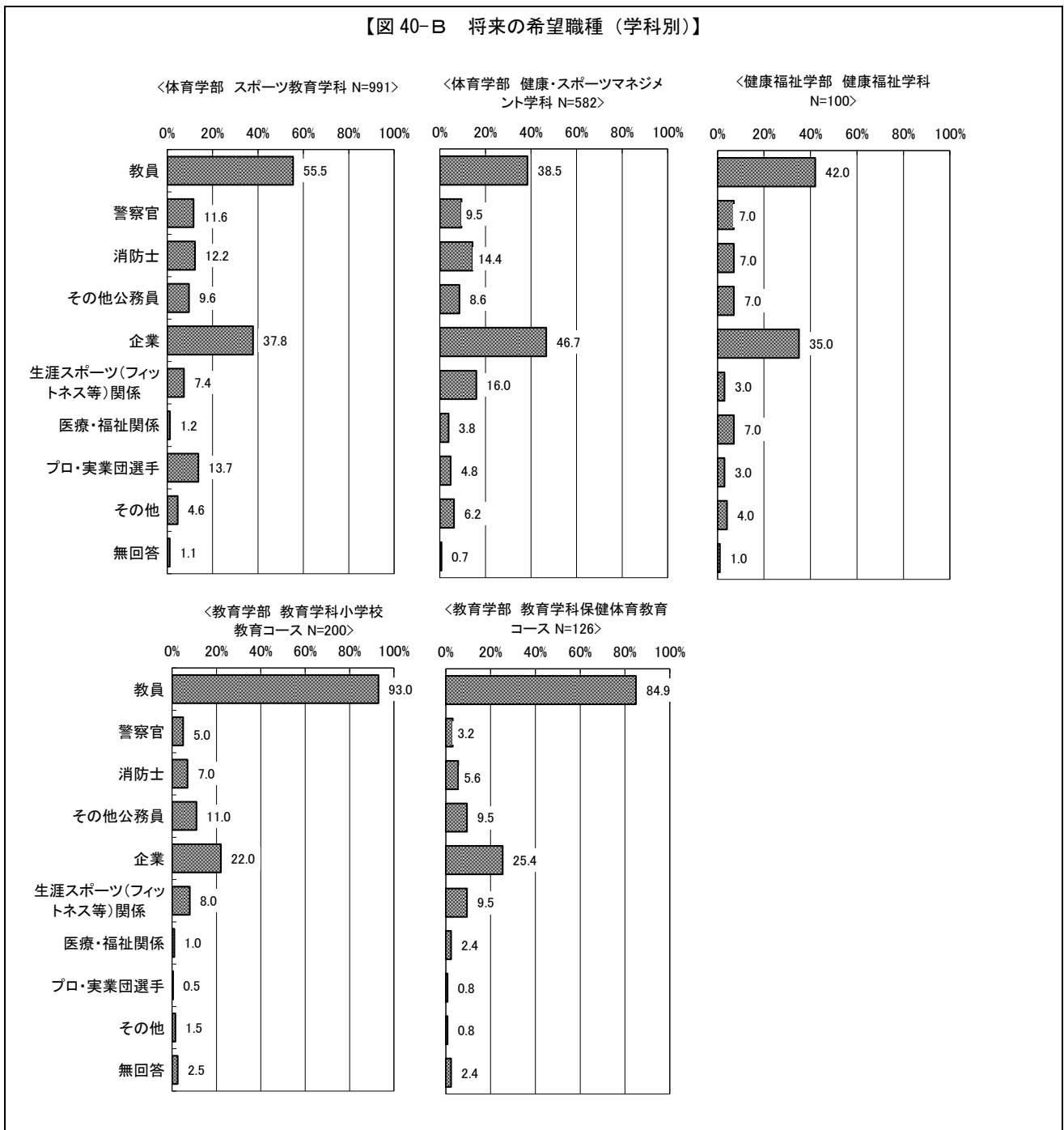
性別でみると、男女とも「教員」が最も多く、次に「企業」となっている。そのほかでは男子学生は「消防士」が16.0%、「警察官」が10.9%の希望が多く、女子学生は「生涯スポーツ（フィットネス等）関係」が13.6%の希望が多くなっている。＜図40-D＞

■問40. 将来の希望職種（過年度調査）



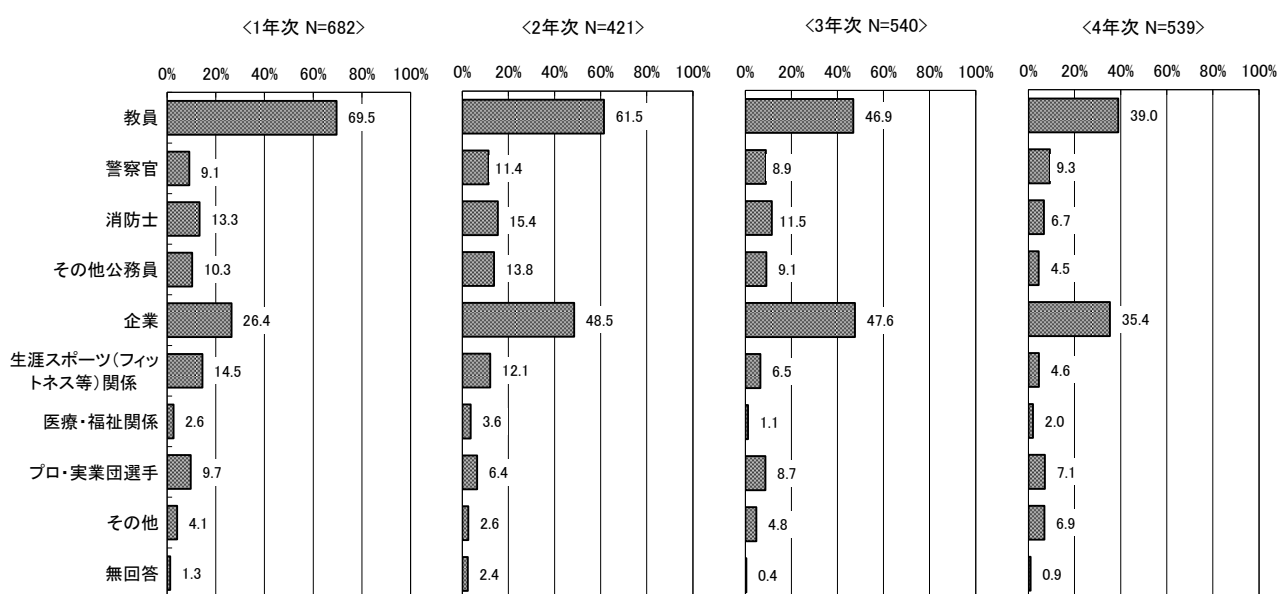
■問40. 将来の希望職種（学科別）

【図 40-B 将来の希望職種（学科別）】

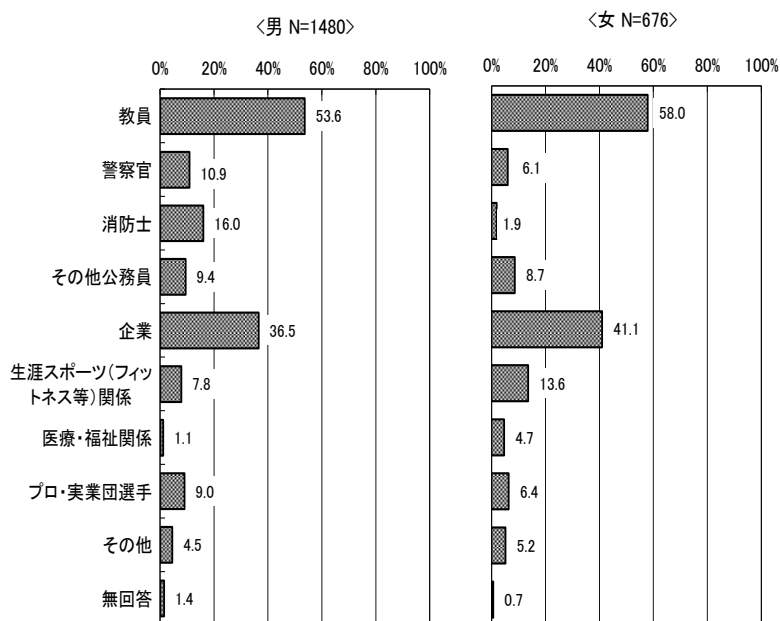


■問40. 将来の希望職種（年次別・性別）

【図40-C 将来の希望職種（年次別）】



【図40-D 将来の希望職種（性別）】



【結果概要（問41）】

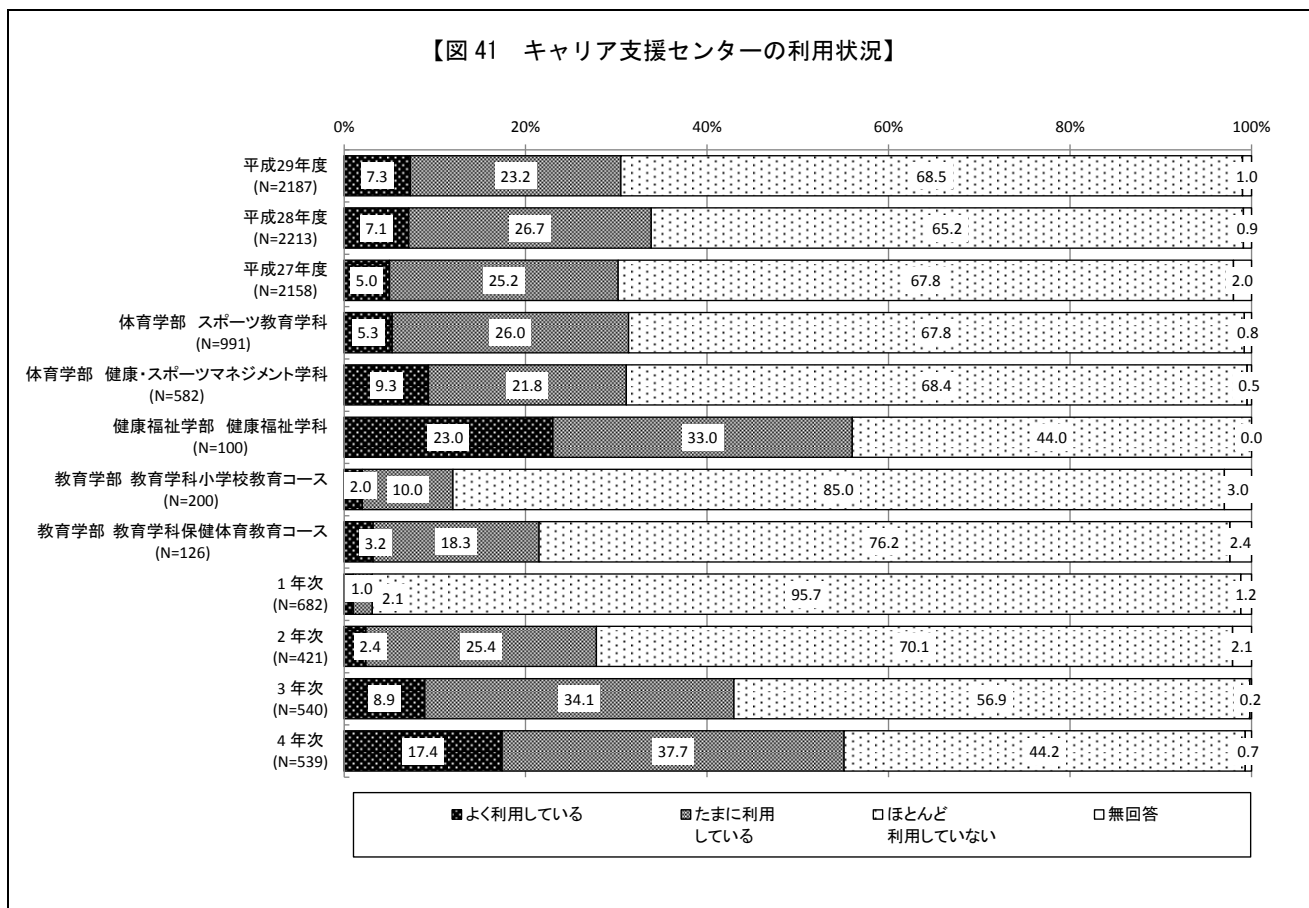
問41. キャリア支援センターの利用状況としては、「よく利用している」が7.3%、「たまに利用している」が23.2%に対して、「ほとんど利用していない」が68.5%となっている。

前回調査では、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は33.8%であったが、今回調査では30.5%と3.3ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は、利用率が高い順に健康福祉学部健康福祉学科（56.0%）、体育学部スポーツ教育学科（31.3%）、体育学部健康・スポーツマネジメント学科（31.1%）、教育学部教育学科保健体育教育コース（21.5%）、教育学部教育学科小学校教育コース（12.0%）となっている。

年次別でみると、「よく利用している」は4年次で17.4%と、他の年次と比べて最も利用率が高くなっている。＜図41＞

■問41. キャリア支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要（問41-1）】

問41-1. キャリア支援センター利用の方法としては、「進路相談する」が75.7%と最も多く、次に「PCを利用する」が23.5%となっている。

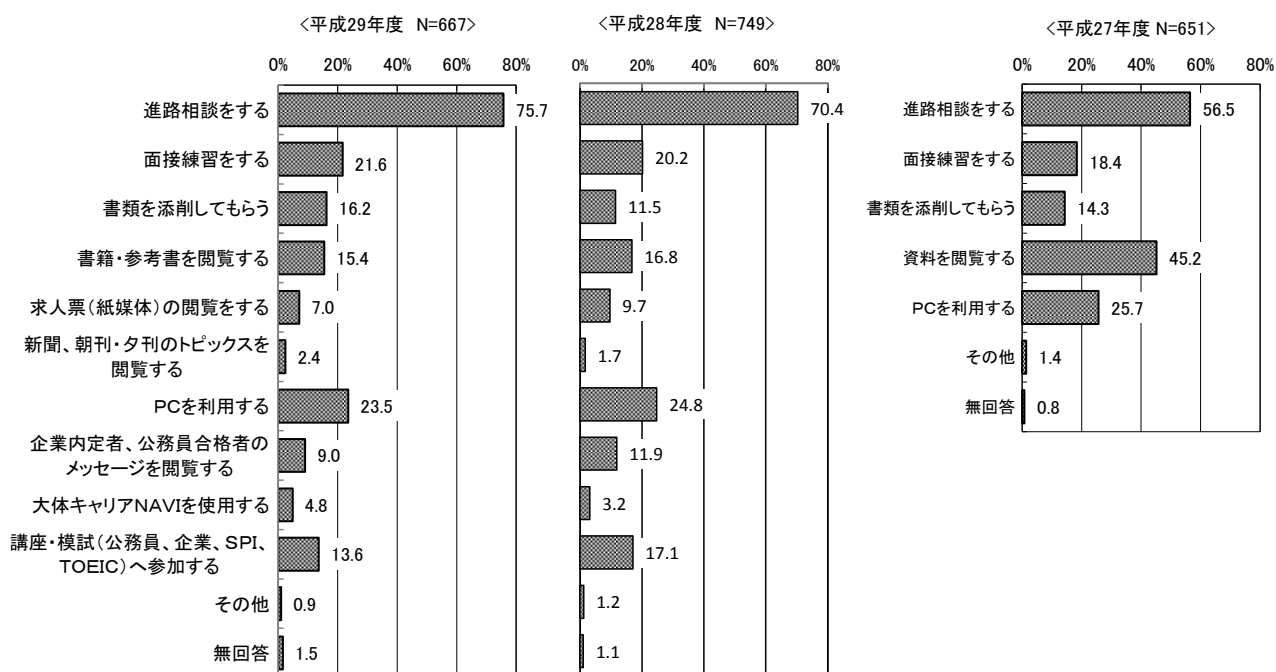
年次別でみると、1年次は「PCを利用する」が最も高いが、2～3年次では「進路相談する」が最も高くなっている。

男女別でみると、「PCを利用する」は男子学生19.1%に対して女子学生は32.3%と女子学生の割合が高くなっている。＜図41-1＞

（※前回調査より、前々回調査の選択肢と変更している。）

■問41-1. キャリア支援センターの利用方法（過年度調査）

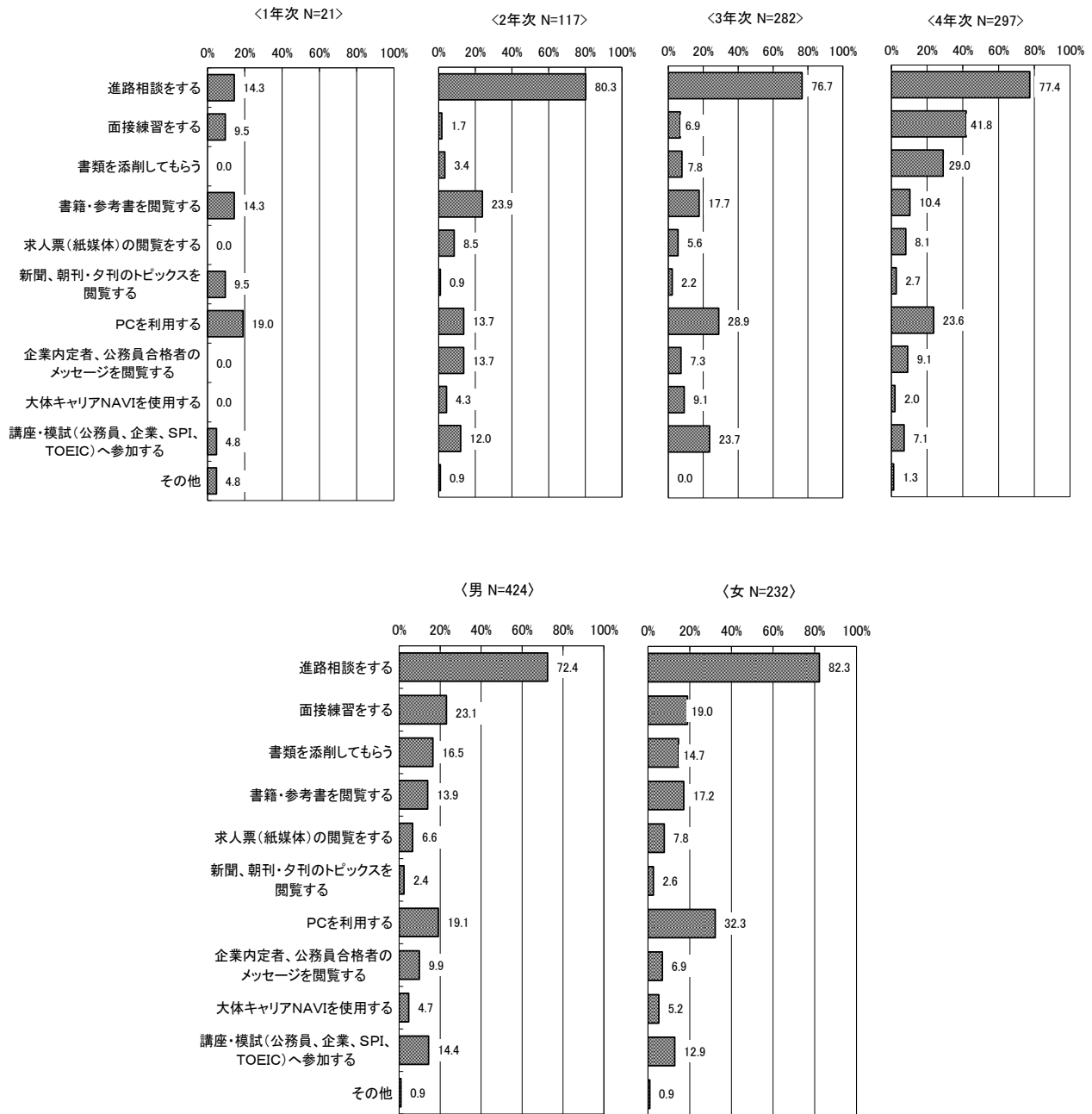
【図41-1 キャリア支援センターの利用方法】



※前回調査より「5. 求人票（紙媒体）の閲覧をする」「6. 新聞、朝刊・夕刊のトピックスを閲覧する」「8. 企業内定者、公務員合格者のメッセージを閲覧する」「9. 大体大キャリアNAVIを使用する」「10. 講座・模試（公務員、企業、SPI、TOEIC）へ参加する」を新設した。

■問41-1. キャリア支援センターの利用方法（年次別・男女別）

【図41-1 キャリア支援センターの利用方法】



【結果概要（問41-2）】

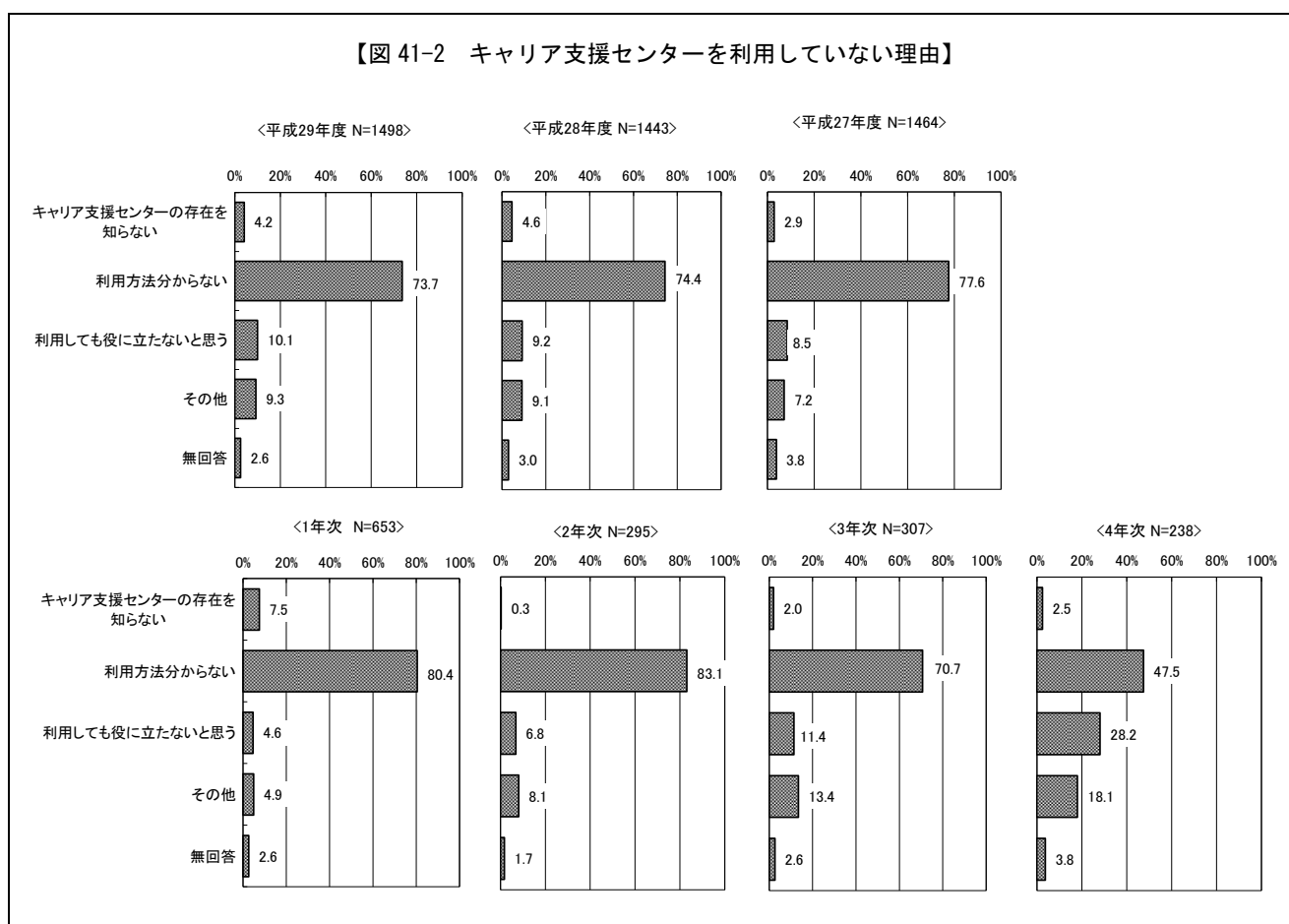
問41-2. キャリア支援センターを利用していない理由としては、「利用方法がわからない」が73.7%と利用していない理由の7割以上を占めている。

前回調査と比べると、「キャリア支援センターの存在を知らない」が0.4ポイント減少、「利用方法がわからない」が0.7ポイント減少、「利用しても役に立たないと思う」が0.9ポイント増加となっている。

年次別でみると、4年次の「利用方法がわからない」は47.5%と他の年次に比べて割合は低くなっているが、「利用しても役に立たないと思う」が28.2%は他の年次と比べて高くなっている。

<図41-2>

■問41-2. キャリア支援センターを利用していない理由（過年度調査・年次別）



【結果概要（問42）】

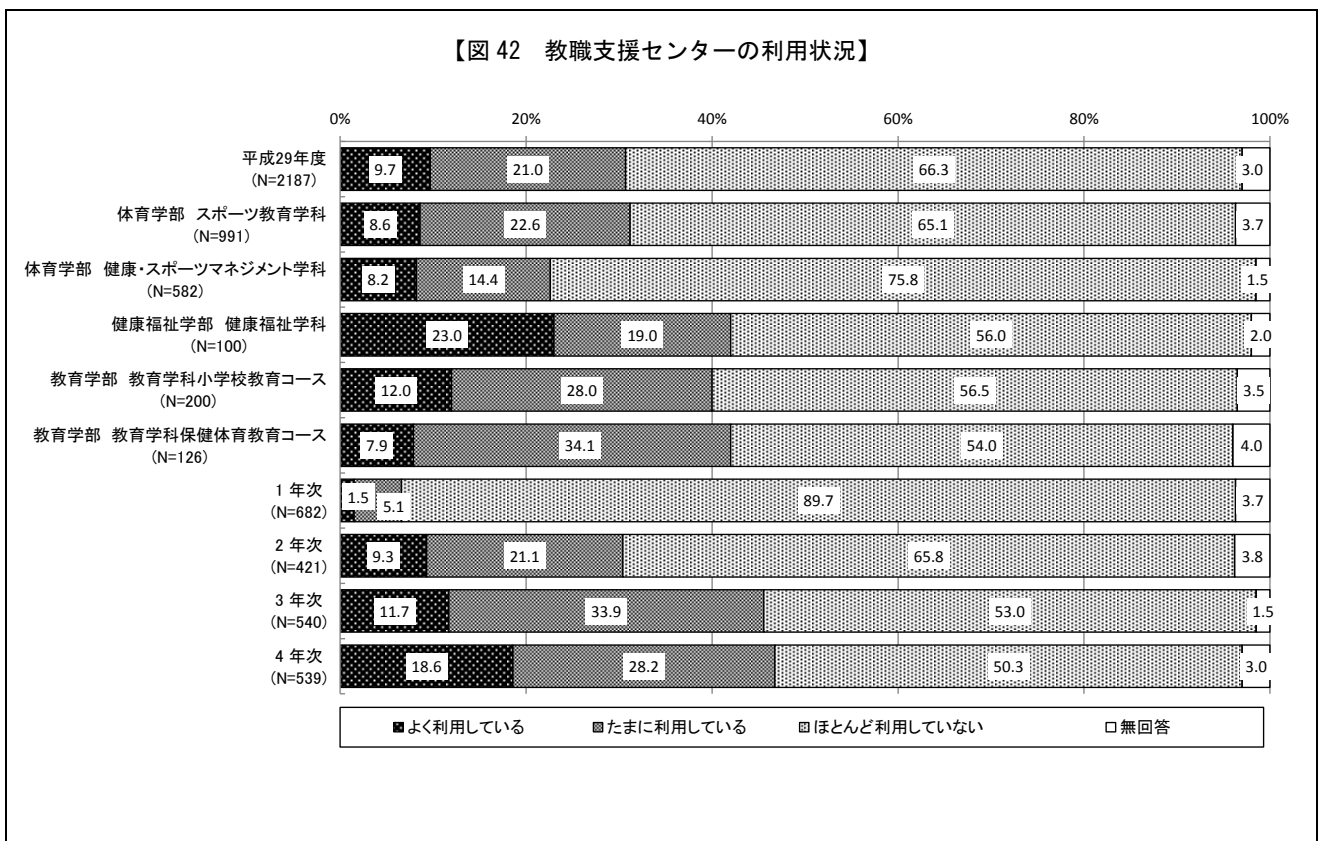
問42. 教職支援センターの利用について、「ほとんど利用していない」が66.3%で最も多く、次に「たまに利用している」が21.0%となっている。

所属学部・学科別でみると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた「利用している」は、健康福祉学部健康福祉学科と教育学部教育学科保健体育教育コースが42.0%で最も高く、次に教育学部教育学科小学校教育コースの40.0%となっている。

年次別では、4年次の「よく利用している」が18.6%は他の年次と比べて最も多くなっている。

<図42>

■問42. 教職支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）

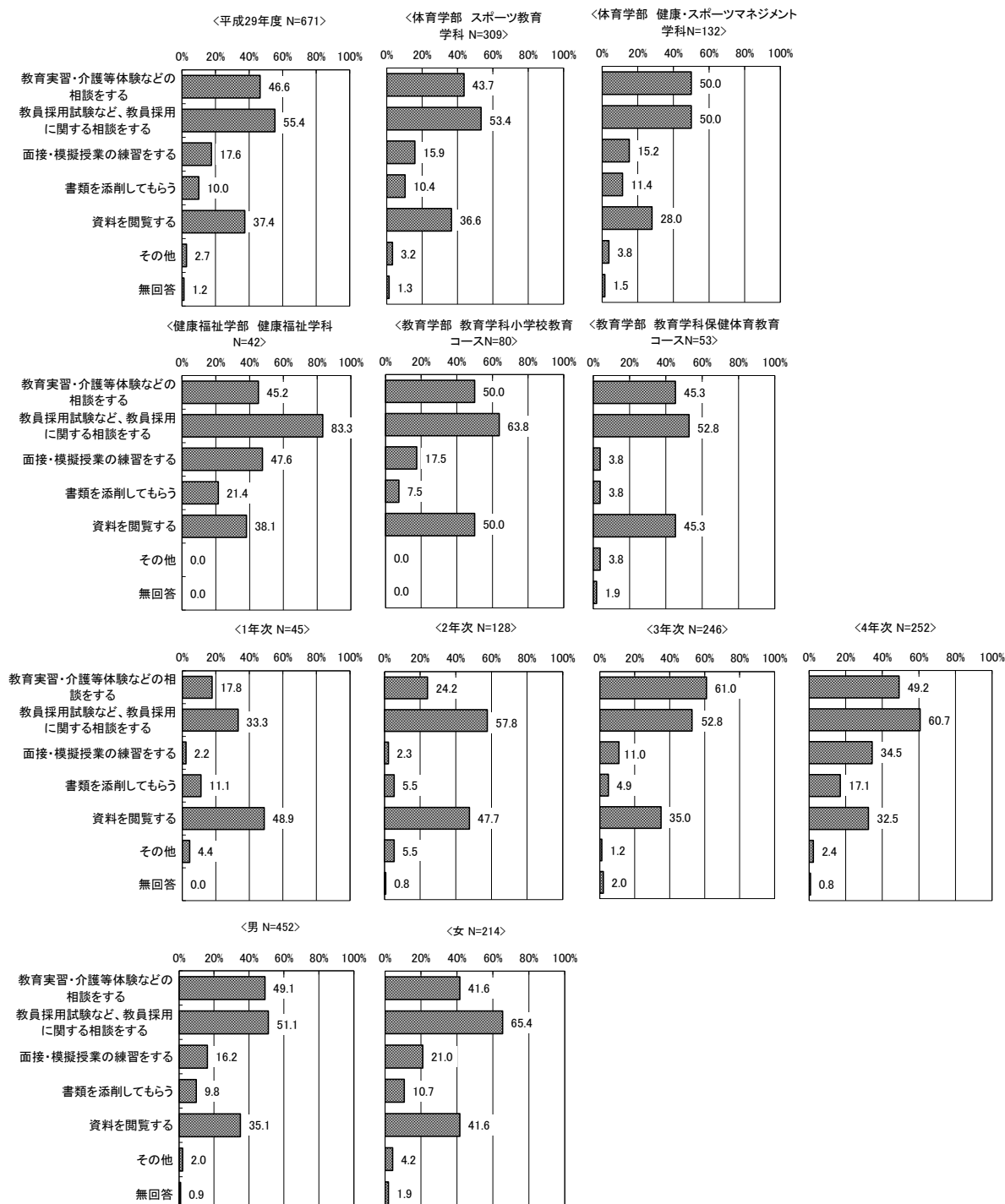


【結果概要（問42-1）】

問42-1. 教職支援センターの利用方法については、「教員採用試験など、教員採用に関する相談をする」が55.4%と最も多く、次に「教育実習・介護等体験などの相談をする」が46.6%となっている。＜図42-1＞

■問42-1. 教職支援センターの利用方法について（過年度調査・学科別・年次・性別）

【図42-1 教職支援センターの利用方法】

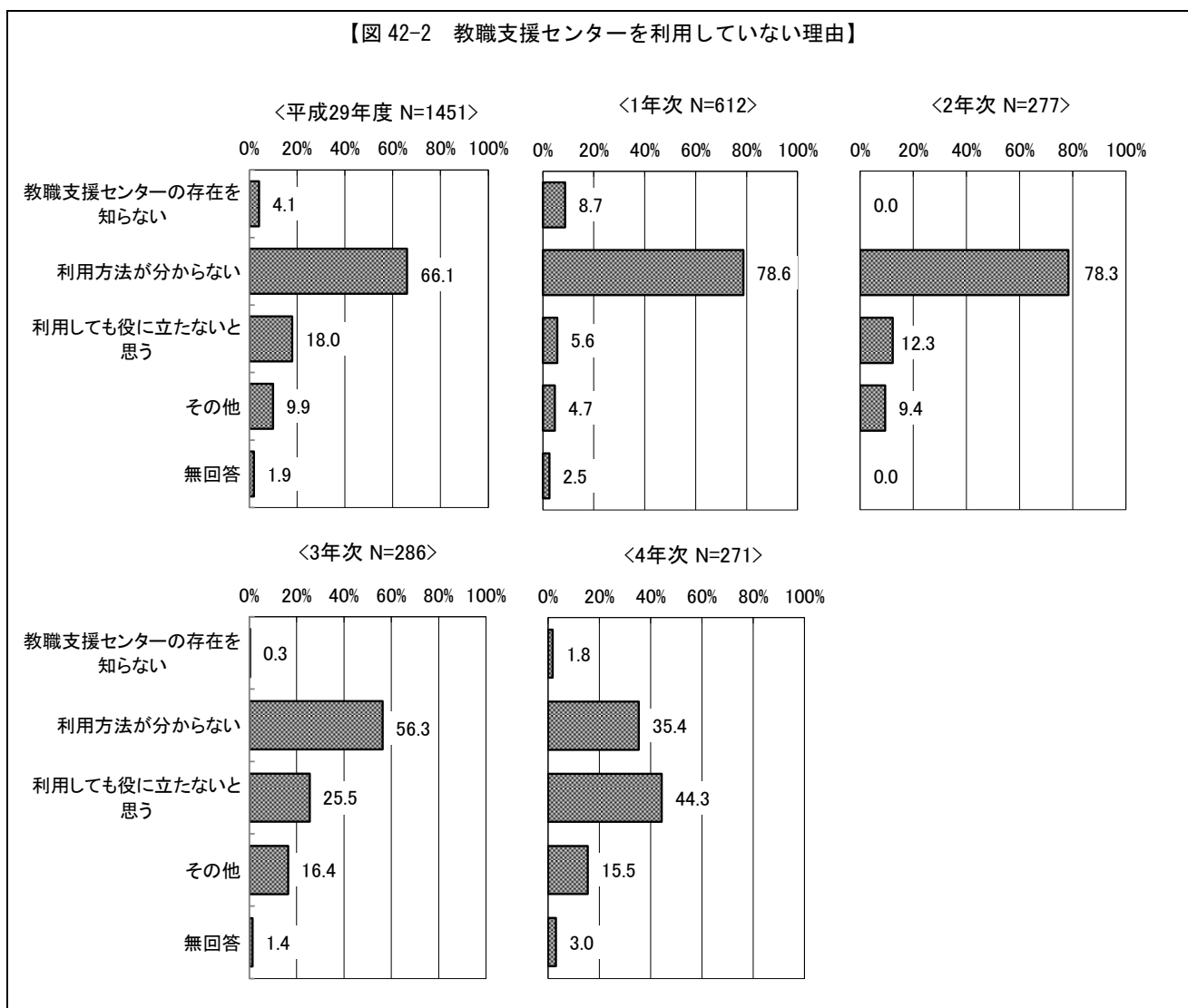


【結果概要（問42-2）】

問42-2. 教職支援センターの利用しない理由については、「利用方法が分からない」が66.1%と最も多く、次に「利用しても役に立たないと思う」が18.0%となっている。

年次別でみると、「利用方法が分からない」は1年次で78.6%、2年次で78.3%となっている。しかし、3年次では、「利用方法が分からない」は56.3%、4年次は35.4%と1~2年次に比べると減少している。また、「利用しても役に立たないと思う」は年次が上がるごとに増加しており、1年次5.6%に対し4年次では44.3%まで上がっている。<図42-2>

■問42-2. 教職支援センターを利用していない理由（年次別）



9. ボランティア活動について

【結果概要（問43）】

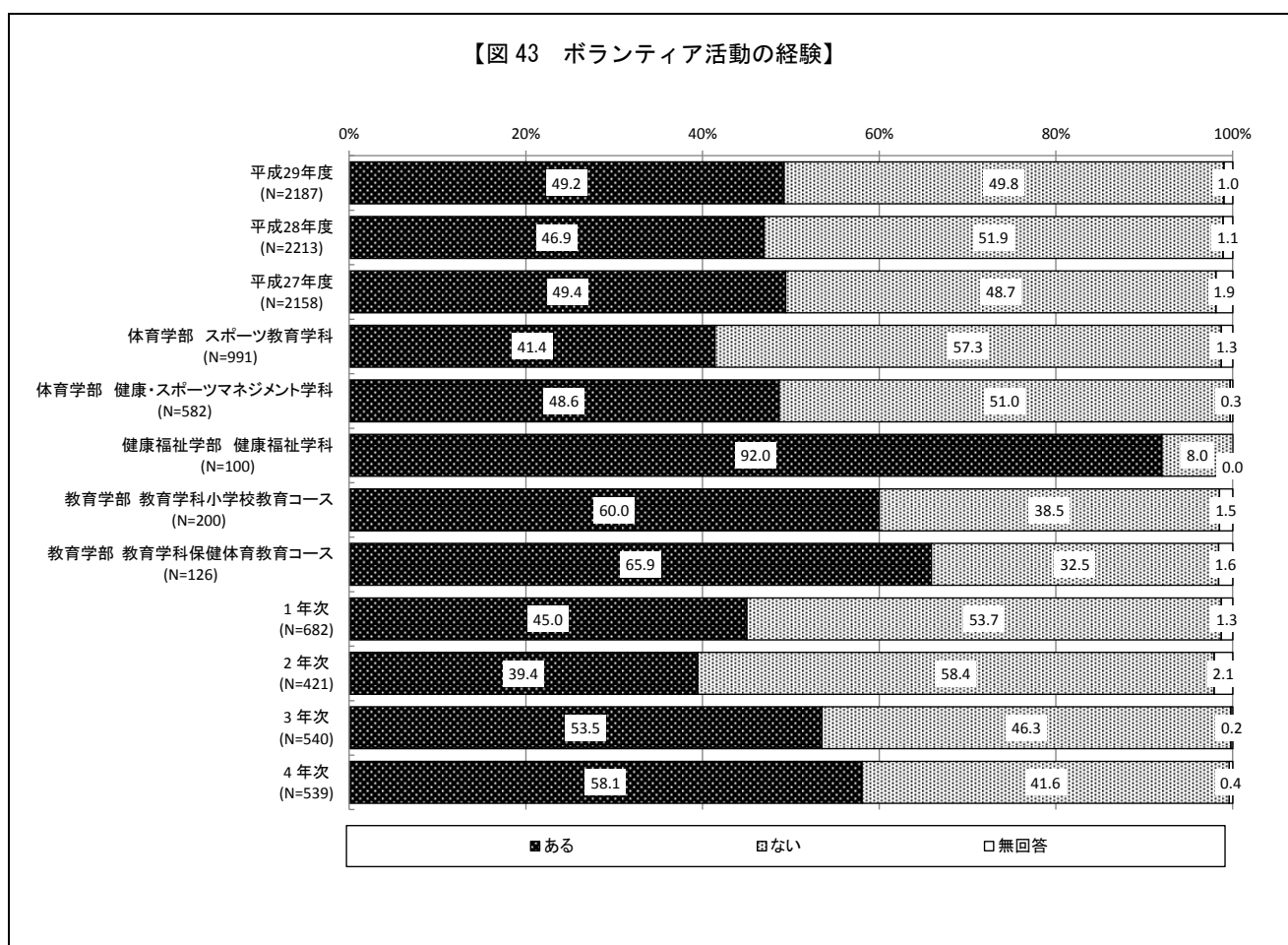
問43. ボランティア活動の経験としては、「ない」が49.8%、「ある」が49.2%となっている。

前回調査と比べると、「ある」が46.9%に対し今回調査では49.2%と2.3ポイント増加している。

所属学部・学科別では、健康福祉学部健康福祉学科の「ある」が92.0%と最も多く、次に教育学部教育学科保健体育教育コースが65.9%となっている。

年次別では、3年次以上では半数以上を占めている。＜図43＞

■問43. ボランティア活動の経験（過年度調査・学科別・年次別）



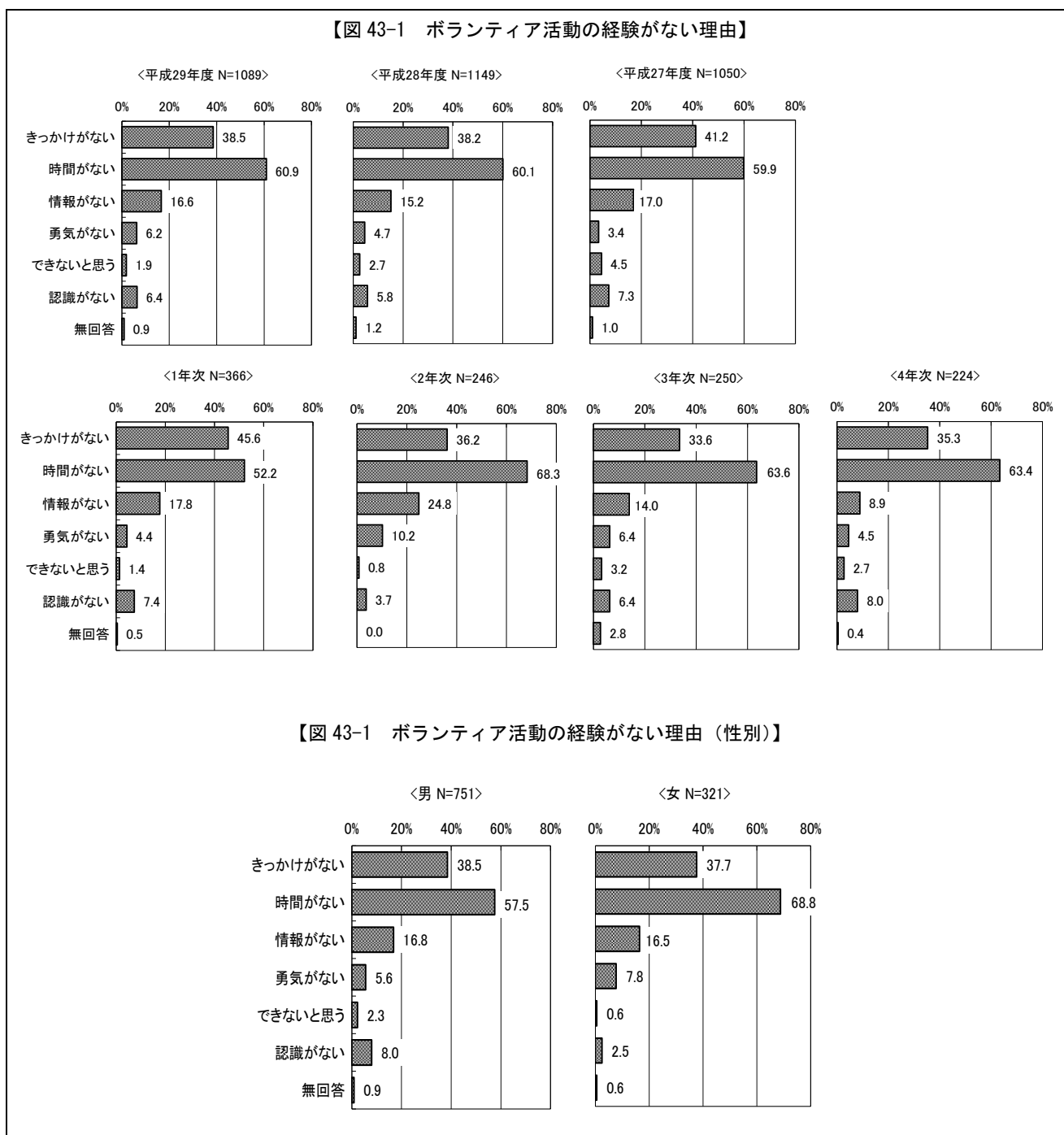
【結果概要（問43-1）】

問43-1. ボランティア活動の経験がない理由としては、「時間がない」が60.9%で最も多く、次に「きっかけがない」が38.5%となっている。

年次別でみると、2年次の「情報がない」と「勇気がない」が他の年次と比べると高い傾向にある。

性別でみると、男女ともに「時間がない」の理由が高くなっており、男子学生の57.5%に対して女子学生は68.8%と約7割を占めている。＜図43-1＞

■問43-1. ボランティア活動の経験がない理由（過年度調査・年次別・性別）



【結果概要（問44）】

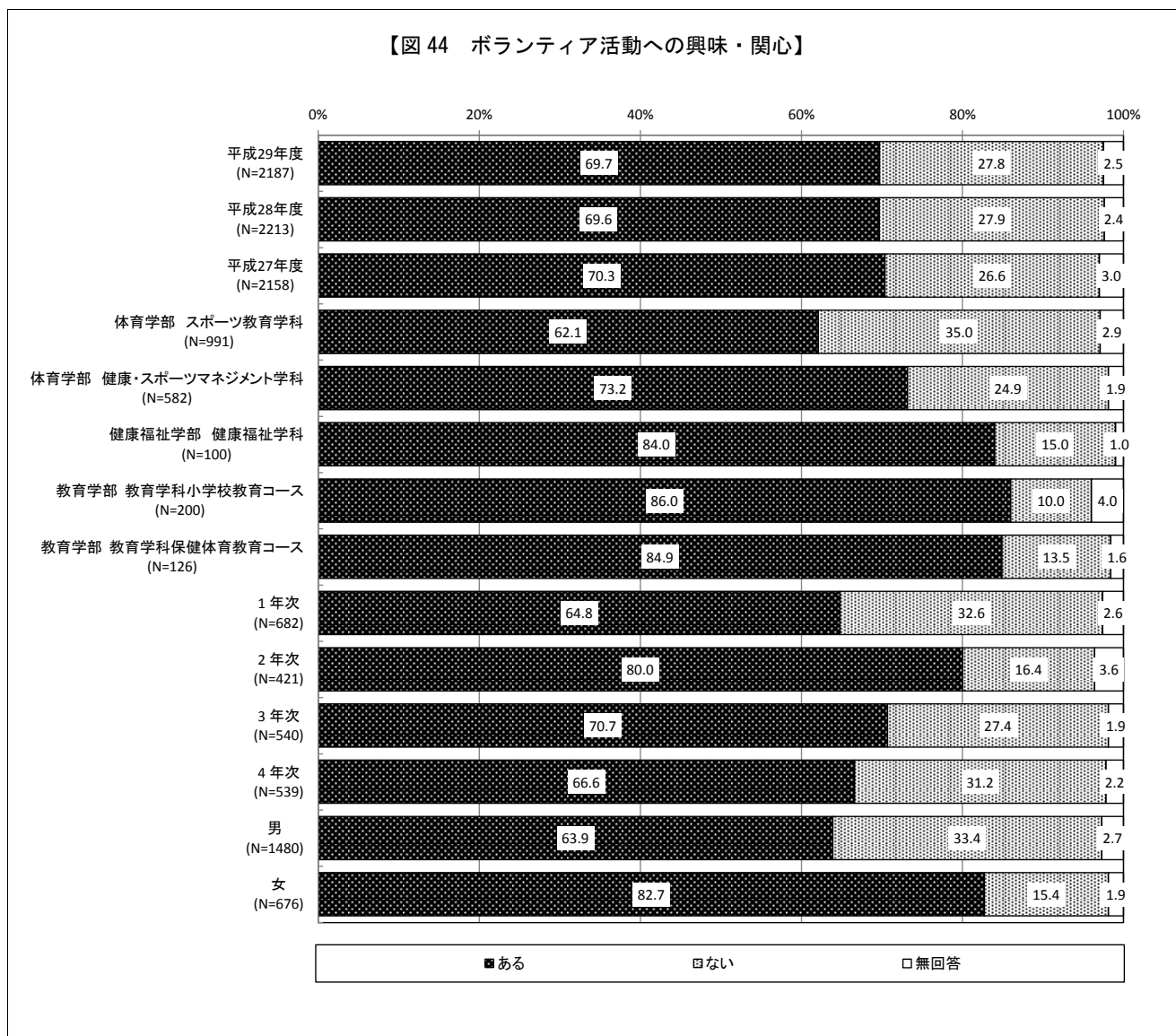
問44. ボランティア活動への興味・関心が「ある」と回答した学生は69.7%となっている。

所属学部・学科別でみると、興味・関心が「ある」と回答した教育学部教育学科小学校教育コースは86.0%と最も高く、一方で体育学部スポーツ教育学科では62.1%と最も低く、学部・学科で興味・関心度に差が見られた。

年次別でみると、興味・関心が「ある」は2年次が80.0%と最も高く、1年次は64.8%と他の年次と比べて最も低くなっている。

性別でみると、興味・関心が「ある」は男子学生が63.9%に対し、女子学生は82.7%と女子学生の方が多くなっている<図44>

■問44. ボランティア活動への興味・関心（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要（問44-1）】

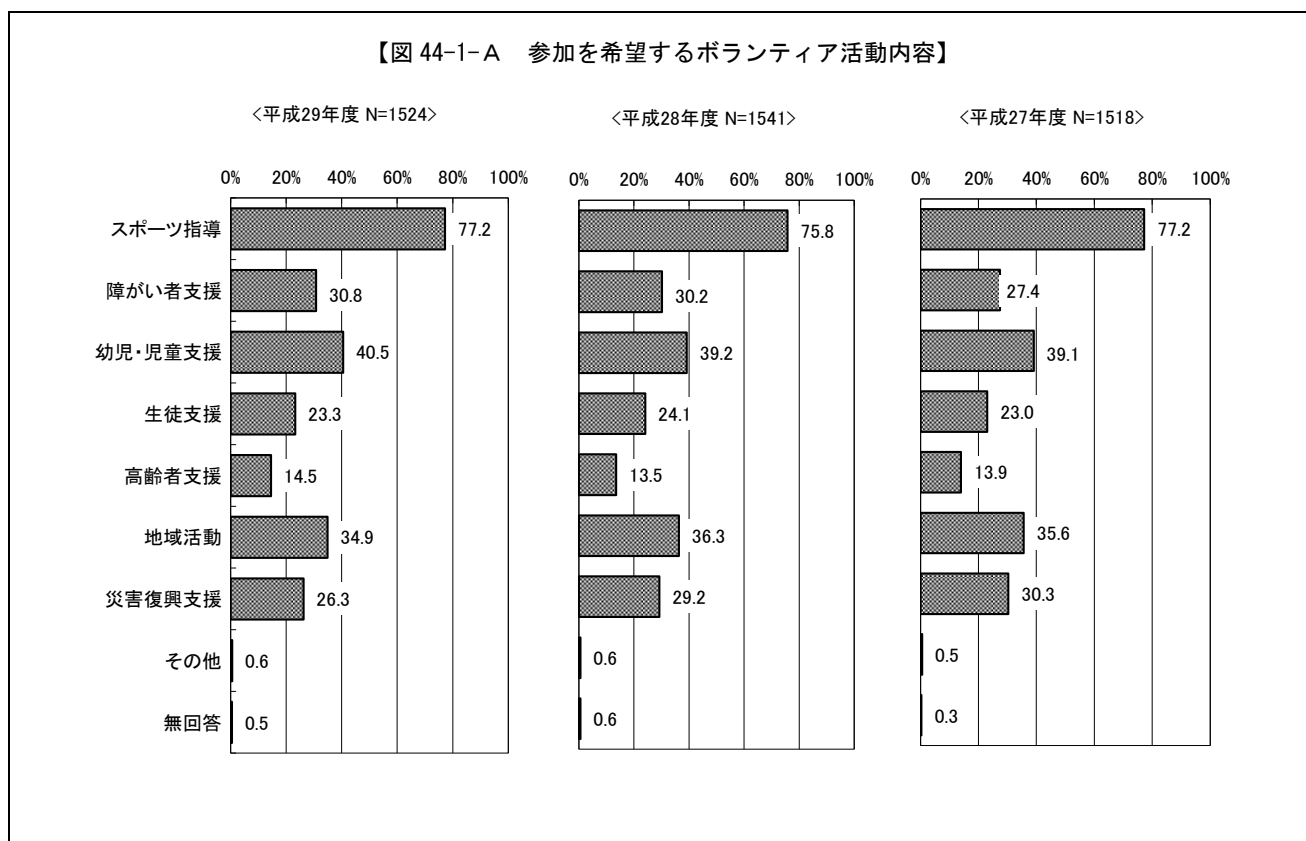
問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容としては、前回調査同様「スポーツ指導」が77.2%、「幼児・児童支援」が40.5%、「地域活動」が34.9%が上位にきている。＜図44-1-A＞

所属学部・学科別でみると、全ての学部・学科ともに「スポーツ指導」が最も参加希望が高くなっているが、各学生が専攻する学部・学科に準じたボランティア活動内容に希望が高くなっており、体育学部は「スポーツ指導」の希望が高く、健康福祉学部健康福祉学科では「障がい者支援」や「幼児・児童支援」の希望が高く、教育学部では「幼児・児童支援」が高くなっている。＜図44-1-B＞

年次別では、「スポーツ指導」が全ての年次で最も高くなっている。＜図44-1-C＞

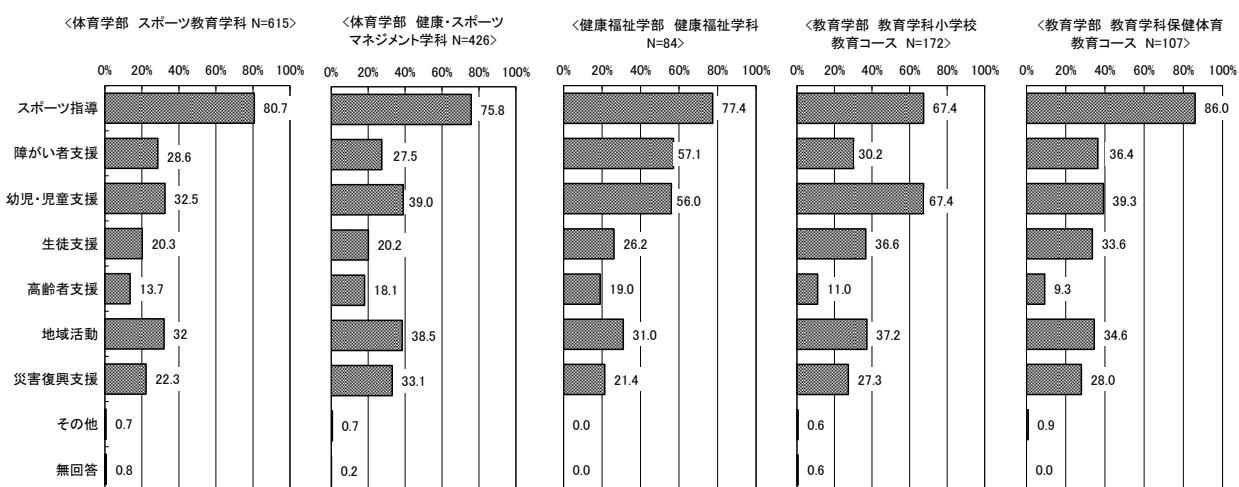
性別では、男子学生、女子学生ともに「スポーツ指導」の参加希望が最も多く、男子学生は次いで、「地域活動」が35.7%、女子学生は「幼児・児童支援」が56.0%となっている。＜図44-1-D＞

■問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容（過年度調査）

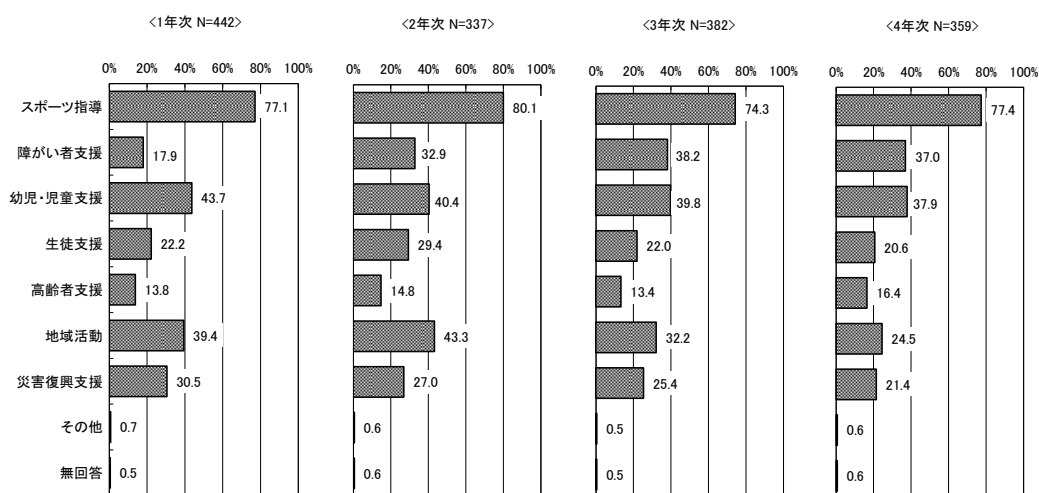


■問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容（学科別・年次別・性別）

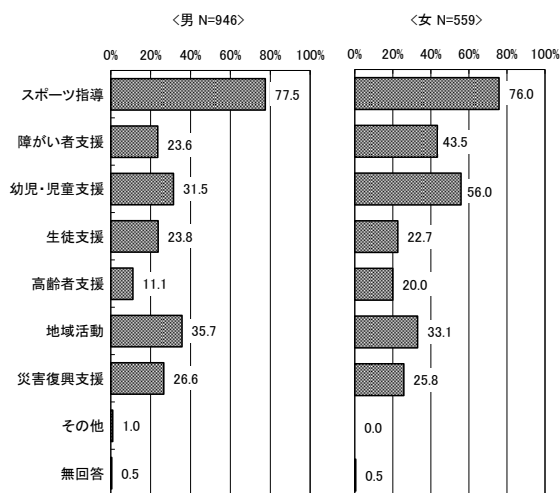
【図44-1-B 参加を希望するボランティア活動内容（学科別）】



【図44-1-C 参加を希望するボランティア活動内容（年次別）】



【図44-1-D 参加を希望するボランティア活動内容（性別）】



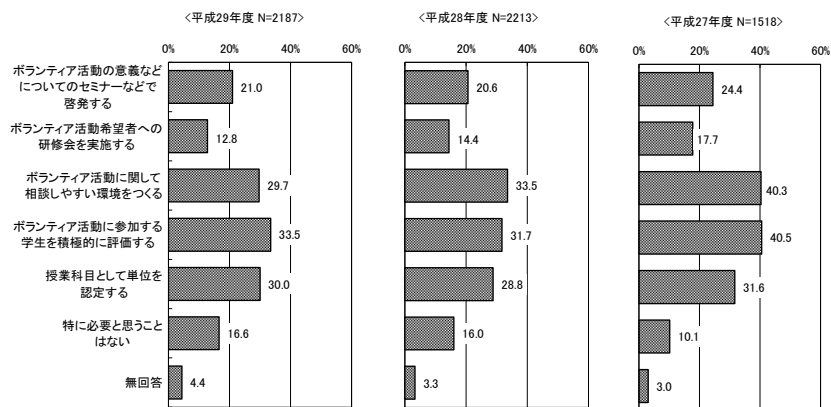
【結果概要（問45）】

問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて必要なことは「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が33.5%で最も多く、次に「授業科目として単位を認定する」が30.0%となっている。＜図45-A＞

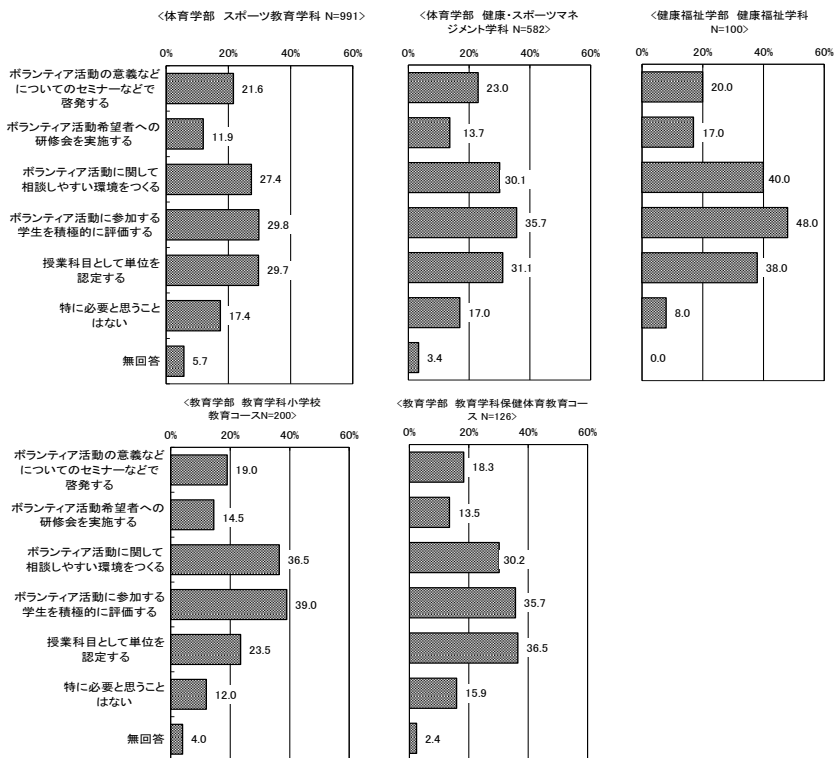
所属学部・学科別でみると、健康福祉学部健康福祉学科の「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」48.0%と最も多くなっている。＜図45-B＞

■問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（過年度調査・学科別）

【図45-A ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて】



【図45-B ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（学科別）】

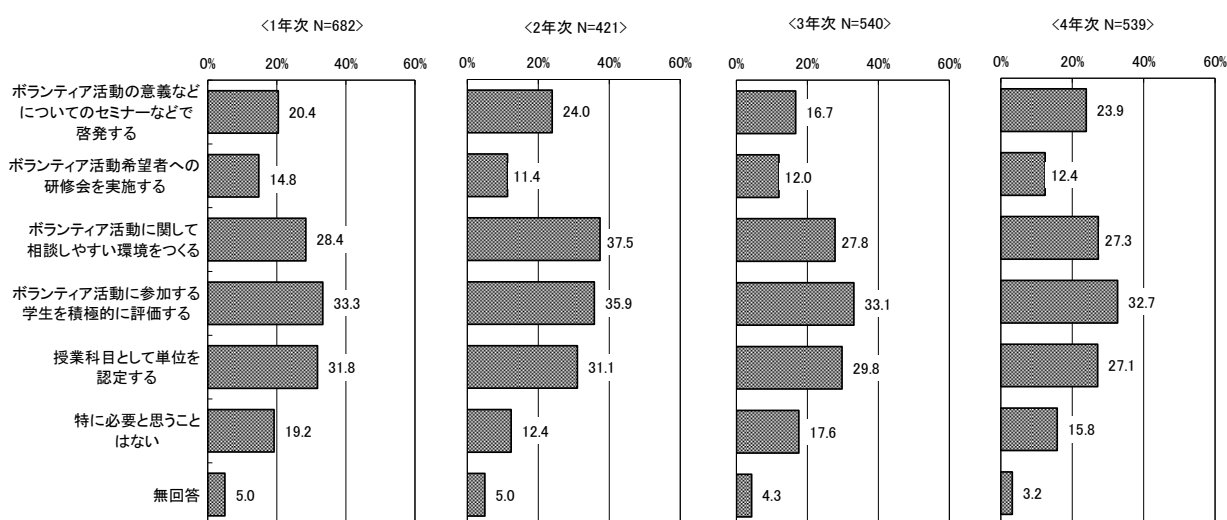


問45. 年次別では、2年次以外は「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が最も多くなっているが、2年次は「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が最も多くなっている。〈図45-C〉

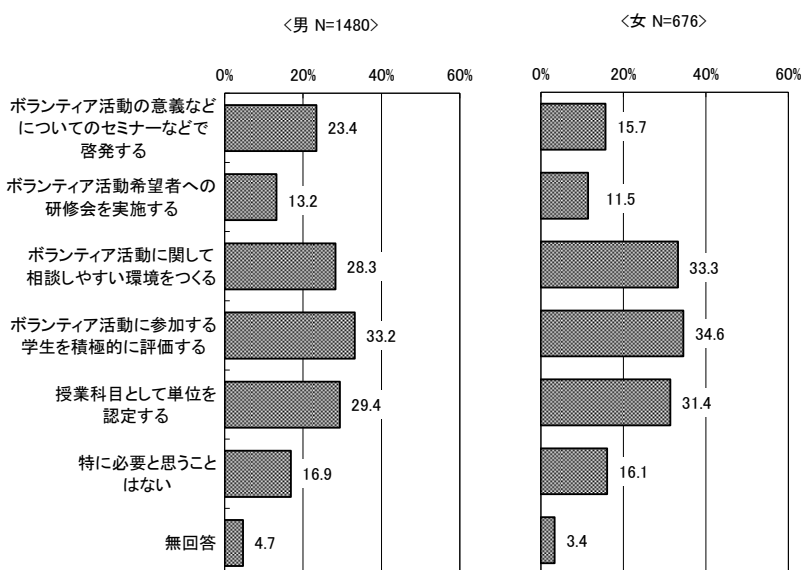
性別でみると、男子学生、女子学生ともに「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が最も多くなっており、男子学生は33.2%、女子学生は34.6%となっている。〈図45-D〉

■問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（年次別・性別）

【図45-C ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（年次別）】



【図45-D ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（性別）】

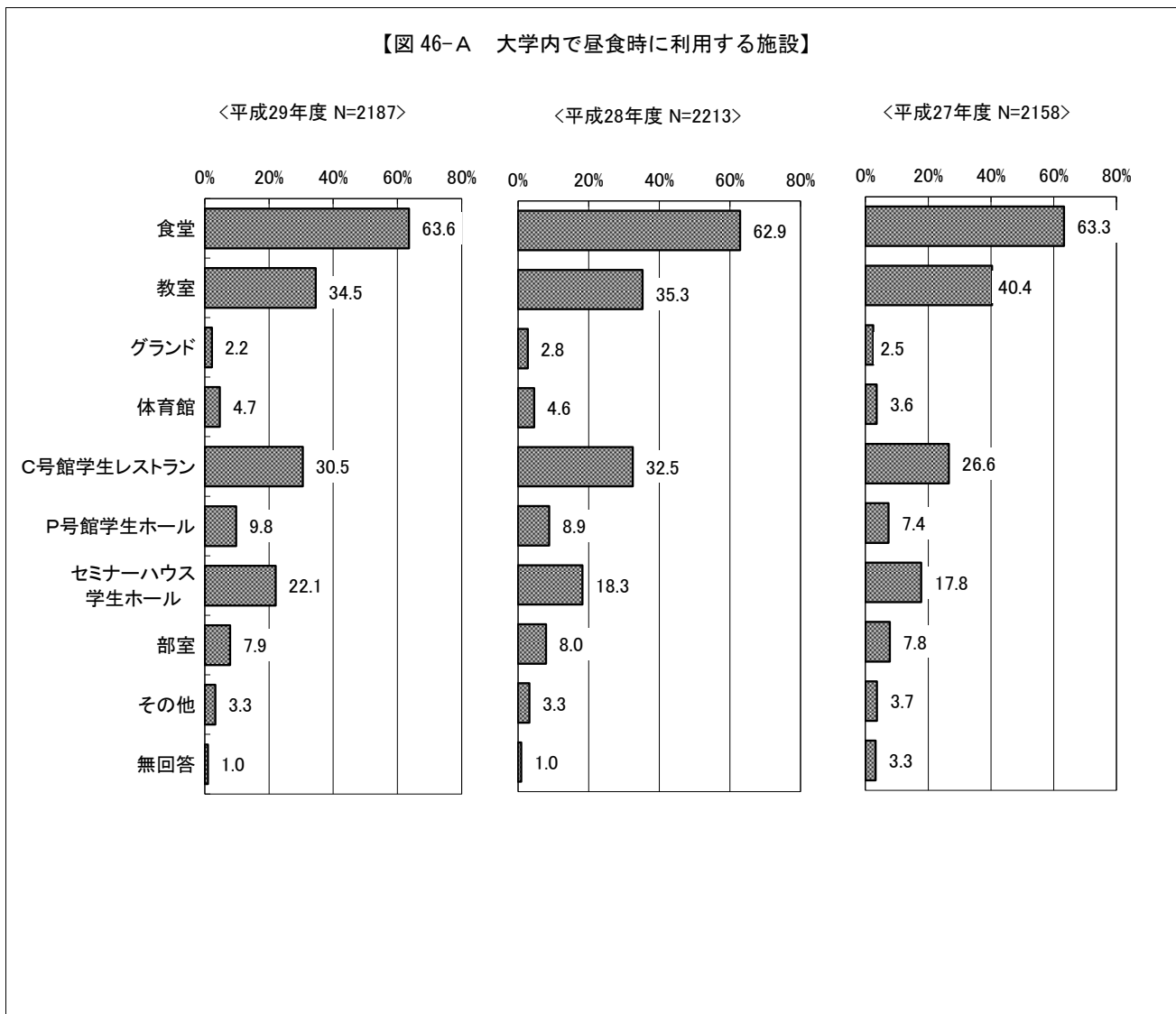


10. 大学施設等について

【結果概要（問46）】

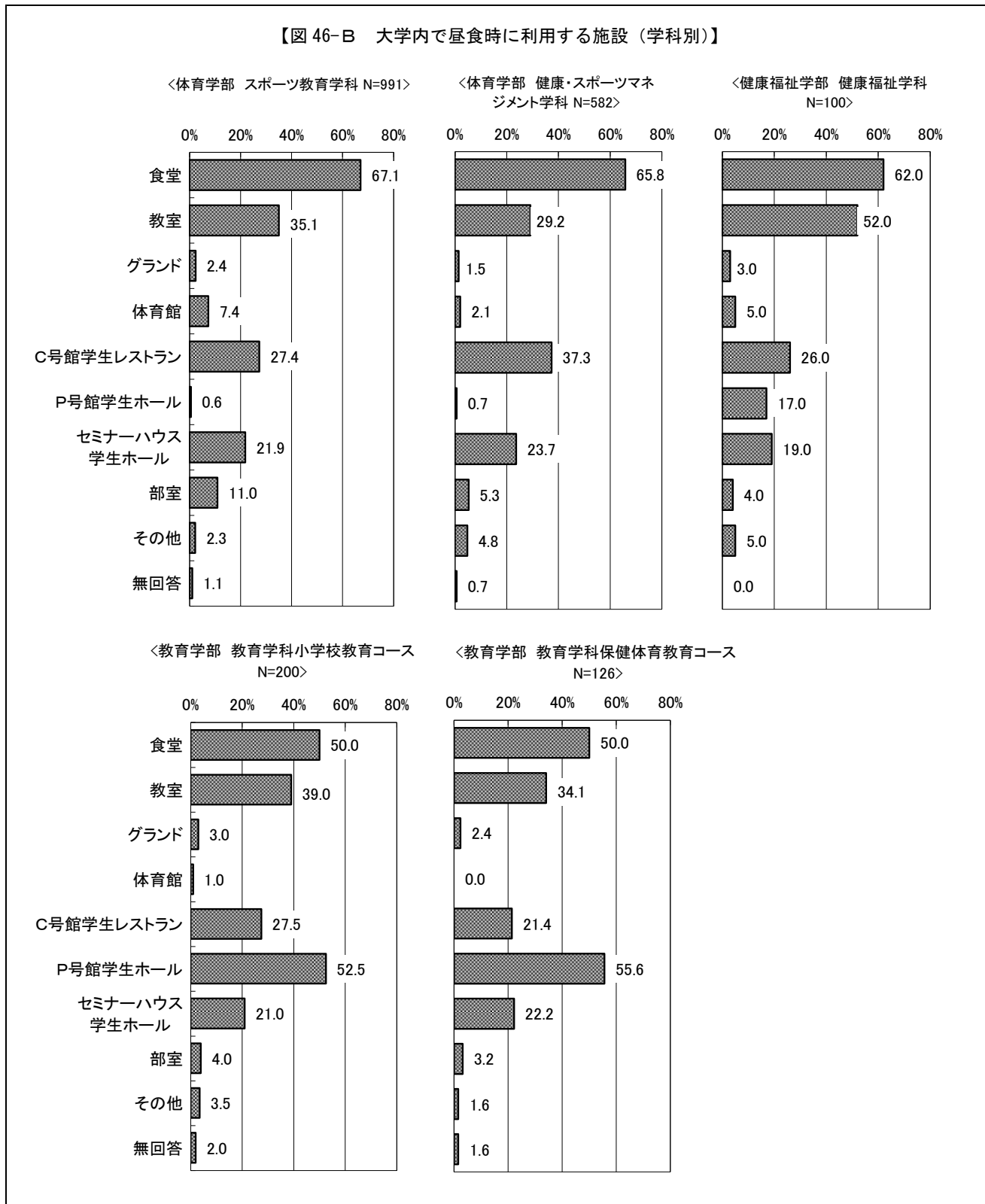
問46. 大学内で昼食時に利用する施設は、「食堂」が63.6%と最も多く、次に多いのは「教室」が34.5%、「C号館学生レストラン」が30.5%となっている。＜図46-A＞

■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（過年度調査）



問46. 所属学部・学科別でみると、体育学部・健康福祉学部の学生は「食堂」の利用が最も多くなっているが、教育学部では「P号館学生ホール」の利用が多くなっている。＜図46-B＞

■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（学科別）

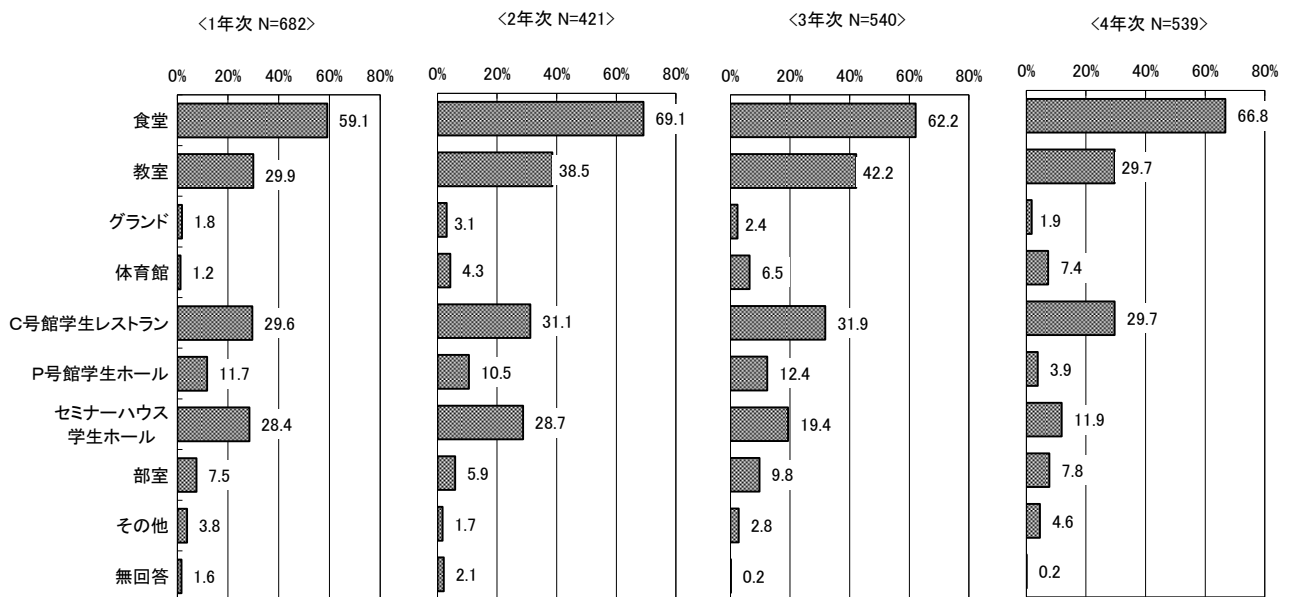


問46. 年次別では、各年次とも「食堂」が最も多く2年次は約7割を占めている。「C号館学生レストラン」は3年次が31.9%と各年次の中で最も多い。<図46-C>

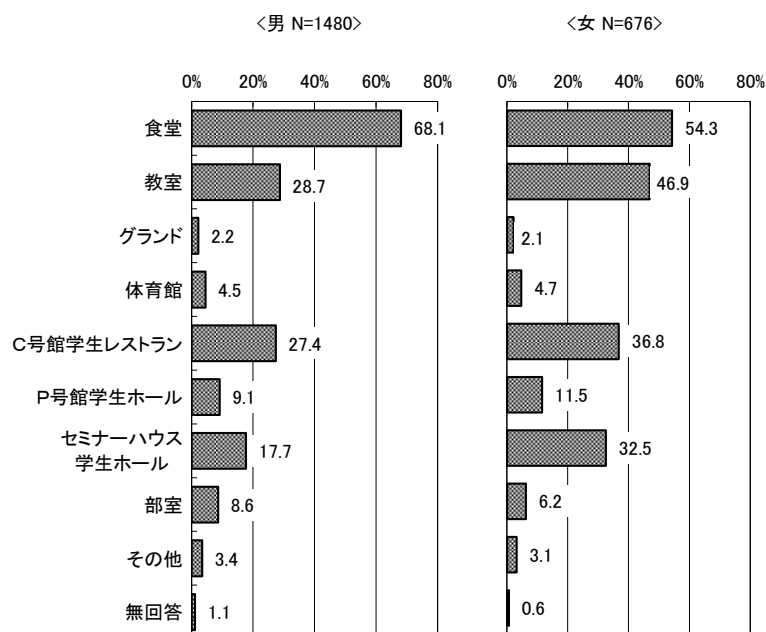
性別でみると、「食堂」は、女子学生の54.3%より男子学生の68.1%の方が多いが、「教室」では男子学生の28.7%より女子学生の46.9%の方が18.2ポイント多くなっている。<図46-D>

■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（年次別・性別）

【図46-C 大学内で昼食時に利用する施設（年次別）】



【図46-D 大学内で昼食時に利用する施設（性別）】



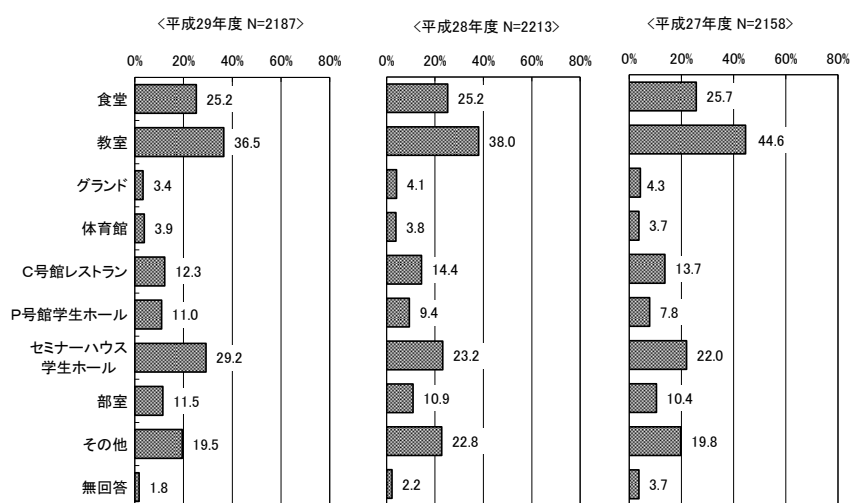
【結果概要（問47）】

問47. 大学内で空き時間に利用する施設としては、「教室」が36.5%で最も多く、次に「セミナーハウス学生ホール」が29.2%、そして「食堂」が25.2%となっている。「その他」の施設としては「図書館」等が挙げられている。＜図47-A＞

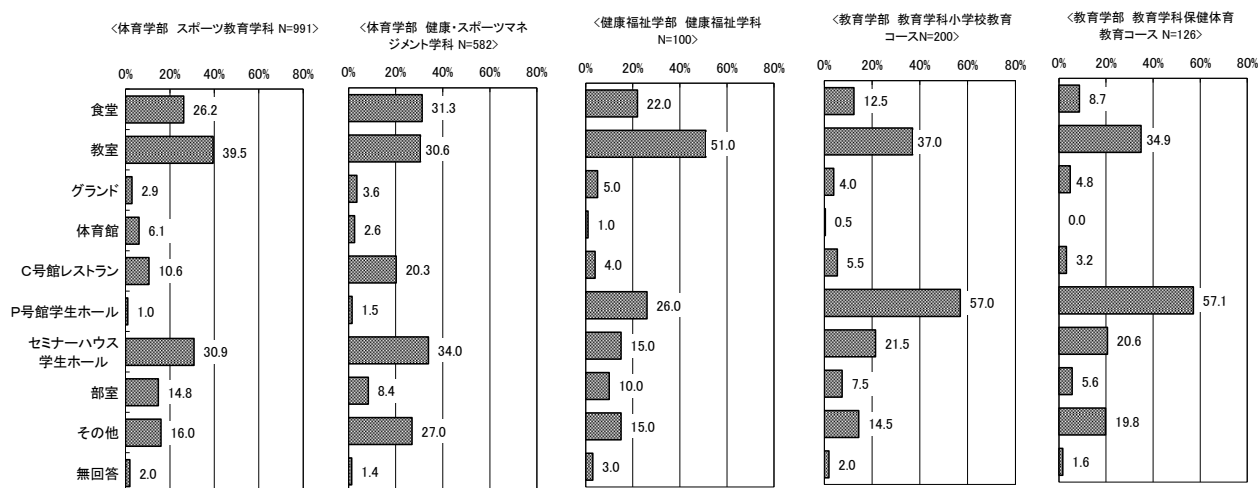
所属学部・学科別では、教育学部では「P号館学生ホール」が半数以上で他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図47-B＞

■問47. 大学内で空き時間に利用する施設（過年度調査・学科別）

【図47-A 大学内で空き時間に利用する施設】



【図47-B 大学内で空き時間に利用する施設（学科別）】

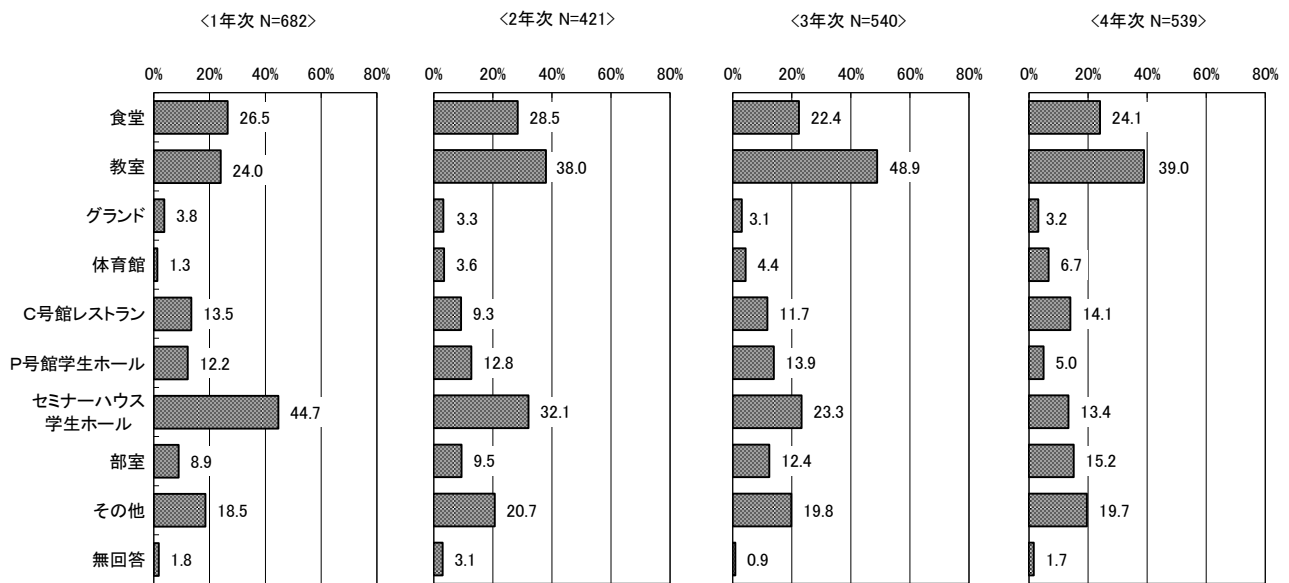


問47. 年次別で見ると、1年次は「セミナーハウス学生ホール」が最も高く、2年次以上では「教室」の利用が最も高くなっている。〈図47-C〉

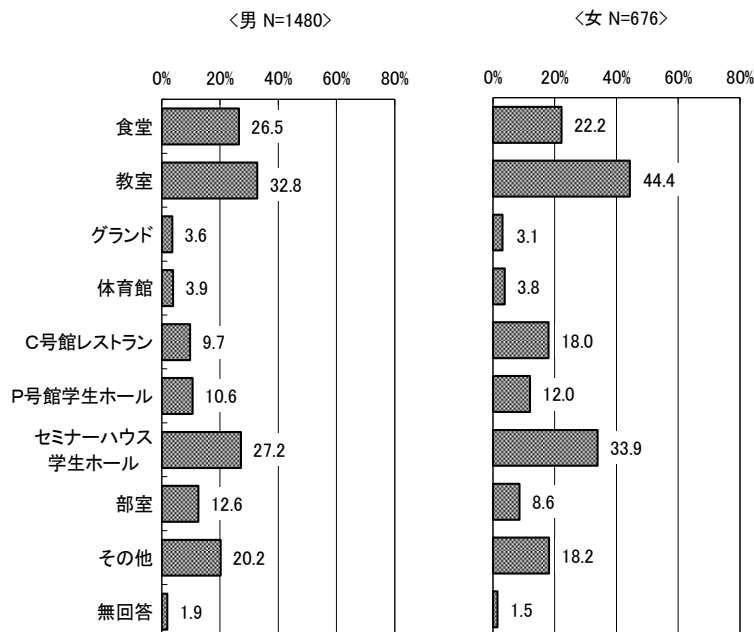
性別で見ると、「C号館レストラン」が男子学生は9.7%、女子学生は18.0%と女子学生の方が多く、また、「教室」も男子学生32.8%に対して女子学生44.4%と女子学生の方が多くなっている。〈図47-D〉

■問47. 大学内で空き時間に利用する施設（年次別・性別）

【図47-C 大学内で空き時間に利用する施設（年次別）】



【図47-D 大学内で空き時間に利用する施設（性別）】



【結果概要（問48）】

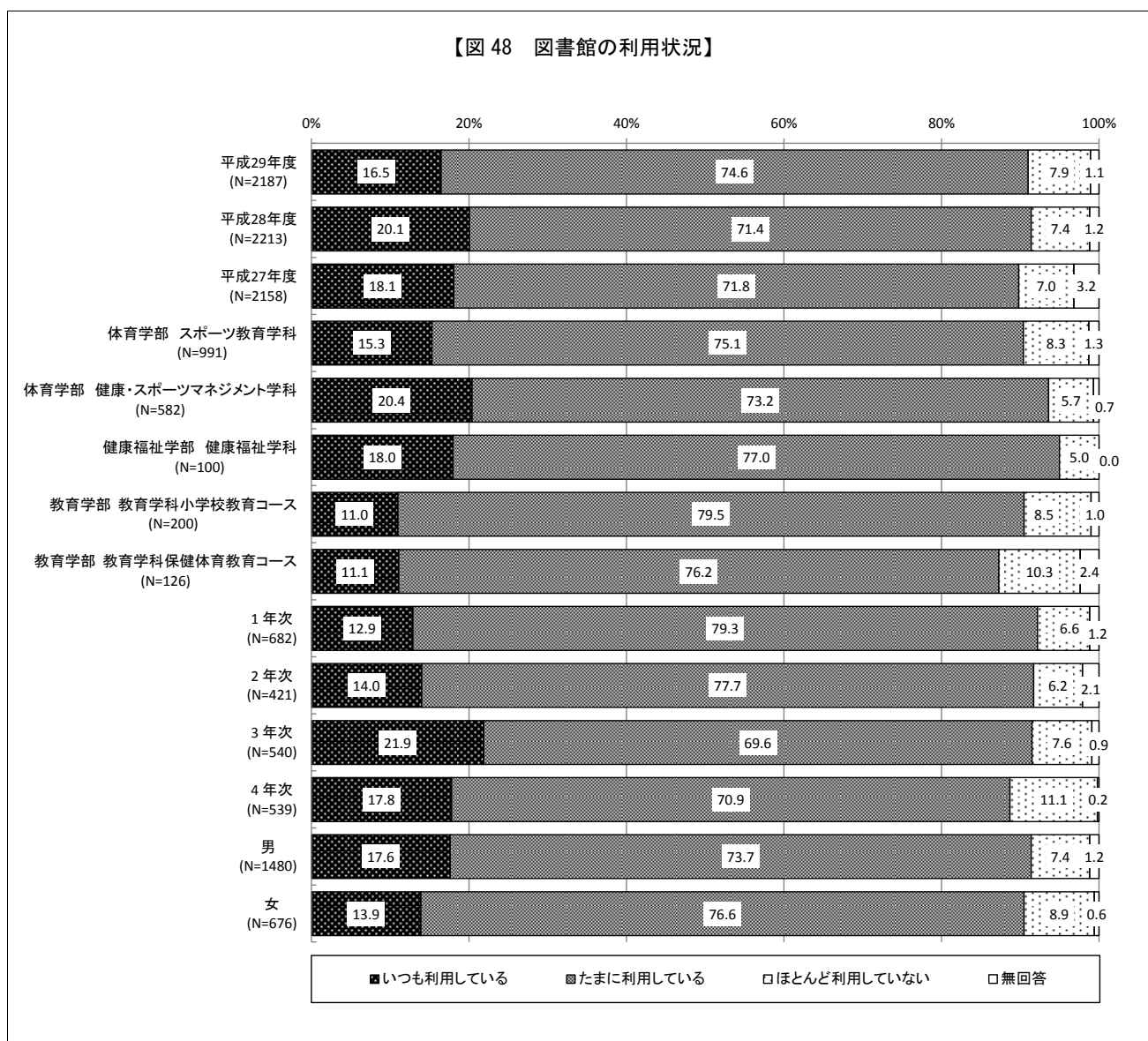
問48. 図書館の利用状況としては、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせると91.1%（16.5%+74.6%）の学生が利用している。

所属学部・学科別では、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせた図書館利用は、割合の高い順に健康福祉学部健康福祉学科が95.0%（18.0%+77.0%）、体育学部健康・スポーツマネジメント学科が93.6%（20.4%+73.2%）、教育学部教育学科小学校教育コースが90.5%（11.0%+79.5%）、体育学部スポーツ教育学科が90.4%（15.3%+75.1%）、教育学部教育学科保健体育教育コースが87.3%（11.1%+76.2%）となっている。

年次別でみると、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせた図書館利用の割合は1年次が92.2%（12.9%+79.3%）で最も高くなっている。

性別では、「いつも利用している」は男子学生が17.6%、女子学生が13.9%となっている。< 図48 >

■問48. 図書館の利用状況（過年度調査・学科別・年次別・性別）

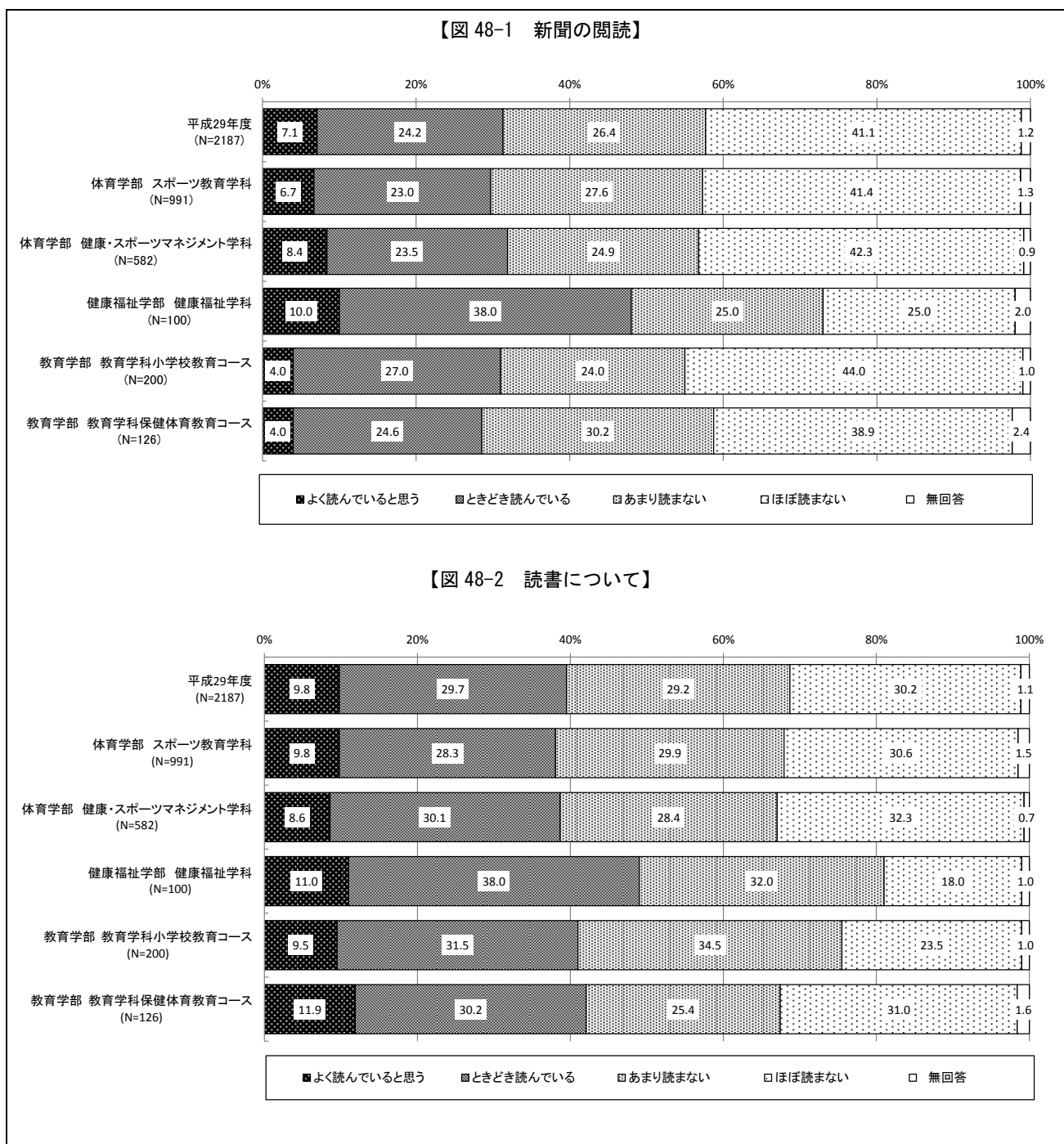


【結果概要（問48-1・48-2）】

問48-1. 新聞の閲読としては、「ほぼ読まない」が41.1%で最も多く、次に「あまり読まない」が26.4%となっている。「よく読んでいると思う」が7.1%と「ときどき読んでいる」が24.2%の「読んでいる」は、31.3%となっている。＜図48-1＞

問48-2. 読書については、「ほぼ読まない」が30.2%で最も多く、次に「ときどき読んでいる」が29.7%となっている。「よく読んでいると思う」が9.8%と「ときどき読んでいる」が29.7%の「読んでいる」は、39.5%と約4割となっている。＜図48-2＞

■問48-1 新聞の利用状況（学科別） ■問48-2 読書について（学科別）



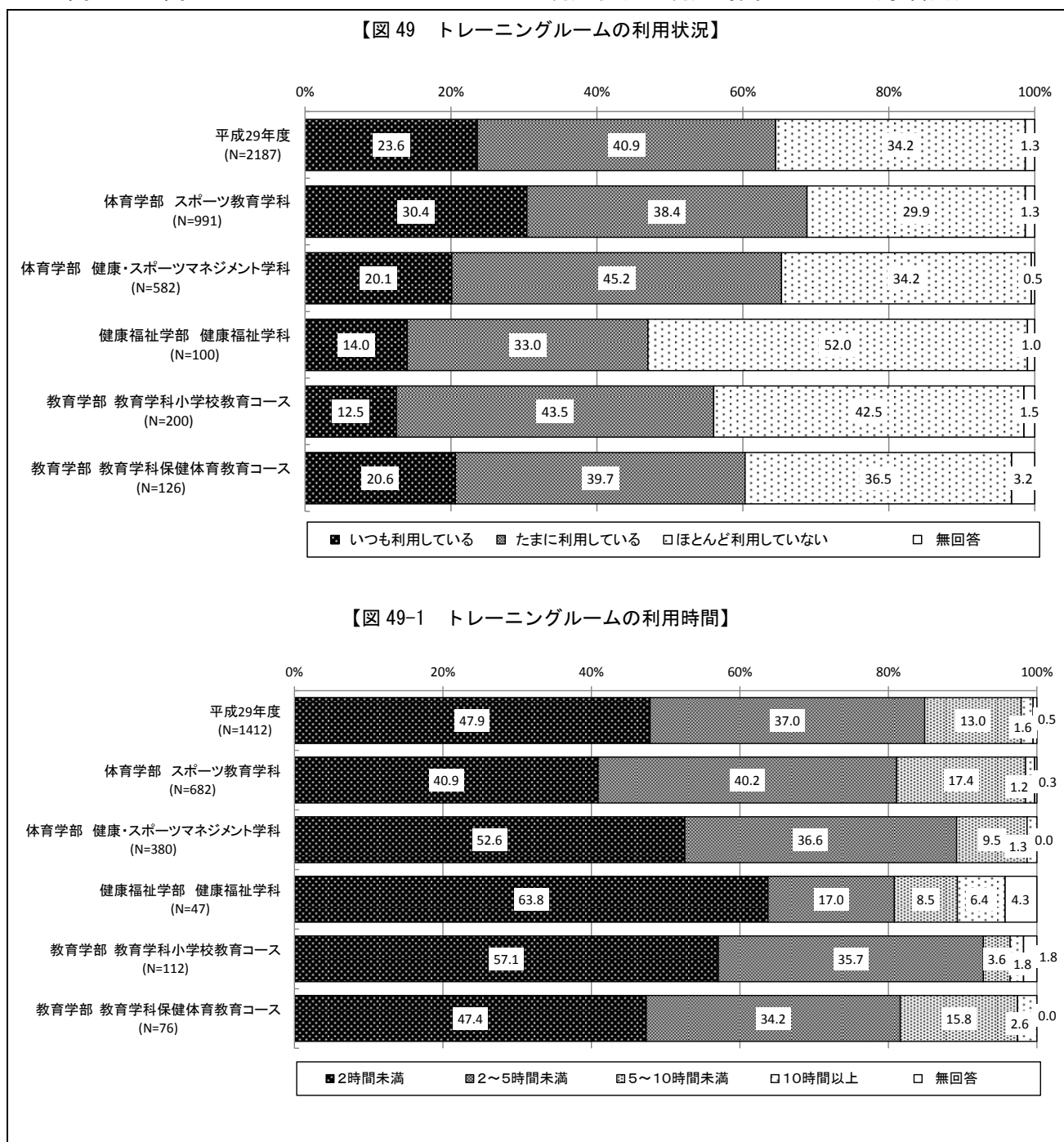
【結果概要（問49・49-1）】

問49. トレーニングルームの利用については、「たまに利用している」が40.9%で最も多く、次に「ほとんど利用していない」が34.2%となっている。

所属学部・学科別でみると、「いつも利用している」が体育学部スポーツ教育学科は3割を超えている。<図49>

問49-1. トレーニングルームの利用時間については、「2時間未満」が47.9%と最も多く、次に「2～5時間未満」が37.0%となっている。<図49-1>

■問49・問49-1 トレーニングルームの利用状況・利用時間について（学科別）



【結果概要（問50）】

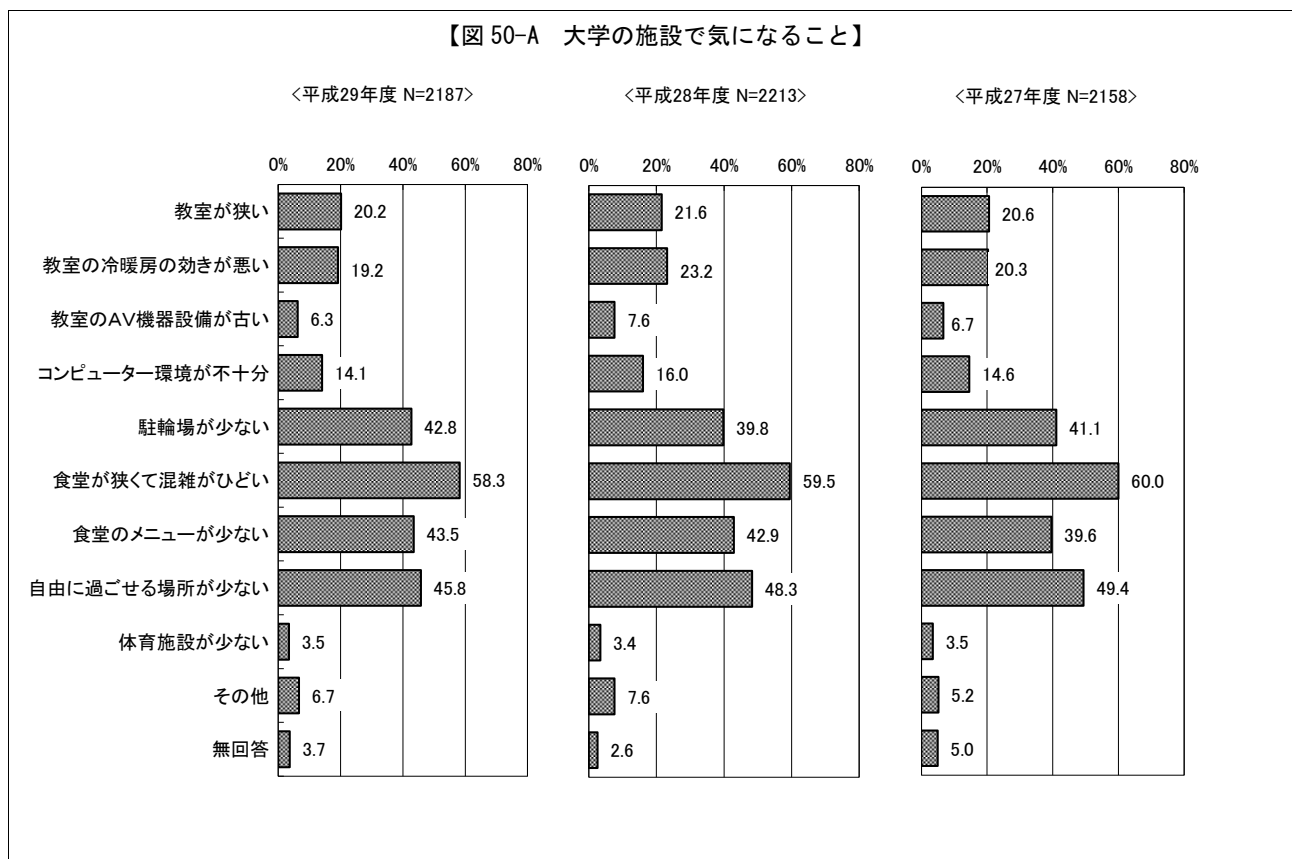
問50. 大学の施設で気になることは、「食堂が狭くて混雑がひどい」が58.3%と最も多く約6割の学生が回答している。次に「自由に過ごせる場所が少ない」が45.8%、「食堂のメニューが少ない」が43.5%、「駐輪場が少ない」が42.8%となっている。前回調査と比べると「駐輪場が少ない」については3.0ポイント増加している。＜図50-A＞

所属学部・学科では、全ての学部・学科ともに「食堂が狭くて混雑がひどい」が最も多くなっている。体育学部の「教室が狭い」は他の学部・学科と比べて高くなっている。＜図50-B＞

年次別でみると、「食堂のメニューが少ない」は、1年次では34.2%に対し4年次では50.6%と年次が上がるにつれ割合が高くなっている。＜図50-C＞

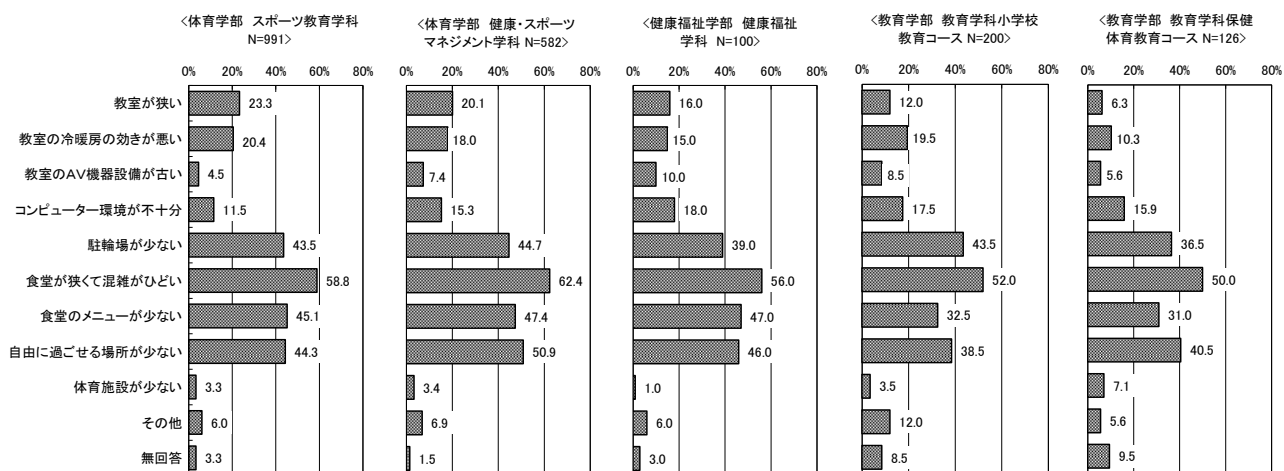
性別でみると、男女とも「気になる」と回答した上位4項目（「食堂が狭くて混雑がひどい」「食堂のメニューが少ない」「駐輪場が少ない」「自由に過ごせる場所が少ない」）は同じとなっている。＜図50-D＞

■問50. 大学の施設で気になること（過年度調査）

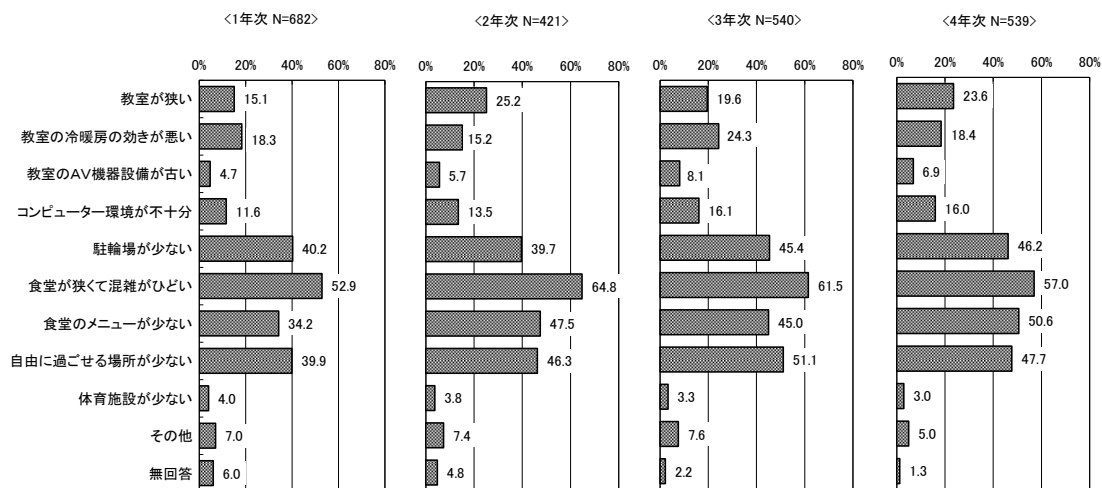


■問50. 大学の施設で気になること（学科別・年次別・性別）

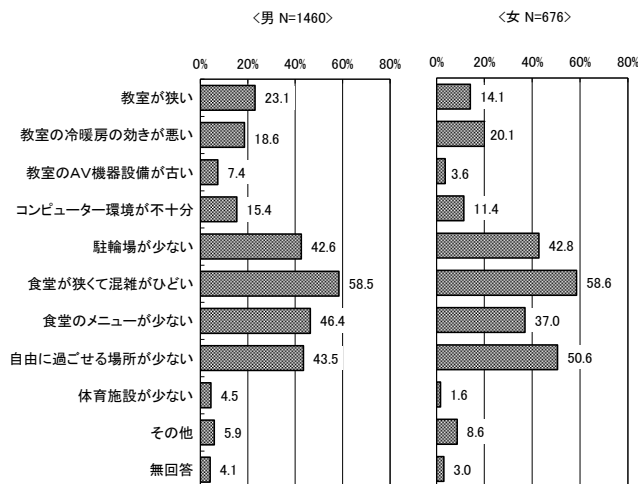
【図 50-B 大学の施設で気になること（学科別）】



【図 50-C 大学の施設で気になること（年次別）】



【図 50-D 大学の施設で気になること（性別）】



【結果概要（問51）】

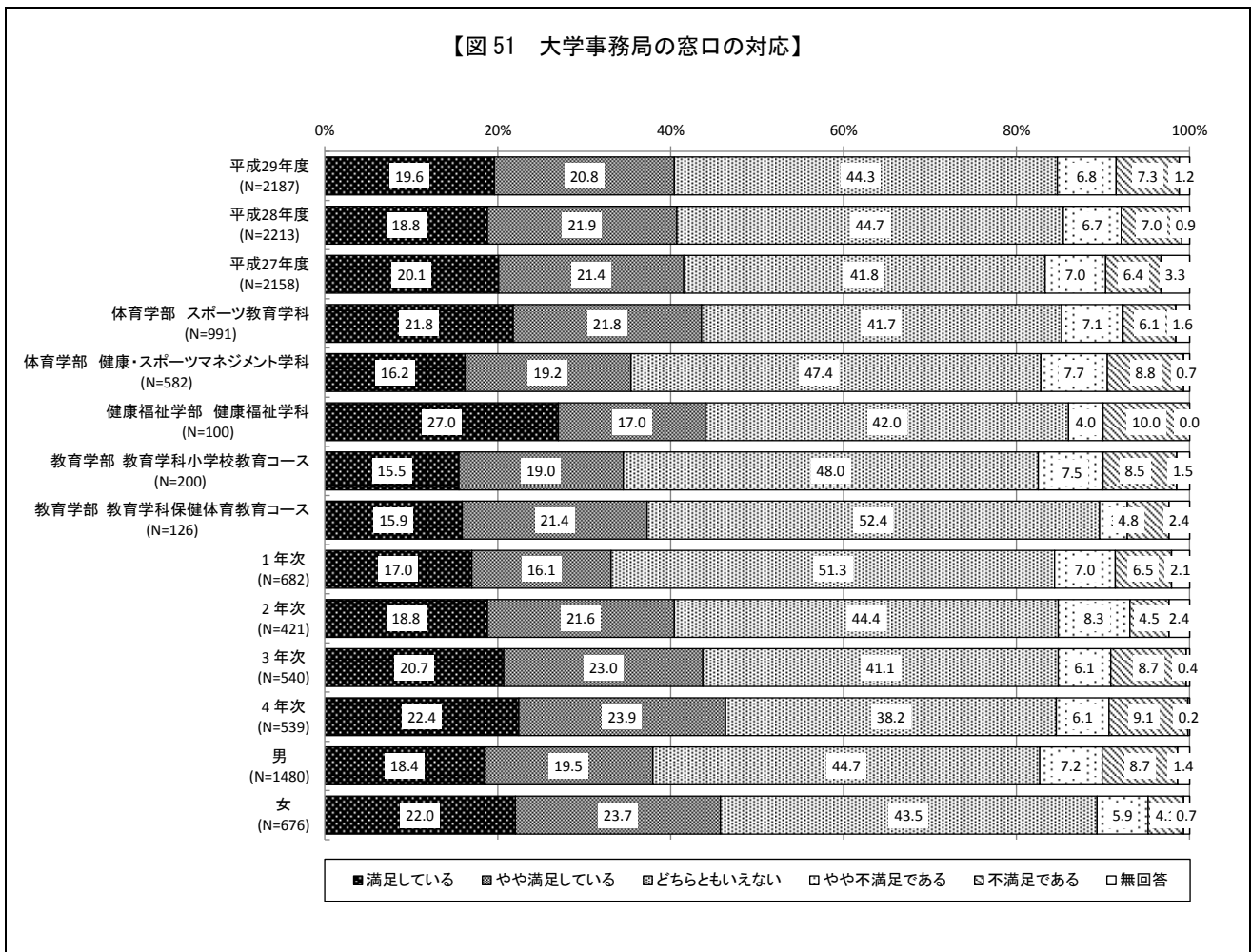
問51. 大学事務局の窓口の対応に対して「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」は40.4%、「不満足である」と「やや不満足である」を合わせた「不満足」は14.1%と「満足」が上回っている。

所属学部・学科別で見ると、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は高い順に健康福祉学部健康福祉学科が44.0%と最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科が43.6%、教育学部教育学科保健体育教育コースが37.3%、体育学部健康・スポーツマネジメント学科が35.4%、教育学部教育学科小学校教育コースが34.5%となっている。

年次別では、「満足」と回答した割合は4年次で46.3%と最も高くなっている。

性別では、「満足」と回答した男子学生が37.9%に対して女子学生が45.7%と女子学生の方が高くなっている。＜図51＞

■問51. 大学事務局の窓口の対応（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要（問52）】

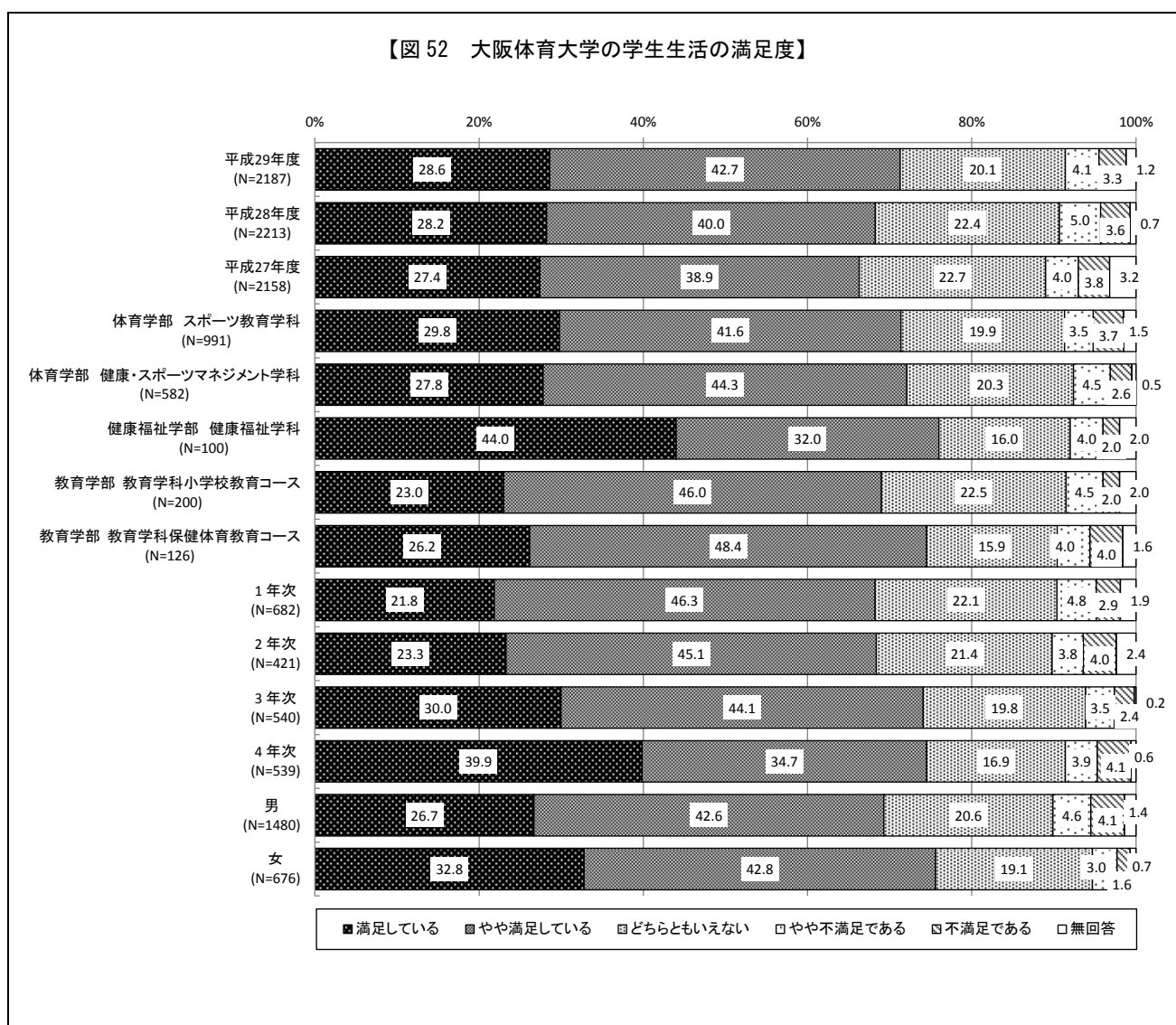
問52. 大学での学生生活の満足度としては、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」は71.3%、「不満足である」と「やや不満足である」を合わせた「不満足」は7.4%と「満足」が上回っている。前回調査と比べると、「満足」は3.1ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「不満足」は各学部・学科とも約1割となっている。

年次別では、「満足」は4年次で74.6%と最も高く、一方で1年次が68.1%と最も低くなっている。

性別では、「満足」が男子学生69.3%に対して女子学生が75.6%と女子学生の方が高くなっている。＜図52＞

■問52. 大阪体育大学の学生生活の満足度（過年度調査・学科別・年次別・性別）



11. 大学への意見・要望

大学への意見・要望の記入数は320人、総数524件でした。

主な項目としては、「施設・設備」関係が302件、「学生生活」関係128件、「授業・教育」関係が59件、「その他」が35件となっており、「施設・設備」関係の意見・要望が最も多くなっています。以下に主な内容を記載します。

□「施設・設備」関係 302件

「施設・設備」関係で最も意見・要望が多かったのは、「食堂」に関する意見が118件と最も多くなっています。その中で「食堂メニューの改善」が48件と最も多く、次に「食堂が狭い」が30件となっています。ほかには「食堂施設の改善」、「食堂の値段を安くしてほしい」、「食堂を増やしてほしい」などの運営や施設改善に関しての要望が多く寄せられています。

次に多かったのが「体育施設」に関する意見が44件で、そのうちロッカールームに関する意見は19件と多く、「ロッカーが汚い」や「ロッカーの入口が狭い」などのロッカー施設の改善・拡大の要望が多く出ています。次に「駐車場・駐輪場」に関する意見が37件で「駐輪場が狭い」や「駐輪場を増やしてほしい」、「屋根を設置してほしい」といった駐車場、駐輪場の改善を望む声が出ています。

また、設備に関して「Wi-Fiが繋がりにくい」といったWi-Fi環境の改善・要望や、「パソコンを増やしてほしい」などの設備増設に関する意見がありました。

□「学生生活」関係 128件

「学生生活」関係で最も多かったのは、「教職員の対応」への意見・要望が35件でした。「対応が悪い」、「学生を見下している」、「愛想が悪い」、「舌打ちをされた」などの否定的な意見が寄せられました。事務局としてこれらの意見をしっかりと受け止める必要があると思われます。

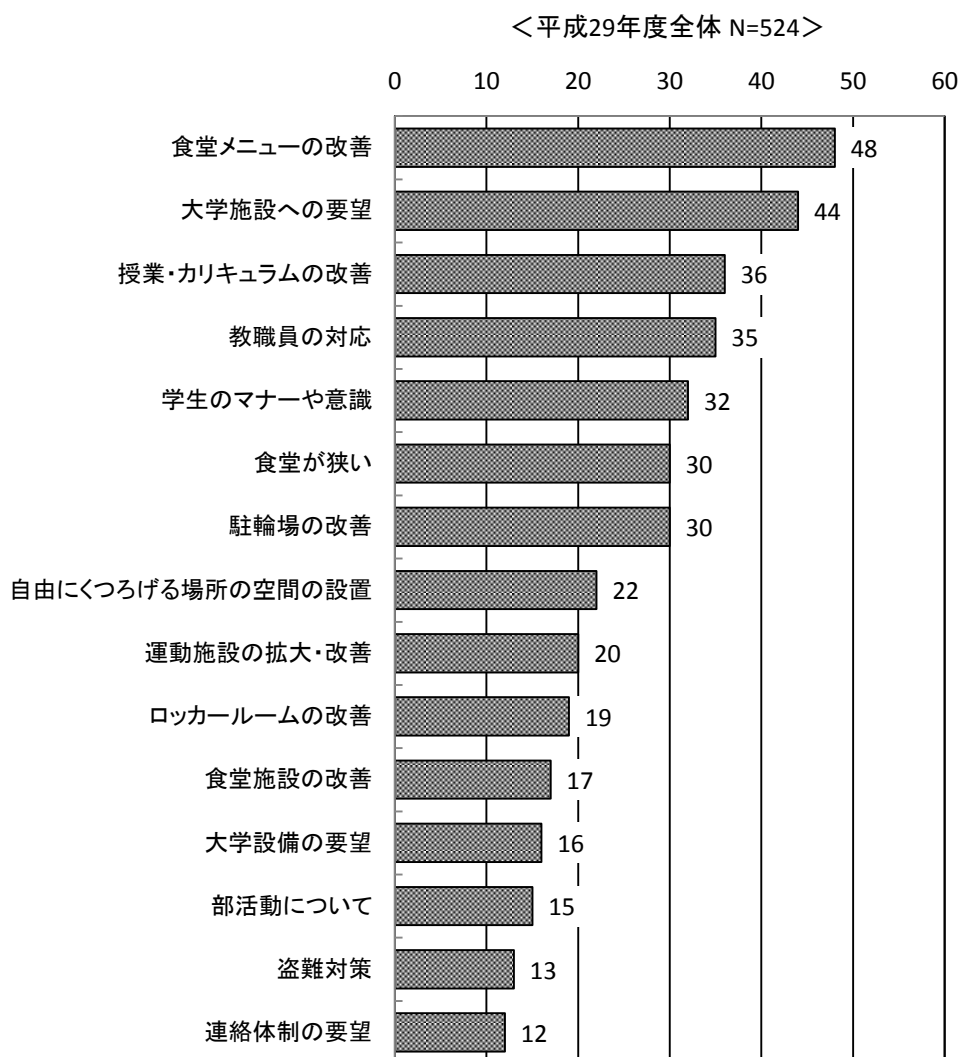
また次に多かったのが「学生のマナーや意識」が32件で、「駐輪場での置き方が悪い」、「バイクの交通マナー」、「喫煙所の外で喫煙をしている」、「私語がうるさい」などの意見が出ており学生の意識の向上を求められる結果となりました。次に多い「盗難対策」は13件で、「ロッカーや駐輪場に防犯カメラを設置してほしい」、「盗難が多いので対策を」といったセキュリティについての要望意見が出ています。

その他には、「休講メールの連絡を早くしてほしい」、「スクールバスの運行」、「バスの無料化」などの要望が寄せられていました。

□「授業・教育」関係 59件

「授業・教育」関係では、「カリキュラムを改善してほしい」という要望が36件と最も多く、具体的な内容は「公欠制度を作してほしい」、「実技科目のレベルが高すぎる」などの意見がありました。

【大学への意見・要望の主要な15項目】



Ⅲ 資料編

調査票

平成29年度学生生活実態調査ご協力をお願い

この調査は、本学学生の生活実態及び学生の意識を把握することにより、大学の運営の参考にし、より充実した学生生活の提供に資することを目的とし実施するものです。

ご回答いただいた内容は全て統計資料としてのみ活用し、内容や意見が個人のものとして取り扱われることはありませんので、ありのままできるだけ正確に回答して下さい。

平成29年11月

大阪体育大学

学生委員会

調査票の記入にあたって

1. アンケート調査票に鉛筆またはシャープペンシルで直接記入してください。
(お名前の記入は必要ありません)
2. 質問文で(複数回答可)と記載がある質問に関しては、あてはまる選択肢全てに○印をつけてください。(複数回答可)と記載がない質問に関しては、選択肢の中から最もあてはまるもの1つだけに○印をつけてください。

1. 基本項目

F1 次のそれぞれの項目について、あてはまるものに○印をつけてください。

①所属学部・学科	1. 体育学部 スポーツ教育学科 2. 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 3. 健康福祉学部 健康福祉学科 4. 教育学部 教育学科小学校教育コース 5. 教育学部 教育学科保健体育教育コース
----------	--

②年次	1. 1年次	2. 2年次	3. 3年次	4. 4年次
③性別	1. 男	2. 女		
④入学方法	1. AO入試	2. スポーツ特別AO入試	3. 推薦入試	
	4. 一般入試	5. 編入学入試		
⑤課外活動 (クラブ・同好会)	1. 参加している			
	2. 参加していない			
⑥居住形態	1. 自宅	2. 自宅外で一人生活 → 問1へ	3. 自宅外で共同生活 → 問1へ	
		↳ 問2へ		

2. 住居と暮らしについて

問1 上記⑥で「自宅外」と回答した方にお聞きします。家賃等(共益費等含む)はいくらですか。

1. 3万円未満	2. 3万円～5万円未満	3. 5万円～7万円未満
4. 7万円～9万円未満	5. 9万円以上	

問2 大学への通学方法はどれですか。

1. 電車+バス	2. 電車+バイク	3. 電車+自転車	4. 自動車
5. バイク	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他

問3 通学時間は、片道どれくらいですか。

1. 30分未満	2. 30分～60分未満	3. 60分～90分未満
4. 90分～120分未満	5. 120分以上	

問14 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間はどれくらいですか。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 0時間 | 2. 1時間未満 | 3. 1時間～6時間未満 |
| 4. 6時間～11時間未満 | 5. 11時間～16時間未満 | 6. 16時間以上 |

問15 学習支援室の利用についてお聞きします。

- | |
|------------------------------|
| 1. よく行って利用している |
| 2. たまに行って利用している |
| 3. 学習支援室があるのを知っているが利用したことはない |
| 4. 学習支援室があるのを知らない |

問16 通信機器を持っていますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|------------|---------|------------|
| 1. 携帯電話 | 2. スマートフォン | 3. パソコン | 4. タブレット端末 |
| 5. 持っていない | | | |

問17 大学でのパソコンの利用目的はどれですか。(複数回答可)

- | | | |
|-------------|----------------------------|-------------|
| 1. 授業・演習・実習 | 2. レポート・課題作成 | 3. Eメール |
| 4. 就職活動 | 5. クラブ・同好会の活動 | 6. ブログ・HP作成 |
| 7. ウェブページ閲覧 | 8. チケット予約・ショッピング・ネットオークション | |
| 9. その他 [| |] |

問18 大学でのパソコンの主な利用場所はどこですか。

- | | | |
|----------|---------------|--------|
| 1. 大学図書館 | 2. キャリア支援センター | 3. ゼミ室 |
| 4. その他 [| |] |

問19 大阪体育大学のGoogleポータルサイト(大学からの各種情報提供サイト)を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っており、毎日アクセスしている | 2. 名称は知っており、時々アクセスする |
| 3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない | |

問20 Gmailを利用していますか。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 大学とプライベートの両方で利用している | 2. 大学からの通信手段として利用している |
| 3. 公私ともにあまり利用していない | |

問21 Campusmateポータルサイト(休講情報や呼出し、セミナー情報等提供サイト)を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っており、毎日アクセスしている | 2. 名称は知っており、時々アクセスする |
| 3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない | |

問22 問19、問20、問21で「1」または「2」と回答した方のみ、利用している媒体をお答え下さい。(複数回答可)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 自宅のパソコン | 2. 大学のパソコン | 3. スマートフォン |
| 4. 携帯電話 | 5. タブレット端末 | |

4. 課外活動等について

問23 学内の課外活動に参加していますか。

- | | | |
|----------------|---|--------|
| 1. クラブに参加 | } | 問23-1へ |
| 2. 同好会・サークルに参加 | | |
| 3. 参加していたがやめた | } | 問23-2へ |
| 4. 当初から参加していない | | |

問23-1 1週間あたりの活動時間はどれくらいですか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 5時間未満 | 2. 5～10時間未満 | 3. 10～15時間未満 |
| 4. 15～20時間未満 | 5. 20時間以上 | |

問23-2 不参加の理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|-------------|-----------|
| 1. 練習・活動についていけない | 2. 人間関係 | 3. 経済的な負担 |
| 4. 時間的余裕がない | 5. 学業の妨げになる | 6. 面白くない |
| 7. 学外での活動に参加したい | | |
| 8. その他 [|] | |

問24 2年生以上の方にお聞きします。大学祭(両山祭)に参加していますか。

- | | | | |
|--------------|--------|--------------|----------|
| 1. 参加したことがある | → 問25へ | 2. 参加したことがない | → 問24-1へ |
|--------------|--------|--------------|----------|

問24-1 不参加の理由は何ですか。

- | | | |
|-------------|----------|-------------|
| 1. クラブ等で忙しい | 2. 興味がない | 3. 内容が面白くない |
| 4. その他 [] | | |

5. 健康等について

問25 朝食を摂っていますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ほとんど毎日摂る → 問25-1へ | 2. 週に2～3回摂る → 問25-1へ |
| 3. 摂らない → 問26へ | |

問25-1 朝食は主にどこで摂っていますか。

- | | | |
|------------|------------|---------------------------------|
| 1. 自宅または下宿 | 2. 大学の学生食堂 | 3. その他 [] |
|------------|------------|---------------------------------|

問26 三食の栄養摂取状況についてお答え下さい。(該当する物の数字をカッコ内に5つまで記入)

- | | | | |
|------------------|----------------------------------|--------|--------|
| 1. 主食(ご飯、麺類、パン等) | 2. 野菜 | 3. 肉類 | 4. 魚介類 |
| 5. 豆類(豆腐、納豆等) | 6. 卵 | 7. 海藻類 | 8. 乳製品 |
| 9. 果物 | 10. その他 [] | | |



- | | | | | | |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 朝食 ⇒ | () | () | () | () | () |
| 昼食 ⇒ | () | () | () | () | () |
| 夕食 ⇒ | () | () | () | () | () |

問27 食生活についてどう感じていますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 特に不満なし | 2. 食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない → 問27-1へ |
| 3. 食べたいものが食べられない | 4. 野菜が不足している |
| 5. 栄養が偏っている | 6. インスタントや加工食品が多い |
| 7. 何を食べたらいいか分からない | |

問27-1 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由は何ですか。

(複数回答可)

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 身近にない | 2. 時間的余裕がない | 3. 経済的余裕がない | 4. 作るのが面倒 |
|----------|-------------|-------------|-----------|

問28 本学が毎日実施している「100円朝食」について、お聞きします。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. ほぼ毎日利用している。 | 2. ときどき利用している。 |
| 3. たまに利用している。 | 4. 知っているが、利用したことがない。 |
| 5. 知らなかったなので、利用したことがない。 | |

問28-1 「100円朝食」について、感じたことはどれですか。(複数回答可)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 100円朝食は良い試みなので、今後も継続してほしい。 |
| 2. 100円朝食に和・洋の2種類のメニューが選べるのが良い。 |
| 3. 100円朝食の1日60食は少ないので、増やしてほしい。 |
| 4. 100円朝食には、あまり関心がない。 |
| 5. 100円朝食は意味がないので、やめた方がよい。 |

問29 タバコについてお聞きします。

- | | | | |
|-------------|----------|-----------|----------|
| 1. 以前から吸わない | → 問30へ | 2. 今は吸わない | → 問29-1へ |
| 3. 現在喫煙している | → 問29-1へ | | |

問29-1 喫煙はいつごろから始めましたか。(問29-2へ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 大学入学前から吸っている | 2. 大学入学後から吸い始めた |
|-----------------|-----------------|

問29-2 喫煙のきっかけは何でしたか。(問29-3へ)

- | | | |
|----------------|-----------|-----------|
| 1. カッコいいから | 2. 友人のすすめ | 3. 先輩のすすめ |
| 4. いつの間にか吸っていた | 5. その他 [|] |

問29-3 禁煙をしたことがありますか。(問29-4へ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問29-4 学内が全面禁煙(喫煙場所がなくなる)になった場合どうしますか。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 積極的に受け入れる | 2. 仕方なく受け入れる | 3. 受け入れできない |
|--------------|--------------|-------------|

問30 学内での喫煙・禁煙についてお聞きします。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 全面禁煙にすべき | 2. 喫煙場所での喫煙のみ認める |
|-------------|------------------|

6. 不安や悩みについて

問31 現在、悩みや課題はありますか。

- | | | |
|-------|---------|-----------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ほとんどない |
|-------|---------|-----------|

問32 悩みや課題の具体的内容は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|------------|-------------|---------|
| 1. クラブ活動 | 2. 学業 | 3. 就職・進路など | 4. 対人関係 |
| 5. 身体上の健康 | 6. 精神上的の健康 | 7. 家族の問題 | 8. 学生生活 |
| 9. 恋愛 | 10. ハラスメント | 11. 悩み・課題なし | |
| 12. その他 [| | |] |

問33 悩みは誰に相談しますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|---------------|-------------|----------|
| 1. 家族 | 2. 大学の友人 | 3. 高校までの友人 | 4. 大学の教員 |
| 5. 学生相談室 | 6. キャリア支援センター | 7. 教職支援センター | 8. 教学部 |
| 9. 身近にいない | 10. 誰にも相談しない | 11. その他 [|] |

問34 学生相談室についてお答え下さい。

- | |
|-----------------------|
| 1. 利用したことがある |
| 2. 存在は知っているが利用したことはない |
| 3. 存在を知らないので利用したことがない |

7. マナー等について

問35 マナーアップキャンペーンについてお答え下さい。

- | |
|------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. キャンペーンをしていることは知っている |
| 3. 全然知らない |

問35-1 マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえるのを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問36 あなたが悪いと思う学生のマナーをお答え下さい。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| 1. 授業中の私語 | 2. 授業中の携帯電話 | 3. 教室内での飲食 |
| 4. ゴミの捨て方 | 5. 食堂でのマナー | 6. 通学時のバイク等の交通マナー |
| 7.ロッカーの整理・整頓 | 8. その他 [|] |

問37 あなたは学内で何らかの被害にあったことがありますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. かばん、服、靴などの盗難被害 | 2. 財布・現金等の盗難被害 |
| 3. 自動車・バイク・自転車の盗難被害 | 4. 痴漢・のぞき等被害 |
| 5. 暴行・傷害被害 | 6. ストーカー被害 |
| 7. 霊感、マルチなどの悪徳商法の被害 | 8. 新興宗教などへの強引な勧誘被害 |
| 9. いじめ被害 | 10. その他被害 [|
| 11. 被害にあったことはない |] |

8. 進路と就職について**問38 あなたの進路についてお答え下さい。**

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| 1. 進学する | 2. 就職する | 3. まだ決めていない |
| 4. その他 [| |] |

問39 あなたの進路を考える上での情報の入手手段は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|---------------|--------------------------|------------|---------------|
| 1. 指導教員(ゼミ) | 2. クラブ指導教職員 | 3. 先輩・知人 | |
| 4. 就職情報誌・マスコミ | 5. 家族 | 6. インターネット | 7. キャリア支援センター |
| 8. 教職支援センター | 9. 授業(キャリアセミナー、キャリアデザイン) | | |
| 10. キャリアフェスタ | 11. その他 [|] | |

問40 あなたの将来の希望職種は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------|----------------------|------------|-----------|
| 1. 教員 | 2. 警察官 | 3. 消防士 | 4. その他公務員 |
| 5. 企業 | 6. 生涯スポーツ(フィットネス等)関係 | 7. 医療・福祉関係 | |
| 8. プロ・実業団選手 | 9. その他 [|] | |

問41 あなたはキャリア支援センターを利用していますか。

- | | | | |
|----------------|----------|--------------|----------|
| 1. よく利用している | → 問41-1へ | 2. たまに利用している | → 問41-1へ |
| 3. ほとんど利用していない | → 問41-2へ | | |

問41-1 キャリア支援センターをどのように利用していますか。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------------------|---------------------|---------------|
| 1. 進路相談をする | 2. 面接練習をする | 3. 書類を添削してもらう |
| 4. 書籍・参考書を閲覧する | 5. 求人票(紙媒体)の閲覧をする | |
| 6. 新聞、朝刊・夕刊のトピックスを閲覧する | 7. PCを利用する | |
| 8. 企業内定者、公務員合格者のメッセージを閲覧する | 9. 大体大キャリアNAVIを使用する | |
| 10. 講座・模試(公務員、企業、SPI、TOEIC)へ参加する | | |
| 11. その他 [|] | |

問41-2 キャリア支援センターを利用していない理由は何ですか。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. キャリア支援センターの存在を知らない | 2. 利用方法が分からない |
| 3. 利用しても役に立たないと思う | 4. その他 [] |

問42 あなたは教職支援センターを利用していますか。

- | | | | |
|----------------|----------|--------------|----------|
| 1. よく利用している | → 問42-1へ | 2. たまに利用している | → 問42-1へ |
| 3. ほとんど利用していない | → 問42-2へ | | |

問42-1 教職支援センターをどのように利用していますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 教育実習・介護等体験などの相談をする | |
| 2. 教員採用試験など、教員採用に関する相談をする | |
| 3. 面接・模擬授業の練習をする | 4. 書類を添削してもらう |
| 5. 資料を閲覧する | 6. その他 [] |

問42-2 教職支援センターを利用していない理由は何ですか。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 教職支援センターの存在を知らない | 2. 利用方法が分からない |
| 3. 利用しても役に立たないと思う | 4. その他 [] |

9. ボランティア活動について**問43 あなたはボランティア活動の経験がありますか。**

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | → 問43-1へ |
|-------|-------|----------|

問43-1 なぜボランティア活動の経験がないのですか。(複数回答可)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. きっかけがない | 2. 時間がない | 3. 情報がない |
| 4. 勇気がない | 5. できないと思う | 6. 認識がない |

問44 ボランティア活動への興味・関心がありますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. ある → 問44-1へ | 2. ない → 問45へ |
|----------------|--------------|

問44-1 興味・関心がある方にお聞きします。**参加を希望するボランティア活動内容は何ですか。(複数回答可)**

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|---------|
| 1. スポーツ指導 | 2. 障がい者支援 | 3. 幼児・児童支援 | 4. 生徒支援 |
| 5. 高齢者支援 | 6. 地域活動 | 7. 災害復興支援 | |
| 8. その他 [| | |] |

**問45 ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて何が必要と思いますか。
(複数回答可)**

- | |
|----------------------------------|
| 1. ボランティア活動の意義などについてのセミナーなどで啓発する |
| 2. ボランティア活動希望者への研修会を実施する |
| 3. ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる |
| 4. ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する |
| 5. 授業科目として単位を認定する |
| 6. 特に必要と思うことはない |

問50 大学の施設で気になるのは何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. 教室が狭い | 2. 教室の冷暖房の効きが悪い | 3. 教室のAV機器設備が古い |
| 4. コンピューター環境が不十分 | 5. 駐輪場が少ない | 6. 食堂が狭くて混雑がひどい |
| 7. 食堂のメニューが少ない | 8. 自由に過ごせる場所が少ない | 9. 体育施設が少ない |
| 10. その他 [| |] |

問51 大学事務局の窓口の対応をどう思いますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満足である | 5. 不満足である | |

問52 大阪体育大学の学生生活に満足していますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満足である | 5. 不満足である | |

11. 大学への意見・要望

(満足な点、不満足な点などを自由に記述して下さい。)

ご協力ありがとうございました。

平成29年度 学生生活実態調査 報告書

平成30年3月

編集・発行 大阪体育大学 学生委員会
教学部学生支援担当